

Telelogic Synergy ヘルプ

ビルド マネージャ用

リリース 6.6a

本書をご使用になる前に、[385 ページの「付録:特記事項」](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、Telelogic Synergy（製品番号 5724V66）バージョン 6.6a および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright IBM Corporation 1997, 2008.

目次

プロジェクトの作成と更新	11
作業環境の作成.....	12
オブジェクトのコピー.....	13
プロジェクトの作成.....	15
プロジェクトのコピー.....	16
プロジェクトメンバーの作成.....	18
ファイルシステムへのプロジェクトのコピー.....	19
プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正.....	20
デフォルト ワークエリア パスの設定.....	21
プロジェクトの更新.....	23
プロジェクトの更新.....	24
更新の取り消し.....	25
ファイルの別バージョンの使用.....	26
オブジェクトの推奨バージョンの使用.....	27
プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決.....	28
深いコンフリクト検出の実行.....	41
ワークエリアとデータベースの同期.....	42
更新オプションの変更.....	44
パターンによるファイルの無視.....	45
プロジェクトの更新プロパティの変更.....	47
ベースラインを使用した変更.....	51
ベースラインの作成.....	52
ベースラインとタスクの更新.....	55
更新時のベースラインとタスクの変更の防止.....	56
開発者にテストベースラインを公開.....	57
ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース.....	58
新規ベースラインの選択.....	59
別のベースラインの使用.....	60

ファイルの変更 61

ファイル内容の変更	62
プロジェクト グルーピングからすべてのタスクを削除	63
チェックイン	64
チェックアウト	65
ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成	66
ファイルの編集	67
ファイル配置の変更	68
オブジェクトの削除	69
ファイルの移動	71
ディレクトリへの追加	72
プロジェクト ファイルの名前変更	73
ファイルのタイプの変更	74

タスクの作業 75

日常のタスク	76
タスクの選択	77
カレント タスクの完了	78
タスクの割り当て	79
タスクの作成	80
タスクのコピー	82
タスクの除外	84
カレント タスクへ追加	85
フォルダへのタスクの追加	86
タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除	87
自分に割り当てられたタスクの表示	88
関連タスクの表示	89
タスクの修正	91
タスクを指定して別タスクを修正	92
修正タスクの作成	94
プロジェクト グルーピングからタスクを削除	96
プロジェクト グルーピングにタスクを追加	97

タスクと変更依頼	99
変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成	100
ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除	101
関連タスクの変更依頼の表示	102
変更依頼の解決	103
ベースライン作成オプションの変更	104
必須タスクの自動追加を停止	106

プロパティの使用 107

オブジェクト プロパティの変更	108
ベースライン プロパティの修正	109
ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正	110
フォルダのプロパティの修正	111
フォルダ テンプレートのプロパティの修正	113
プロセスのプロパティの修正	115
プロセス ルールのプロパティの修正	117
プロジェクトのプロパティの修正	121
プロジェクト グルーピングのプロパティの修正	123
リリースのプロパティの修正	125
タスクのプロパティの修正	128
ワークエリアの設定の修正	130
プロパティの表示	133
プロパティ設定からの変更	135
ユーザー プロパティのカスタマイズ	136
デフォルト アプリケーション ツールの変更	137
オブジェクトのセキュリティ設定の変更	141
プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加	143

ファイルの検索とその他 145

オブジェクトの検索	146
オブジェクトの検索	147
オブジェクトの使用箇所の検索	148
オブジェクトまたはリリースの履歴の表示	149
割り当てられた変更依頼の表示	151

クエリの設定	153
クエリの定義	154
クエリの保存	156
クエリを新しい名前で作成	157
保存クエリの表示	158
保存クエリの変更	159
クエリのカスタマイズ	160
関数	170
比較演算子	175
論理演算子	176
定数	177
クエリ文節のグループ	178
定義済みクエリの使用	179
オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ	180
保存されたクエリの実行	181
保存クエリの編集	182

マージと比較 183

マージ	184
2つのファイルバージョン	185
パラレルファイル/ディレクトリのマージ	186
マージ結果の編集	187
次のマージ差分の表示	188
コンフリクトのないマージの適用	189
マージ済みファイルの保存	190
マージ変更のクリア	191
比較	193
2つのファイルの比較	194
パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較	195
パラレルバージョンの表示	196
オブジェクトを関連オブジェクトと比較	198
2つの類似オブジェクトの比較	199

ビルドの管理 201

ビルド管理ビルド	202
破損ビルドの修復	203
ビルドの実行	204
再ビルドの実行	206
特定のタスクを使用するビルド	211
ビルドのスナップショットの作成	213
ベースラインなしの再ビルド	215

インターフェイスのカスタマイズ 217

エクスプローラの使用	218
1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる	219
エクスプローラのカスタマイズ	220
1つ以上のエクスプローラのドッキング	222
エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化	223
保存されたクエリのエクスプローラへの追加	224
保存されたクエリの検索メニューへの追加	225
エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする	226
保存クエリの削除	227
インターフェイスの外観の変更	229
ダイアログボックスとペインのカスタマイズ	230
色の変更	231
フォントタイプとサイズの変更	233
ワーク ペインの外観の変更	234
プロジェクトを閉じる	235
カラム表題部にプロパティを追加	236
カラム表題部からプロパティを削除	237
ワーク ペインからのタブの削除	238
セッション中に選択を最新の状態に更新	239
リリース エクスプローラの表示	240
プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示	241

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習 243

Telelogic Synergy の開始.....	245
コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始.....	246
Telelogic Change の起動.....	247
コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用.....	248
新規ユーザー向けの説明.....	249
Telelogic Synergy ツアーの実施.....	250
Telelogic Synergy の開始.....	254
キーボードショートカットの使用.....	255
マウス ショートカットの使用.....	258
ヘルプの参照.....	259
ファイルの移動.....	261
オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け.....	262
切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動.....	263
ドラッグ アンド ドロップの使用.....	264
ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示.....	265
ショートカット メニューの表示.....	266
ワーク ペインでプロジェクトを開く.....	266
ワーク ペインでプロパティを表示.....	267
メッセージの表示.....	268
複数のファイルの選択.....	268
ファイル/プロジェクト/タブの表示.....	268
問題解決.....	269
パターン マッチングと Telelogic Synergy.....	270
プロジェクト グルーピング内のすべてのタスクを別のプロジェクト グルーピングへコピー 271	
テキストの回復.....	272
オブジェクトの再表示.....	273

ビルド管理の実行 275

フォルダ テンプレートの使用.....	276
フォルダ テンプレートの作成.....	277
フォルダテンプレートのコピー.....	279

プロセスの作業.....	281
プロセスの作成.....	282
プロセスのコピー.....	284
プロセス ルールの作業.....	285
プロセス ルールの設定.....	286
リリースの作業.....	288
リリースの作成またはコピー.....	289
リリースのアクティブ化と非アクティブ化.....	292
目的の作業.....	293
目的の作成.....	294
目的の削除.....	295
目的の編集.....	296
一般的な質問	347
ベースライン.....	351
ビルド管理.....	355
コンフリクト.....	359
開発.....	361
エクスペローラ.....	366
プロパティ.....	368
用語解説	373
付録：特記事項	385
サンプル・コードの著作権.....	387
商標.....	387
索引	389

プロジェクトの作成と更新

作業環境の作成

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの作成
- プロジェクトメンバーの作成
- ファイルシステムへのプロジェクトのコピー
- プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正
- デフォルト ワークエリア パスの設定

プロジェクトの更新

- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- ファイルの別バージョンの使用
- オブジェクトの推奨バージョンの使用
- プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決
- ワークエリアとデータベースの同期
- 更新オプションの変更
- パターンによるファイルの無視
- プロジェクトの更新プロパティの変更

ベースラインを使用した変更

- リリースの作成またはコピー
- ベースラインの作成
- ベースラインとタスクの更新
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- 開発者にテストベースラインを公開
- ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース
- 新規ベースラインの選択
- 別のベースラインの使用

作業環境の作成

- [オブジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリテンプレートの修正](#)
- [デフォルトワークエリアパスの設定](#)

オブジェクトのコピー

オブジェクトのコピーにより、以前の情報を元に簡単に新規オブジェクトを作成できます。この手順により、次のオブジェクトを作成します。

- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [プロセス](#)
- [プロジェクト](#)
- [リリース](#)
- [タスク](#)

すべてのユーザーは、フォルダ、プロジェクト、またはタスクをコピーできますが、フォルダ テンプレート、プロセス、またはリリースをコピーできるのはビルド マネージャだけです。

ステップ ...

プロセス、プロジェクト、フォルダ、フォルダ テンプレート、リリース、またはタスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするオブジェクトを右クリックし、**オブジェクトのコピー**を選択します。
適切な**コピー**ダイアログボックスが表示されます。

2. 新しいオブジェクトのプロパティを設定します。

プロパティの詳細については、以下のトピックを参照してください。

- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

タスク number のオブジェクトを関連付けチェックボックスは、**タスクのコピー**ダイアログボックスからのみ使用できます。このオプションはデフォルトで選択されており、コピーしたタスクのすべてのオブジェクトを新しいタスクに関連付けます。これは、パラレルリリースに使用するタスクをコピーするときに便利です。

注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作

る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

- [クエリの定義](#)

3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [クエリの定義](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

プロジェクトの作成

次の手順により、プロジェクトを作成します。さらに、[プロジェクトのコピー](#)を行ってプロジェクトを作成したり、[ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)を行ってサブプロジェクトを作成できます。

注記：カレント タスクが設定されている必要があります。
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ファイルシステムにプロジェクトのファイルのコピーが必要な場合、[ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)を行うことができます。これにより、プロジェクトの独自バージョンを持たずにプロジェクトからのファイルのコピーを持つことができます。

ステップ ...

1. プロジェクトを作成します。

- **タスク**メニューをクリックし、**新規**をポイントしてプロジェクトを選択します。
ディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

または

- 適切なプロジェクト グループングを右クリックし、**プロジェクトの作成** を選択します。

2. 内容を説明する名前を入力します。

3. リリースと目的を選択し、**OK** ボタンをクリックします。

プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Telelogic Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グループングの更新時に特定の選択基準を使用します。

関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの編集](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [タスクの選択](#)

プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピーにより、既存プロジェクトから簡単に新規プロジェクトを作成できます。

ファイルを変更せずにプロジェクトの内容を表示するだけの場合は、バージョンをチェックアウトせずにプロジェクトとそのメンバーを表示できる [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)を行います。

ステップ ...

1. コピーするプロジェクトを右クリックし、**プロジェクトのコピー**を選択します。
プロジェクトのコピー ダイアログボックスが表示されます。
2. もとのプロジェクトのリリース値を使用するか **リリース** リストで新しいリリースを設定します。
3. **目的**リストで新規プロジェクトの目的を設定します。
プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Telelogic© Synergy™ はプロジェクトまたはプロジェクト グルーピングの更新時に異なる選択基準を使用します。
4. サブプロジェクトがある場合、同じリリースのサブプロジェクトのみ、サブシステム、すべてのサブプロジェクトをコピーする、またはサブプロジェクトをコピーしないことを選択できます。
コピーするサブプロジェクトを設定するには、**[>>]** をクリックします。
プロジェクトのコピーダイアログボックスが展開し、コピーするプロジェクト内の各サブプロジェクト、ベースラインに関連している各サブプロジェクト、およびプロジェクト グルーピングに関連している各サブプロジェクトが表示されます。**コピー**チェックボックスを選択または選択解除して、Telelogic Synergy がコピーするサブプロジェクトを選択します。
サブプロジェクトをその親プロジェクトの内容からコピーする場合、新しいサブプロジェクトはそのリリースと目的が親プロジェクトのものと一致する場合にのみ、親プロジェクトのメンバーになります。
5. デフォルトバージョンを使用するか新しいバージョンを入力します。
バージョンはプロジェクト固有のバリエーションです。
6. コピーするプロジェクトが使用しているワークエリア パスを選択するか、新しいパスを入力するか参照ボタンによって設定します。

-
7. デフォルトで、Telelogic Synergy はプロジェクトのコピー後にすべての新しいプロジェクトを更新します。新しいプロジェクトを更新したくない場合は、**新規プロジェクトの更新**チェックボックスのチェックを外します。
 8. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [オブジェクトのコピー](#)

プロジェクト メンバーの作成

この手順により、プロジェクトに新規ファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを追加します。Telelogic Synergy により、新規ファイルがカレント タスクと関連付けられます。

注記：カレント タスクが設定されている必要があります。
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 新規オブジェクトをメンバーとして格納したいディレクトリを右クリックし、**メンバーの作成**をポイントします。

ファイルを追加するには、**ファイル**を選択します。**ファイルの作成**ダイアログが開きます。新規ファイルの名前を入力して **OK** をクリックします。

ディレクトリを追加するには、**ディレクトリ**を選択します。**ディレクトリの作成**ダイアログが開きます。新規ディレクトリの名前を入力して **OK** をクリックします。

サブプロジェクトを追加するには、**サブプロジェクト**を選択します。**サブプロジェクトの作成**ダイアログが開きます。新規サブプロジェクトの名前を入力して **OK** をクリックします。

関連トピック

- [タスクの選択](#)

ファイル システムへのプロジェクトのコピー

この手順により、ファイル システム内に自分で使用するプロジェクトを作成します。

この場合、プロジェクトは単なるコピーで、他のワークエリアとは無関係です。ファイル システムにコピーした後、メンテナンスしたり、同期したりすることはできません。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするチェックイン済みプロジェクトまたはディレクトリを右クリックし、**ファイル システムにコピー**をポイントします。**メンバーのみ**を選択して、メンバーのみをコピーするか、**メンバーとサブプロジェクト**を選択して、メンバーとサブプロジェクトをコピーします。

コピーダイアログボックスが表示されます。

2. コピーを置くディレクトリを選択します。

指定したディレクトリにプロジェクトの名前と同じ名前のファイルかサブディレクトリがある場合は、エラーメッセージが表示されます。

3. **コピー**をクリックします。

関連トピック

- [チェックイン](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトの更新](#)

プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正

デフォルト パスを変更する場合、必ず[ワークエリア](#) パスが固有になるようにしてください。すなわち、2つのワークエリアのデフォルトパスが同じであってはなりません。たとえば、リリース 2.1 とリリース 3.0 の両方に **toolkit** という[プロジェクト](#)があり、プロジェクト固有のワークエリア パスが設定されていない場合、両方のプロジェクトのデフォルトパスが同じになります（デフォルト設定により、ワークエリア パスは確実に固有のものになります）。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション** タブをクリックし、左のペインで**プロジェクトのコピー**をクリックします。
3. プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートを修正します。

- a. ワークエリアパスの一部としてプロジェクト固有ディレクトリを使用するかどうかを指定します。

プロジェクト固有ディレクトリにより、プロジェクトの名前がベース ディレクトリの末尾に追加されます。

設定を中止すると、プロジェクト固有ディレクトリ名が**上記設定のパス例**ボックスに表示されなくなります。

- b. プロジェクト固有ディレクトリをさらに詳細に記述するにはキーワードを変更します。

キーワードを使用してパスのフォーマットを記述できます。プロジェクトのチェックアウト時やワークエリア パスの変更時、プロジェクトに適した値によってキーワードが置き換えられます。たとえば、

%releaseというキーワードを含むディレクトリ テンプレートの場合は、プロジェクトのリリース値（**2.0** など）と置き換えられます。

ディレクトリ テンプレートには複数のキーワードを含めることができ、単なるディレクトリ名でなく、ディレクトリ ツリー（サブディレクトリを含むディレクトリ）にマップすることもできます。

4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

デフォルト ワークエリア パスの設定

次の手順は、新規およびコピーした[プロジェクト](#)のすべての[ワークエリア](#)が表示されるデフォルト パスを設定する方法を示します。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション** タブをクリックし、左のペインで**プロジェクトのコピー**をクリックします。

プロパティ ダイアログボックスで**デフォルト パス変更**をクリックした場合は、**オプション** ダイアログボックスが開き、**アクション** タブの**プロジェクトのコピー** オプションが表示されます。
3. デフォルト パスを設定します。
 - a. ベース ディレクトリを変更します。
ベース ディレクトリは好みのパスに変更できます。
ベース ディレクトリを変更すると、**上記設定のパス例**ボックスに表示されます。
 - b. データベースの名前をワークエリア パスに含めるかどうかを指定します。
ワークエリア パスにデータベース名を入れると、データベースを複数使用している場合に便利です。
4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
5. **適用**をクリックします。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)

プロジェクトの更新

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)

プロジェクトの更新

この手順により、他の開発者のファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトの最新のバージョンを使用します。自分のプロジェクトを更新できる準備ができるまで、ワークエリアは他のユーザーの変更から隔離されています。

ステップ ...

- 適切なプロジェクトを右クリックし、**更新**をポイントします。
プロジェクトを更新するときは、**メンバーのみ**または**メンバーとサブプロジェクト**を選択します。
プロジェクト グルーピングからプロジェクトを更新するときは、**すべてのプロジェクト**または**すべてのプロジェクトとサブプロジェクト**を選択します。

関連トピック

- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

更新の取り消し

この操作により、選択したプロジェクトまたはディレクトリに以前の更新によって加えられた変更を取り消します。これで、直前の更新が行われる前のプロジェクトのメンバーが復元します。現在の Telelogic Synergy セッションで更新したプロジェクトおよびディレクトリのみ復元できます。

ステップ ...

- 更新したプロジェクトを右クリックし、**更新**をポイントし、**元に戻す**を選択します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

ファイルの別バージョンの使用

この手順により、ワーク ペインでファイルの別バージョンを使用します。

ステップ ...

ファイルのバージョンを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なファイルを右クリックし、**別バージョンの使用**を選択します。
別バージョンの使用ダイアログボックスが表示されます。
2. 使用するファイルバージョンを選択するか、**推奨**をクリックして推奨バージョンを参照します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)

オブジェクトの推奨バージョンの使用

この手順により、Telelogic Synergy が選択したオブジェクトバージョンを使用します。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- ワークペインで、適切なファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを右クリックし、**推奨バージョンの使用**を選択します。

一般的にこの操作は、別バージョンを使用するために手動で**別バージョンの使用**操作を行ってから実行します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決

メンバーシップコンフリクトは、プロジェクトのメンバーシップがプロジェクトグループのベースラインおよびタスク設定と一致しないとき発生します。これは、パラレル変更、変更の欠落、余分な変更など、不正なタスク/オブジェクト関係の原因となります(欠落した変更とは、タスクがプロジェクト グループに含まれているにもかかわらず、オブジェクトがプロジェクトのメンバーではないために、依頼したのに存在しない変更です。余分な変更は、オブジェクトがプロジェクトのメンバーであるにもかかわらず、タスクがプロジェクトグループに含まれないため、依頼していないのに存在する変更です)。

これらの問題を解決するには、以下の操作またはその一部を行う必要があります。

- パラレル変更を検索して比較し、適切ならマージする。
- 依頼したのにプロジェクトに含まれない変更を検索して含める。
- 依頼していないのにプロジェクトに含まれる変更を検索して除外する。

メンバーシップ コンフリクトダイアログボックスでは、プロジェクトのメンバーとその[プロジェクトの更新プロパティ](#)との間のコンフリクトを確認できます。通常、更新の後この手順を実行して、どこにコンフリクトがあるか確認します。メンバーシップコンフリクトの表示は、更新の直後に行うことをお勧めします。なぜなら、その時点ではプロジェクトメンバーがその時点でのプロジェクトの更新プロパティと一致しています。

コンフリクト メッセージの定義

以下の表とそれに続くコンフリクト検出の説明では、次の定義を使用します。

- "「コンフリクト」は、次のいずれかの状況と定義します。
 - プロジェクトに含まれないと指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトが含まれている。
 - プロジェクトに含まれると指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトが含まれていない。
 - オブジェクトのタスク関係が期待したものに反する(たとえば、あるオブジェクトに関連付けられたタスクがないか、複数存在するなど)。
- "「明示的」とは、「直接依頼されている」、つまり[プロジェクトの更新プロパティ](#)に含まれていることを意味します。
- "「暗黙的」とは「間接的に依存または部分的に含まれる」こと、つまりプロジェクトの更新プロパティに含まれないことを意味します。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示 / 非表示	説明
コンフリクト区分：余分な変更		
No task (タスクなし)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的にこのプロジェクトに含まれていますが、タスクと関連付けられていません (このオブジェクトバージョンを明示的に含めることができません。そのためにはタスクが プロジェクトの更新プロパティ に含まれる必要があるからです)。
Implicitly included (暗黙的に含まれる)	表示	オブジェクトバージョンは、明示的に指定されていませんが、プロジェクトに含まれています。タスクは暗黙的にプロジェクトに含まれます。
Included by "use" operation? ("use" 操作で含まれているか)	表示	オブジェクトバージョンは明示的に指定されておらず、暗黙的にも要求されていないため、更新で選択されることはありません。
Implicit task from explicit object (明示的オブジェクトからの暗黙的タスク)	表示	このタスクの関連オブジェクトには複数のタスクが割り当てられています。オブジェクトの関連タスクの少なくとも1つが明示的 (つまり、 プロジェクトの更新プロパティ に含まれる) ですが、このタスクはそうではありません。
コンフリクト区分：変更の欠落		
Explicitly specified but not included (明示的に指定されているが含まれていない)	表示	タスクはプロジェクトによって明示的に指定されていますが含まれていません。
Explicitly specified but not included - newer (明示的に指定されているが含まれていない - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトで明示的に指定されていますが、現在選択されているバージョンよりも新しいバージョンのオブジェクトです。タスクはプロジェクトによって明示的に指定されていますが含まれていません。
Implicitly required but not included (暗黙的に要求されているが含まれていない)	表示	タスクが暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。
Implicitly required but not included - newer (暗黙的に要求されているが含まれていない - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。これは、現在選択されているバージョンよりも新しいバージョンのオブジェクトです。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示 / 非表示	説明
Implicitly required by multiple tasks - newer (複数のタスクによって暗黙的に要求されている - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的に要求されています。これは、プロジェクト内の別のオブジェクトが複数のタスクに関連しているという理由で暗黙的に含まれるタスクに、関連付けられているからです。コンフリクトのあるオブジェクトバージョンは含まれません。このオブジェクトバージョンは、現在プロジェクト内にあるオブジェクトバージョンよりも新しいです。
コンフリクト区分：その他		
Multiple Tasks (複数タスク)	非表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトに含まれ、複数のタスクに関連付けられています。
Implicitly required but before baseline (暗黙的に要求されているがベースラインより前)	非表示	オブジェクトバージョンは暗黙的に要求されていますが、ベースラインの直前バージョンです (これは暗黙的に含まれるため、実際にはコンフリクトではありませんが、処理上の問題となる可能性を示しています)。
Explicitly specified but before baseline (明示的に指定されているが、ベースラインより前)	非表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトで明示的に指定されていますが、ベースラインの直前バージョンです (これは暗黙的に含まれるため、実際にはコンフリクトではありませんが、処理上の問題となる可能性を示しています)。
Explicitly specified but object not in project (明示的に指定されているが、プロジェクトにオブジェクトがない)	非表示	オブジェクトバージョンはプロジェクトで明示的に指定されていますが、プロジェクト内にそのバージョンが1つもありません。これは、プロジェクト階層全体で同じ プロジェクトの更新プロパティ が共有されているため、おそらく正常です。
Implicitly required but object not in project (暗黙的に要求されているが、プロジェクトにオブジェクトがない)	非表示	オブジェクトバージョンがプロジェクトに含まれるタスクを通して暗黙的に要求されていますが、プロジェクト内にそのバージョンがありません。これは、プロジェクト階層全体で同じプロジェクトの更新プロパティが共有されているため、おそらく正常です。
コンフリクト区分：パラレル変更		
Implicitly required but not included - parallel (暗黙的に要求されているが、含まれていない - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンが暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。そのバージョンは現在選択されているバージョンのパラレルバージョンで、マージが必要な場合があります。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示/非表示	説明
Implicitly required by multiple tasks - parallel (複数のタスクで暗黙的に要求されている - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンは暗黙的に要求されています。これは、プロジェクト内の別のオブジェクトが複数のタスクと関連しているという理由で暗黙的に含まれるタスクに、関連付けられているからです。コンフリクトのあるオブジェクトバージョンは含まれません。このオブジェクトバージョンは、現在プロジェクト内にあるオブジェクトバージョンの平行バージョンです。
Explicitly specified but not included - parallel (明示的に指定されているが、含まれていない - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンはプロジェクトで明示的に指定されていますが、プロジェクトに含まれていません。そのバージョンは現在のバージョンの平行バージョンで、マージが必要な場合があります。
コンフリクト区分：問題タスク		
Excluded task explicitly included (除外タスクが明示的に含まれている)	表示	除外したタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれています。
Excluded task implicitly included (除外タスクが暗黙的に含まれている)	表示	除外したタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに暗黙的に含まれています。
Completed fix task not included (完了修正タスクが含まれない)	表示	問題のあるタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれており、修正の完了している問題のないタスクが含まれていません。
Assigned fix task not included (割り当て済み修正タスクが含まれない)	非表示	問題のあるタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれており、修正のための <i>task_assigned</i> (割り当てタスク) された問題のないタスクが含まれていません。
Task fixed by task not included (タスクによって修正されたタスクが含まれていない)	表示	問題のあるタスクは、プロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれませんが、問題のないタスクは含まれます。

タスクとオブジェクトの関係

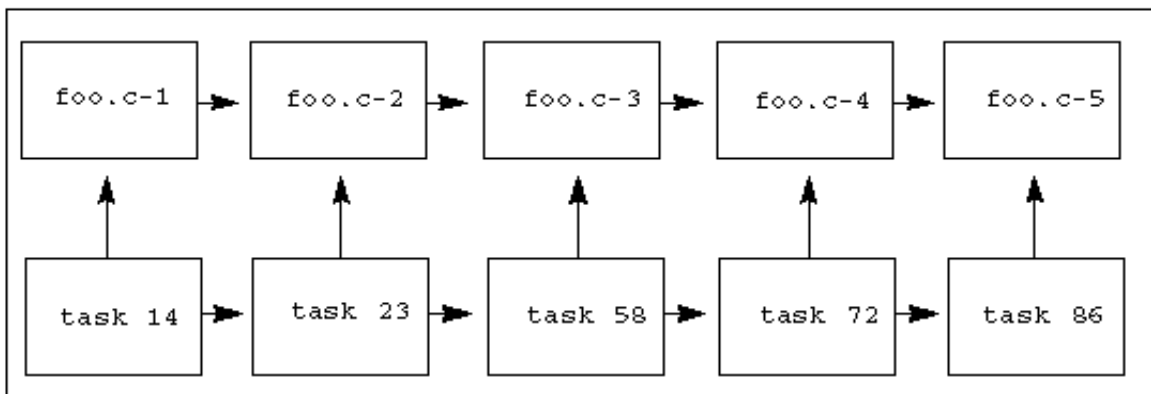
タスクと一連のオブジェクトバージョンは関係を持つことができます。Telelogic Synergy では一連のオブジェクトバージョンを1つのタスクと関連付けることができます。このタスクは、Telelogic Synergy にそれらのオブジェクトバージョンは一緒に使用する必要があり、互いの変更に依存することを知らせます。プロジェクトがタスクに関連する変更の一部のみ含む場合、そのプロジェクトはおそらくビルドに失敗します。あるいは、最悪の場合、実行に失敗します。

たとえば、関数のシグニチャを変更する場合は、その関数を呼び出すすべてのプログラムを更新してシグニチャを変更する必要があります。それらすべての変更は、まとめてプロジェクトに含めるか、全く含めないようにする必要があります。

オブジェクトの履歴関係

タスクは、履歴関係を持ちますが、それはオブジェクトの履歴関係とは異なります。オブジェクトの履歴は、通常、数的に連続しています。タスクの履歴は、関連するファイルの履歴関係をベースにした単なる概念的な関係です。タスクは変更を完了するために必要なファイルをグループ化するため、タスクの履歴関係によって、現在の一連の変更は過去の一連の変更に依存することになります。

下図は、1つのオブジェクトと、オブジェクトの履歴を通してそのオブジェクトに関連する各タスクのバージョン履歴を示しています。



foo.c オブジェクトには5つのバージョンがあります。各バージョンは、異なるタスクと関連付けられています（各バージョンに関連するタスク番号がオブジェクトバージョンの下に表示されています）。

Telelogic Synergy は、オブジェクトバージョンの変更は、そのすべての直前オブジェクトバージョンの変更を含むものとみなします。したがって、上記の例では、バージョン3は、バージョン2と1の変更を含むものとみなします。

たとえば、バージョン2で関数のシグニチャを変更すると、バージョン3、バージョン4およびその後のすべてのバージョンはそのシグニチャの変更を含みます。変更は、他の変更の上に重なっていきます。他の変更の一部を取り除く変更でも、その履歴バージョンの上に積み重なります。ただし、**foo.c-3**の変更といった場合に、その変更とは**foo.c-2**に対しての変更ということになります。**foo.c-2**に変更を加えたのが**foo.c-3**であるからです。

タスク依存関係

さらに、バージョン 3 はバージョン 1 と 2 からの変更を含むため、バージョン 3 の関連タスクはバージョン 1 と 2 に関連するタスクに依存するとみなされます。したがって、この例ではタスク 58 はタスク 23 と 14 に依存します。

明示的に指定された更新プロパティ

foo.c-4 を含むプロジェクト **myproj-sue** を見てみましょう。

あるタスクがプロジェクトのプロジェクトグルーピングに含まれる場合、そのプロジェクトは、そのタスクに関連付けられたオブジェクトを含む必要があることを **明示的に指定** しています。たとえば、**myproj-sue** [プロジェクトの更新プロパティ](#) にタスク 72 と 23 が含まれる場合、それは、タスク 72 と 23 に関連付けられたオブジェクトバージョンを含む必要があることを明示的に指定しています。上記の図では、プロジェクトが明示的にタスク 72 と 23 を指定した場合、オブジェクトバージョン **foo.c-4** および **foo.c-2** も明示的に指定したことになります。

foo.c-4 は、**foo.c-2** からの変更を含み、タスク 72 はタスク 23 に依存することを忘れないでください。

プロジェクトを更新すると、明示的に指定されたオブジェクトバージョンがその候補となります。更新は、もっとも適切な候補、通常は最新のものを選択します。したがって、この例では、**myproj-sue** はタスク 72 と 23 を使用して候補リスト **foo.c-4** と **foo.c-2** を決定し、最新候補として **foo.c-4** を選択します。したがって、このプロジェクトは **foo.c-4** と **foo.c-2** の両方からの変更を含みます。同じように、タスク 72 と 23 の両方からの変更も含みます。

暗黙的に指定された更新プロパティ

myproj-sue プロジェクトは **foo.c-4** を含むため、それはその [プロジェクトの更新プロパティ](#) が明示的に指定したタスク 72 を含みます。また、**foo.c-3** は **foo.c-4** の直前バージョンなので、プロジェクトは **foo.c-3** にも依存します。また、**foo.c-3** に関連するタスク 58 にも依存します。

ただし、タスク 58 (すなわち **foo.c-3**) が **myproj-sue** のプロジェクトの更新プロパティに明示的に指定されていないが変更はその履歴関係から含まれる場合、タスクとオブジェクトバージョンは両方ともプロジェクト内で **暗黙的に指定** されています。暗黙的に指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトは、プロジェクトに自動的に含まれないことに注意してください。

コンフリクト

プロジェクトをリリースする準備をしていると仮定します。あなたが、リリースはタスク 72 と 23 を含む必要があることを指定しましたが、タスク 58 を指定しなかったとします。ビルドを行った後、準備しているアプリケーションにタスク 58 が含まれていることに驚くかもし

れません。Telelogic Synergy は、あなたが依頼していないタスクが含まれることを警告できます。これをコンフリクトといいます。

コンフリクトにはいろいろな種類があります。プロジェクト内で **foo.c-5** を手動で使用したのに[プロジェクトの更新プロパティ](#)が明示的にタスク 86 を指定せず、明示的に指定したその他のタスクもタスク 86 に依存しない場合、それも一種のコンフリクトです。Telelogic Synergy は、あるオブジェクトバージョンがそのタスクを明示指定しないでプロジェクト内で使われているようだ、ということを警告できます。

もっと重大なコンフリクトもあります。

たとえば、チームは、どの変更がバグを修正したか知るのが困難なため、ファイルの 1 つのバージョンで 1 つ以上のバグを修正しないと決定します。さらに、あなたのチームは、各開発者は変更する各オブジェクトバージョンに 1 タスクのみ関連付ける必要があると決定します。この場合、もしリリース準備中のリリース内のオブジェクトバージョンが複数のタスクに関連付けられていたら、開発者にそれを止めさせるためにあらかじめ気が付く必要があります。もっとも、リリース準備をしているソフトウェアには必要な変更はすべて入っているので、さほど深刻なコンフリクトとはいえないでしょう。

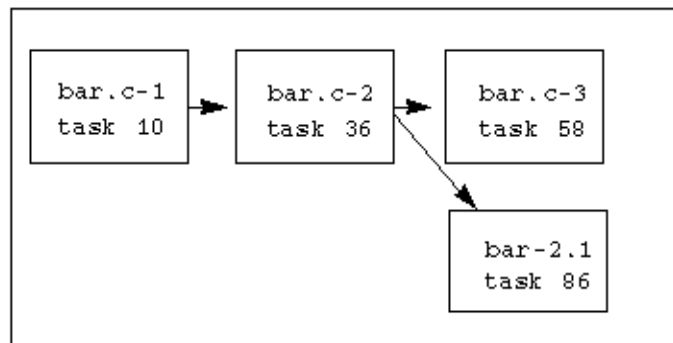
より重大なコンフリクトは、**どのタスクとも関連付けられていない**、暗黙的に含まれるオブジェクトバージョンです。

Telelogic Synergy は、どちらの種類のコフリクトについても警告できます。

パラレル コンフリクト

もっとも重要なコンフリクト検出の 1 つに、パラレル オブジェクトバージョンの検出があります。

プロジェクトが明示的に変更を指定しているが、それが含まれない場合、それは重大なコンフリクトです。たとえば、2 つのパラレル オブジェクトが 2 つの異なるタスクと関連付けられていて、両タスクとも明示的に指定されている状態を考えてみましょう。この例では、**myproj-sue** に **bar.c-3** が含まれると仮定します。**bar.c** オブジェクトは、下図に示す履歴関係とタスク関連があります。



myproj-sue の [プロジェクトの更新プロパティ](#) は、タスク 58 と 86 が含まれるべきだと指定します。しかし、プロジェクトはタスク 58 に関連付けられている **bar.c-3** のみ含みます。パラレルブランチであるため、タスク 86 に関連付けられている **bar.c-2.1** も含むことは不可能です。**bar.c** のバージョンで、依頼した両方の変更を含むものはありません。これは、プロジェクトに含める必要があることがわかっているオブジェクトバージョンが欠落しているため、重大なコンフリクトです。

パラレルコンフリクトは変更の欠落を意味することもできますが、他の種類の変更の欠落もあります。

変更の欠落

bar.c-2.1 を手動で **myproj-sue** プロジェクトに含めた場合にどうなるか考えてみましょう。タスク 58 と 86 両方の変更は、現在プロジェクト内にあるオブジェクトのバージョンよりも新しいため、明示的に指定されているにもかかわらず欠落します。

この変更は、明示的に指定されていますが欠落しています。[プロジェクトの更新プロパティ](#) に含まれるタスクがプロジェクトに含まれているかを確認して、欠落していることに気付くかもしれません。他の種類のコンフリクトは検出することがさらに困難です。

myproj-sue のプロジェクトの更新プロパティをリフレッシュして、タスク 86 と 58 ではなくタスク 86 と 36 を含めるとします。するとタスク 58 は明示的に指定されなくなります。タスク 86 は **foo.c-5** と関連付けられ、その直前バージョンはタスク 72 に関連付けられている **foo.c-4** です。したがって、タスク 86 は暗黙的にタスク 72 を含みます。あなたのプロジェクトが **foo.c-5** を含む場合、それは両方の変更を含み、何も問題ありません。しかし、**bar.c** はどうでしょうか。**bar.c-2.1** はタスク 86 に関連付けられているため明示的に指定されており、**bar.c-3** はタスク 58 (プロジェクトに暗黙的に含まれる) に関連付けられているため暗黙的に指定されています。したがって、今回もあなたのプロジェクトが依頼したすべての変更を含む **bar.c** のバージョンがありません。

大規模コンフリクト検出

次に、その履歴に多数のバージョンを持ち、それぞれ数百のオブジェクトメンバーを持つプロジェクトと数百のタスクを含むリリースを見てみましょう。どんなにチームが注意しても、プロジェクトが大きくなるにつれてエラーの可能性も増えます。たとえば、パラレル開発 (マージの見落とし) によるものや人的エラー (オブジェクト/タスク関連付けの見落とし) によるものがあります。解決方法は、エラーを見つけてビルドを行う前に修正することです。Telelogic Synergy は、大規模プロジェクトのコンフリクトを検出できるので、チームは、問題が大きくなる (ビルドを遅らせる) 前に解決できます。

Telelogic Synergy は、すべての履歴関係とタスク関係の知識を使用してこれらのコンフリクトを検出します。全体では 24 種類のコンフリクトを検出することができ、ほとんどはデフォルトで表示されます。他のものは重大ではないので、デフォルトでは表示されません。余分なコンフリクトを表示すると、実際にソフトウェアの信頼性に影響するコンフリクトに集中することが難しくなります。しかし、CM アドミニストレータは、**conflict_parameters** モデル属性を変更することによってデフォルトで表示されるコンフリクトを変更できます。

Telelogic Synergy は、プロジェクトを分析してコンフリクトがあるか調べ、その後コンフリクトを表示します。

プロジェクトの大きさと特性によっては、コンフリクト検出に時間がかかることがあるため、コンフリクトを表示する最適な時期はあなたしかわかりません。ビルド管理プロジェクトの更新後、毎回ビルドマネージャがコンフリクトを表示してください。開発者は、プロジェクトに問題を起こすパラレルバージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがなければ、コンフリクトを表示する必要がないかもしれません。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コンフリクトを表示するプロジェクトまたはプロジェクトグルーピングを右クリックし、**メンバーシップ コンフリクトの検出**をポイントして、**プロジェクトのみ**または**プロジェクトとサブプロジェクト**のうち適切な方を選択します。

コンフリクトが検出されると、**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスが表示されます。

各コンフリクトは1つのカテゴリに含まれ、問題の原因を突き止めるのに役立つ具体的なコンフリクトメッセージを含みます。各コンフリクトの説明は、[コンフリクトメッセージの定義](#)表を参照してください。

2. コンフリクトを解決します。

各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。

以下のいずれかの方法で解決方法を選択します。

- コンフリクトを右クリックして適切な解決方法を選択する。


または

- コンフリクトを選択し、ツールバー内で適切な解決方法を表すアイコンを選択する。

Telelogic Synergy がコンフリクトを解決する選択肢を絞り込みます。解決するコンフリクトを選択すると、選択したコンフリクトに対して意味のある解決方法のみ有効になります。たとえば、**余分な変更**カテゴリのタスクと関連付けられているオブジェクトコンフリクトがある場合、推奨バージョンを使用するか、タスクをプロジェクトグルーピングに追加できます。他の解決方法もありますが、選択したコンフリクトに適しているのはこれらのみです。

1つ以上のコンフリクトを選択できますが、選択したものすべてに有効な操作のみ表示されます。選択したすべてのコンフリクトを解決する操作が無い場合は、各コンフリクトを個別に解決する必要があります。

Telelogic Synergy が自動的にコンフリクトの数を減らすもうひとつの方法として、同じコンフリクトが階層内の複数のプロジェクトで検出されてもプロジェクト グルーピングごとに一度だけそれを表示します。



欠落した変更または**余分な変更**カテゴリに複数のコンフリクトがある場合、をクリックして、これらすべてのオプションに**推奨バージョンを使用**オプションを使用できます。これにより、プロジェクトに対して更新を行った場合に持ち込まれるオブジェクトバージョンが使われます。すべてのコンフリクトを解決し、階層のすべてのメンバーを更新して再度コンフリクト検出を実行する準備ができるまでは、更新を行うよりもこの機能を使う方が安全かもしれません。

問題タスクカテゴリのコンフリクトがある場合、以下のいずれかの方法で解決できます。含まれないタスクによって修正されたタスクコンフリクトについては、修正タスクは[更新プロパティ](#)の一部ですが、修正されるタスクはそうではありません。以下のいずれかが有効な場合、解決方法として問題タスクをプロジェクト グループिंगに追加を選択します。


- 問題のあるタスクがプロジェクト グループिंगに必要な変更を含む。
- 問題のあるタスクは依然除外されているが、修正タスクが完了した時点で除外を解除する必要があった。

完了修正タスクが含まれないコンフリクトがある場合、問題のあるタスクは更新プロパティに含まれますが、修正タスクは含まれません。以下のいずれかが有効な場合、解決方法として問題タスクをプロジェクト グループिंगから削除を選択します。

- 問題のあるタスクは除外されているが、ユーザーがプロジェクト グループिंगの自動更新をオフにしているので問題のあるタスクが自動的に取り除かれていない。
- 修正タスクを作成したユーザーが、問題のあるタスクの除外を見落としている。
- まだ修正タスクが完了しておらず、部分修正は危険である。

プロジェクトまたはプロジェクトグループングが多数のコンフリクトを含む場合、コンフリクトをフィルタリングできます。をクリックし、メッセージなど、表示する条件を選択し（これで他の条件がフィルタリングされる）、リストボックスを使用して表示するコンフリクトメッセージを指定します。すべてのコンフリクトを表示するには、をクリックしてフィルタをオフを選択します。

フィルタリングするカラム内の固有な値が10個以下の場合、フィルタ値がリストボックスに表示されます。既存の値を追加できますが、そのフィールドに独自の値を入力することもできます。カラム内の固有な値が10個を超える場合は、それはテキストフィールドになり、フィルタリングを適用する値を入力できます。表示される条件のフィルタにJava正規表現を使用する方法については、[パターンマッチングと Telelogic Synergy](#) を参照してください。

いったんコンフリクトを解決すると、アクション済みカラムの対応するチェックボックスにチェックマークが付き、解決操作が行われたことを示します。対処する必要があるすべてのコンフリクトの解決を試みたら（チームプロセスによっては一部のコンフリクトが残る可能性があります）、もう一度更新とコンフリクト検出を行う準備ができたこととなります。それにはをクリックします。

コンフリクトを解決している最中およびその後は、一般的に以下の手順のいくつかを実行する必要があります。これらの手順を実行する順序は決まっていますが、以下はほとんどのユーザーに当てはまる作業フローです。

- [プロパティを表示する。](#)
- [オブジェクトの履歴を表示する。](#)

-
- [パラレルバージョンを比較する。](#)
 - [2つのパラレルバージョンをマージする。](#)
 - [メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。](#)
 - [再度メンバーシップ コンフリクト検出を行う。](#)
3. プロパティを表示する。

コンフリクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスにコンフリクトのあるオブジェクトのプロパティが表示されます。
 4. オブジェクトの履歴を表示する。

コンフリクトを右クリックし、**履歴**を選択します。


履歴ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの上部のアイコンを使用してパラレルバージョンの比較とマージを行うことができます。
 5. パラレルバージョンを比較する。

コンフリクトを右クリックし、**比較**を選択します。


比較ダイアログボックスに差分が表示されます。パラレルバージョンを比較すると、パラレルのマージが可能になります。
 6. 2つのパラレルバージョンをマージする。

コンフリクトを右クリックし、**マージ**を選択します。

マージ ダイアログボックスが表示されます。パラレルファイルをマージすると、マージ後のファイルが自動的にカレント タスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。
 7. メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。

 をクリックし、この機能を使用してプロジェクトまたはプロジェクト グループのメンバーを更新して、再度コンフリクト検出を実行します。プロジェクトを更新する場合、**プロジェクトのみ**または**プロジェクトとサブプロジェクト**の更新を選択できます。プロジェクトグループを更新する場合、**すべてのプロジェクト**または**すべてのプロジェクトとサブプロジェクト**の更新を選択できます。

これは、複数のコンフリクトを解決し、解決によって発生したメンバーシップ変更によってプロジェクトグループまたはプロジェクトグループを更新する準備ができたときに便利です。
 8. 再度メンバーシップ コンフリクト検出を行う。

 をクリックして同じプロジェクトまたはプロジェクトに対してもう一度**メンバーシップ コンフリクト**の検出操作を行います。
-

この操作を実行して元のコンフリクトのリストをクリアし、プロジェクトまたはプロジェクト グループングに残っているコンフリクトを表示します。

メンバーシップ コンフリクト検出を実行して Telelogic Synergy がコンフリクトを返さなくなるか、プロジェクトで許されるコンフリクトのみ返すようになったら、製品のビルドを行う準備ができました。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [パターンマッチングと Telelogic Synergy](#)
- [深いコンフリクト検出の実行](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

深いコンフリクト検出の実行

コンフリクト検出は、プロジェクトのメンバーをその[更新プロパティ](#)と比較します。Telelogic Synergy は、[ベースライン](#)を使用して更新操作をスピードアップしますが、ベースライン作成時に使われるビルド管理プロジェクトにメンバーシップ コンフリクトがあると、それらのメンバーシップ コンフリクトは、ベースラインのユーザーから気づかれないままになる可能性があります。深いコンフリクト検出は、深い分析を行い、ベースラインの構成を確認します。

深いコンフリクト検出を選択した場合、プロセス ルールを使用するプロジェクトのコンフリクト検出のみ影響を受けます。プロジェクトのメンバーは、以下のように、ベースラインと多くのタスクの集まりと比較されます。

- プロジェクトのプロジェクトグルーピングのベースラインで処理されたタスクおよび手動で追加されたタスクが比較に使用される。
- ベースラインがプロジェクトと同じリリースを持つ場合、ベースラインのタスクも含まれる。

ベースライン内で、ベースライン作成操作によってベースラインのすべてのプロジェクトに含まれない可能性があるとして判断されたタスクは、追加されません。

ステップ ...

1. メイン メニューでツールをクリックし、オプションを選択してオプション ダイアログを開きます。
2. アクションタブをクリックし、左のペインでメンバーシップ コンフリクトの検出をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして深いコンフリクト検出の実行を選択します。
4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、デフォルト設定をクリックします。
5. 適用をクリックして変更を保存します。
6. 適切なプロジェクトグルーピングを右クリックし、メンバーシップ コンフリクトの検出を選択します。

関連トピック

- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

ワークエリアとデータベースの同期

この手順により、ワークエリアのファイルをデータベースのファイルと比較し、差分を解決します。

この操作は、ファイル システム内のファイルをチェックアウトせずに手動で変更した場合や、ファイル システム内の変更によりプロジェクト更新が失敗した場合に有用です。ワークエリアを同期することにより、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスでコンフリクトを選択し、ファイル システム内のファイルとデータベース内のファイルの差分を比較できます。

以下の操作は、同期後にワークエリア コンフリクトを解決する方法を示します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクトを右クリックし、**ワークエリアの同期**をポイントして、**メンバーのみ**または**メンバーとサブプロジェクト**の適切な方を選択します。

コンフリクトが検出されると、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスが表示されます。

2. コンフリクトのリストを参照します。

3. コンフリクトを解決します。

コンフリクトは、ワークエリアの変更を破棄するか、ワークエリアの変更を保存する、または管理しないファイルが無視する、のいずれかの方法で解決できます。

ワークエリアの変更を破棄


ワークエリアの指定ファイルの変更を破棄する場合は、このアイコンをクリックします。ディレクトリを破棄すると、そのディレクトリとそのすべてのメンバーがワークエリアから削除されます。いずれの場合も、ワークエリアのファイルとディレクトリが最新のデータベース バージョンと置き換えられます。

ワークエリアの変更を保存

ワークエリアのディレクトリとファイルの変更をデータベースと同期させる場合は、このアイコンを選択します。ワークエリアにあってデータベースにはないファイルがデータベースに追加されるため、結果的に新しいファイルが追加されます。

Telelogic Synergy で管理しないファイルは無視

管理したくないファイルにコンフリクトがある場合は、[パターンによるファイルの無視](#)を選択できます。これを実行すると、**ワークエリアの同期**操作を実行後、指定したパターンのファイルがコンフリクトとして表示されないようにするフィルタが設定されます。

ファイルが無視するために使用されるパターンを表示または変更するには、をクリックします。

フィルタを設定した場合、もう一度同期を行って**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスに表示される内容を最新の情報に更新する必要があります。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)

更新オプションの変更

更新オプションを使用してこの操作の働きを変更します。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**更新**をクリックします。
3. サブプロジェクトの設定を変更します。
更新操作でサブプロジェクトを置き換えたくない場合は、**サブプロジェクトの置き換えを許可**チェックボックスを選択解除します。
4. **詳細メッセージを表示**チェックボックスを選択解除して**メッセージ ダイアログ**ボックスに表示されるメッセージ情報の詳細度を変更します。
詳細メッセージには、**更新**操作の詳細情報が表示されます。これは、特定のバージョンが選択された理由または選択されなかった理由を知りたい場合に便利です。
5. 更新操作を行うたびにメンバーシップ コンフリクトを検出するには、**プロジェクト更新後にメンバシップコンフリクトを検出**チェックボックスを選択します。
6. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
7. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

パターンによるファイルの無視

この手順により、一定のパターンを持ったファイルが無視します。フィルタを設定すると、**ワークエリアの同期**操作実行後、指定したパターンの非管理ファイルがコンフリクトとして表示されなくなります。パターンを利用すると、一部の IDE によって作成された多数の一時ファイルが Telelogic Synergy データベースで管理されないようにできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**ワークエリアの同期**をクリックします。
3. フィルタリストを変更します。

データベース デフォルトリストに、Telelogic Synergy が無視するファイルが一覧表示されます。このリストは、CM アドミニストレータによって設定され、すべてのユーザーによって共有されます。デフォルト リストに項目を追加したり、リストから項目を削除したりすることはできません。

追加パターンリストには、スクロールボックスに直接入力することにより、項目を追加できます。入力は 1 行に 1 パターンのみです。パターンを削除するには、ハイライト表示させて削除します。

また、パターン構文値を使用してさらにフィルタをカスタマイズすることもできます。構文は、標準のワイルドカード文字列と似ています。***** は任意の値 0 文字以上、**?** は任意の値 1 文字と一致し、**¥** (Windows) および **/** (UNIX) はディレクトリの区切りとなります。

たとえば、ディレクトリ名の後に **¥*** が付いている場合は、ディレクトリとサブディレクトリのすべての内容と一致します (これは文字列の末尾に適用されます)。

以下に、パターンを使用してフィルタをカスタマイズする方法の例を示します。

- **myproj-me** プロジェクトの **tempfiles** サブディレクトリにフィルタを適用する場合
C:¥ccm_wa¥mydb¥myproj-me¥myproj¥tempfiles¥*
- 任意のプロジェクトの **tempfiles** サブプロジェクトにフィルタを適用する場合
tempfiles¥*
- すべての **HTML** ファイルにフィルタを適用する場合
***.html**
- **test** ディレクトリのすべての Java ファイルにフィルタを適用する場合
test¥*.java

チームのメンバーとフィルタを共有するには、CM アドミニストレータがデータベース デフォルトにフィルタを追加します。

4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
5. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)

プロジェクトの更新プロパティの変更

更新プロパティは、プロジェクトの更新時に、どのオブジェクトバージョンを選択するかを決めるために使用するプロパティです。したがって、プロジェクトの更新プロパティを変更すると、プロジェクトのメンバーも変更することになります。

以下にプロジェクトの更新プロパティを変更する方法を示します。

- プロジェクトの更新方法を細かく制御したい場合は、特定のリリース向けのカスタムプロジェクトで使用されるベースラインとタスクの一覧を、手動で選択できます。詳細情報と手順については、[別のベースラインの使用](#)を参照してください。
- タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。これにより、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。逆に、タスクをプロジェクト グルーピングから削除することもできます。これにより、プロジェクト グルーピングはビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

以下の方法で、タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。

- タスクを右クリックする。これは、[プロジェクト グルーピングにタスクを追加](#)で説明しています。これは、[手動追加タスク](#)、[タスク](#)と[ベースライン](#)、または[ベースラインで処理されたタスク](#)を表示する必要がないユーザー用です。
- プロジェクト グルーピングを右クリックして、[プロジェクト グルーピング プロパティ](#) ダイアログボックスを開く。手順については、[タスクの追加](#)を参照してください。これは、手動で追加したタスク、タスクとベースライン、またはベースラインで処理されたタスクを表示および変更する必要があるユーザー用です。

以下の方法で、タスクをプロジェクト グルーピングから削除できます。

- タスクを右クリックする。手順については、[プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)を参照してください。
- プロジェクト グルーピングを右クリックして、[プロジェクト グルーピング プロパティ](#) ダイアログボックスを開く。手順については、[タスクの削除](#)を参照してください。

タスクの追加

プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グルーピングに追加すると、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要なオブジェクトをすばやく集めることができます。

たとえば、開発者が **Insulated Development (個別開発)** プロジェクト グルーピングの作業を行っていてタスクを完了する準備ができたとします。しかし、その前にパラレルバージョンをマージする必要があります。彼は変更をマージし、その後マージしたばかりのオブジェクトのタスクをプロジェクト グルーピングに追加します。オブジェクトに関

連するタスクをプロジェクト グループに追加したら彼はプロジェクトを更新してビルドを行います。

次に、ビルド マネージャがプロジェクト グループにタスクを追加する必要がある例を示します。ビルド マネージャは、おそらく最終の**システム テスト** ビルドを完了しました。SQE は、リリースする前に修正する必要がある問題を発見しました。開発側で問題を修正し、ビルド マネージャにタスクを渡します。彼は、タスクを**システム テスト** プロジェクトに追加し、もう一度ビルドを行います。

ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **タスク** タブをクリックします。

このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グループへ追加** オプションを使用してプロジェクト グループに手動で追加したタスクが表示されます。

プロジェクト グループ内には手動で追加したタスク以外のタスクもあることに注意してください。プロジェクト グループには、ベースラインを作成した後に完了したタスクも含まれます。

したがって、プロジェクト グループは以下のようなタイプのタスクを含むことができます。

- タスクはベースラインと関連付けられている。
ベースライン プロジェクトタブをクリックしてからベースラインをダブルクリックして、これらのタスクを表示します。**プロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブにタスクが表示されます。
- タスクが[更新テンプレート](#)内にあるが、ベースライン内にはない。
タスク タブをクリックして**ベースライン**で**処理されたタスク**リストにこれらのタスクを表示します。
- タスクを手動で追加している。
タスクタブをクリックしてこれらのタスクを表示します（タスクを手動で追加すると、その必須タスクも追加されます）。

ベースライン上のどのタスクを使用するかを選択できます。

- ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
- 使用するタスクを選択するには、適切な**使用**チェックボックスで各タスクをクリアまたは選択します。

3. タスクの追加ボタンをクリックします。

タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。

タスクの削除

プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グルーピングから削除すると、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

タスクが手動で追加され、タスクが[更新テンプレート](#)によって自動的にプロジェクト グルーピングに追加されている場合に、プロジェクト グルーピングからタスクを削除できます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ペインの**プロジェクト** タブで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 削除するタスクがある場所に応じて、**タスク** タブをクリックして手動で追加したタスクまたはベースラインの上のタスクを表示します。
3. 削除するタスクを右クリックし、**プロジェクト グルーピングから削除**を選択します。
4. [プロジェクトの更新](#)を行います。

関連トピック

- [タスクの作成](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [タスクの除外](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロパティの表示](#)

ベースラインを使用した変更

- [ベースラインの作成](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [開発者にテストベースラインを公開](#)
- [ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

ベースラインの作成

ベースラインは、特定の時点でのデータを表すために使われるプロジェクトとタスクのセットです。ベースラインにはいろいろな用途があります。更新を行うとき、Telelogic® Synergy™ は新規変更を探す開始点としてベースラインを使用します。また、2つのベースラインを比較して、特定のビルドを基準にどのような変更が行われたかを確認できます。Telelogic Change を使用していれば、ベースラインを使用して変更依頼レポートを作成できます。

ビルドを行ったら直ちにベースラインを作成すると便利です。ベースラインを作成し、すべての開発者に公開することなくテストグループに公開できます。ビルドを行うと同時にベースラインを作成すると、後にそのビルドの修正をする必要があるときに利用できるビルドの詳細が Telelogic Synergy に保存されます。

統合テストとシステムテストごとにビルドを作成しておく、テスターおよび開発者はそのビルドに盛り込まれた一連の変更点を参照できます。一般的に同じリリースと目的を持つすべてのプロジェクトのベースラインを作成します。たとえば、各**統合テスト**ビルド用には、そのリリースのすべての**統合テスト**プロジェクトを使用してベースラインを作成します。

注記：ベースラインを作成するとき、ベースラインに含めるプロジェクトのリストを選択します。変更を参照するための完全なセットとなるように、必ずベースラインに関連する**すべての**プロジェクトを含めてください。

どのプロジェクトをベースラインに入れるべきか不明の場合は、[どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。](#)を参照してください。このセクションでは、ベースラインに入れるべきではないプロジェクトとその理由も説明しています。

ステップ ...

1. プロジェクトまたはプロジェクト グルーピングを右クリックして**ベースラインの作成**を選択します。

プロジェクトは静的状態または *prep* (準備) 状態、プロジェクト グルーピングは *prep* (準備) 状態である必要があります (たとえば、目的をデフォルトの**統合テスト**または**システム テスト**に設定できます)。

ベースラインの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じてプロパティを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

ベースラインの名前です。デフォルトで、Telelogic Synergy は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。例えば、20040309 は、2004年3月9日を意味

します。ただし、これは変更できます。以下の文字は、禁止されており、名前には使用できません。/ ¥ í " : ? * [] @ - #

これは必須フィールドです。

- **詳細**

作成するベースラインの説明を入力します。

- **ビルド**

ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）です。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

- **リリース**

特定のリリースに固有のベースラインを識別するための属性です。

これは必須フィールドです。

- **目的**

プロジェクトの目的は、たとえば、**統合テスト**など、それが何に使われるかを定義します。ベースラインの目的を変更すると、Telelogic Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グループिंगの更新時に異なる選択基準を使用します。

これは必須フィールドです。

3. ベースラインに含まれるプロジェクトを変更します。

- a. 個々のプロジェクトを追加するには、**プロジェクトの追加**ボタンをクリックします。



プロジェクトの選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトでは、**含まれるプロジェクト** フィールドにはプロジェクトまたはプロジェクト グループिंगのリリースおよび目的に基づいてプロジェクトが表示されます。

- b. あるプロジェクト グループングからすべてのプロジェクトを追加するには**プロジェクト グループングの追加**ボタンをクリックします。

プロジェクト グループング選択ダイアログボックスが表示されます。プロジェクト グループングを追加すると、プロジェクト グループングに関連するプロジェクトを追加できます。これは、増分ベースラインを作成する場合に便利です。

- c. 既存のベースラインからすべてのプロジェクトを追加するには**ベースラインの追加**ボタンをクリックします。

ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。ベースラインを追加すると、ベースラインに関連するプロジェクトとプロジェクト グループングを追加できます。これは、増分ベースラインを作成する場合に便利です。

-
- d. 1つ以上のプロジェクト、プロジェクト グルーピング、またはベースラインを選択して **OK** ボタンをクリックします。
4. ベースラインを作成したら開発者に公開します。
- このオプションはデフォルトではオフになっています。
- このチェックボックスを選択すると、ベースラインを作成すると同時に開発者は彼らのプロジェクトを更新して、適切なテスト レベルに合格した最新の変更を取り込むことができます。
- このオプションを選択しない場合、これらの変更を公開する準備ができたなら[開発者にテストベースラインを公開](#)する必要があります。
5. ベースラインを作成したら、ベースラインとベースライン内のすべてのオブジェクトをリリースします。
- このオプションはデフォルトではオフになっています。
- このオプションは、ベースラインを作成した後リリースするステップが省けるため、リリース用の最終ベースラインを作成するときに便利です。
6. **バージョンのプレビュー**をクリックして、ベースライン作成時に組み込まれるすべてのプロジェクト、サブプロジェクト、および製品用のバージョン テンプレートをプレビュー表示します。
- バージョンのプレビュー** ダイアログボックスが表示されます。
- a. **バージョン テンプレート** フィールドを直接編集して、バージョン テンプレート キーワードを変更、削除、および追加します。 をクリックして新しいキーワードを追加できます。
- デフォルトのテンプレートは、**オプション**ダイアログボックスに定義されています。これは、[ベースライン作成オプションの変更](#)で説明しています。
- b. バージョン テンプレートを変更した後、ベースライン内のすべてのプロジェクトおよび製品バージョンを変更とともに表示するには**プレビュー**をクリックします。
- c.  をクリックして将来ベースラインを作成するとき使用する設定を保存します。
- これにより、バージョン テンプレートがデフォルトとして保存されます。
- d. **OK** をクリックして変更を保存します。
7. **OK** をクリックしてベースラインを作成します。

関連トピック


- [ベースライン作成オプションの変更](#)
- [リリースの作成またはコピー](#)

ベースラインとタスクの更新

デフォルトで、プロジェクトを更新すると Telelogic Synergy はプロジェクト グループのベースラインとタスクを更新し、新しいタスクをベースに新しいメンバーを選択します。

注意！この操作による更新は恒久的です。プロジェクト グループ プロパティ ダイアログボックスから更新すると、元に戻すこともキャンセルすることもできません。ダイアログボックスでキャンセルしても更新はキャンセルされません。

ステップ ...

- プロジェクト エクスプローラで、適切なプロジェクト グループを右クリックし、プロパティを選択します。
プロジェクト グループ プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
-  をクリックしてベースラインとタスクを最新の状態に更新します。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [オブジェクトの再表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

更新時のベースラインとタスクの変更の防止

デフォルトでは、プロジェクトを更新すると、Telelogic Synergy はプロジェクトグルーピングのベースラインとタスクを更新します。しかし、ベースラインとタスクの状態を更新したくない場合もあります。たとえば、単体テストの最中の開発者は、別の開発者による関連する変更は取り込みたいと考える一方で、新しいタスクは不要だと考えるでしょう。また、ビルドマネージャは、ビルド修正のためのタスクを追加したいと考える一方で、更新を実施したばかりなので新しいタスクを取り込みたくないと考えましょう。

ベースラインとタスクは、プロジェクトグルーピングの一部です。したがって、プロジェクトを更新するときにベースラインとタスクを更新したくない場合、プロジェクトが含まれるプロジェクトグルーピングで更新オプションをオフにできます。

ステップ ...

- **プロジェクト** エクスプローラで、適切なプロジェクトグルーピングを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します。

これによってオプションの左側のチェックマークが選択解除されます。さらに、プロジェクトグルーピングの**プロパティ** ダイアログボックスを開くと、**自動更新** チェックボックスが選択解除されています。このチェックボックスは、選択するか、**プロジェクト** エクスプローラでプロジェクトグルーピングを右クリックして**ベースラインとタスクの自動更新**を選択するまで、選択解除の状態になっています。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [オブジェクトの再表示](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

開発者にテストベースラインを公開

ベースラインを公開すると、開発者はプロジェクトを更新して適切なテストレベルに合格した最新の変更を取り込むことができます。

この操作の手順は、すでにテスト ベースラインを作成しており、それを公開するだけであることを前提としています。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なベースラインを選択し、ベースラインを右クリックして**公開**を選択します。
2. 開発者に、プロジェクトを更新して変更を取り込むことができることを知らせます。

関連トピック

- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース](#)

ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース

ベースラインとすべてのオブジェクトをリリースすると、ベースライン内のすべてのオブジェクトを遷移させることとなります。これは、顧客に納品するために製品の最終リリースを作成するとき便利です。また、最終リリースの準備をしている最中に品質保証テスト用のマイルストーンリリースを作成するときにも便利です。

ベースラインをリリースする前に[ベースラインの作成](#)を行い、[開発者にテストベースラインを公開](#)を行う必要があります。この操作の手順は、すでにベースラインを作成して公開しており、それをリリースするだけであることを前提としています。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なベースラインを選択し、ベースラインを右クリックして**リリース**を選択します。

確認ダイアログボックスが表示されます。**はい**をクリックします。

2. この時点で、製品を顧客に納品する準備を行うことができます。

関連トピック

- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [開発者にテストベースラインを公開](#)

新規ベースラインの選択

開発者は、プロジェクトを **Custom Development** 目的を持つよう変更するか、**Custom Development** 目的の新規プロジェクトを作成すると、新規ベースラインを設定できます。これにより、新しいプロジェクト グループが作成されます。開発者はプロジェクト グループ ベースラインを適切に設定する必要があります。

ステップ ...

1. カスタム 目的と新規リリースを持つ[プロジェクトのコピー](#)を行います。
2. 新規プロジェクト グループを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. ベースラインを設定します。
 - a. **ベースライン プロジェクト** タブをクリックしてから**ベースライン選択**をクリックします。
ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グループのリリース (たとえば、**toolkit/2.0**) をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
 - b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [別のベースラインの使用](#)

別のベースラインの使用

自分のプロジェクトの更新を完全に管理したい開発者は、目的が **Custom Development** に設定されているプロジェクト グループを作成できます。すると、特定リリースの自分の全カスタムプロジェクトに使用するベースラインとタスクのリストを手動で選択できます。

たとえば、開発者が自分のプロジェクトを最新ベースラインとまったく同じ構成にして 4 つタスクを追加したい場合、目的を **Custom Development** に設定したプロジェクトを作成し、プロジェクト グループのベースラインを最新リリースと一致するよう設定して 4 つのタスクを追加します（これは、ビルドマネージャの初期サポートなしでパッチを開発している少人数チームなどに便利です）。

別のベースラインを使用するのに必要な操作について説明します。

ステップ ...

1. プロジェクトを変更し、目的をカスタムにします。
 - a. プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
 - b. 目的を **Custom Development** に変更します。
 - c. **適用**をクリックして変更を保存します。
2. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. **ベースラインプロジェクト** タブをクリックして現在のベースラインを表示します。
4. プロジェクト グループの別の[ベースライン](#)を選択します。
 - a. **ベースライン選択** ボタンをクリックします。
ベースライン選択 ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グループのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
 - b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
5. プロジェクト グループに[タスクの追加](#)を行います。

関連トピック

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [新規ベースラインの選択](#)

ファイルの変更

[ファイル内容の変更](#)

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ファイルの編集](#)

[ファイル配置の変更](#)

- [ディレクトリへの追加](#)
- [ファイルのタイプの変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの移動](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)

ファイル内容の変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ファイルの編集](#)

プロジェクト グループングからすべてのタスクを削除

この機能は、[プロジェクト グループング](#)に別のプロジェクト グループングにある同じタスクを含める場合に使用します。

これは、ビルド マネージャがシステム テスト プロジェクト グループングに統合テスト プロジェクト グループングのタスクを入れるときに便利です。この操作をビルド マネージャが行うのは、アプリケーションが特定の品質水準を満たす段階にきたので、専用のインストールを作成するようなときです。

以下の手順は、タスクを削除する方法を示します。

ステップ ...

- **プロジェクトエクスプローラで、適切なプロジェクト グループングを右クリックし、すべてのタスクの削除**を選択します。
確認を要求する確認ダイアログボックスが表示されます。**OK** をクリックすると、プロジェクト グループングからタスクが削除されますが、データベースには残ります。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [プロジェクト グループング内のすべてのタスクを別のプロジェクト グループングへコピー](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [破損ビルドの修復](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [関連タスクの表示](#)

チェックイン

この手順により、オブジェクトの変更を行った後チェックインを行います。これにより、他のユーザーがそのオブジェクトを使用できるようになります。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- チェックインするオブジェクトを右クリックし、**チェックイン**を選択します。

チェックイン操作の結果、[パラレルバージョン](#)が発生する場合、オブジェクトがチェックインされる前に警告メッセージが出ます。チェックインを続けるか、中止できます。

設定する必要がある必須属性を持つファイルをチェックインすると、**プロパティ** ダイアログボックスに、チェックインを行う前に設定する必要がある値が表示されます。必要な変更を行ってから**チェックイン**をクリックします。Telelogic Synergy は、変更を保存し、ファイルのチェックインを試みます。

ファイルまたはディレクトリをチェックインするときは、確認なしにチェックインが行われます。プロジェクトをチェックインするときは、チェックインを確認するよう要求されます。

関連トピック

- [カレントタスクの完了](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [2つのファイルバージョン](#)

チェックアウト

この手順により、ファイルまたはディレクトリの新規バージョンをチェックアウトします。Telelogic Synergy により、ファイルがカレント タスクと関連付けられます。

注記：カレント タスクが設定されている必要があります。
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- チェックアウトするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックアウト**を選択します。

関連トピック

- [チェックイン](#)
- [タスクの選択](#)

ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成

この手順により、[ファイル](#)、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを作成します。

ステップ ...

ディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを置くディレクトリを右クリックします。**メンバーの作成**をポイントし、**ファイル**、**ディレクトリ**、または**サブプロジェクト**のいずれかを選択します。
作成するオブジェクトの種類に対応するダイアログボックスが表示されます。
2. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトの名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [ファイルの編集](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [タスクの選択](#)

ファイルの編集

この操作により、ファイルの表示や修正を行うことができます。

注記：自分が変更可能なファイルのみ編集できます。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- ファイルをダブルクリックします。

関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [チェックアウト](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

ファイル配置の変更

- [ディレクトリへの追加](#)
- [ファイルのタイプの変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの移動](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)

オブジェクトの削除

この操作を使用して、データベースから以下の 1 つまたは複数のオブジェクトを削除します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス
- プロセス ルール
- プロジェクト
- タスク
- 保存クエリ
- リリース
- ベースライン
- プロジェクト グループिंग

ファイルの最初のバージョンを削除する場合は、ファイルは削除され、データベースからも削除されます。ファイルに祖先がある場合は、修正可能バージョンが削除され、祖先と置き換えられます。

注記：削除操作は、選択したオブジェクトをデータベースから完全に削除します。オブジェクトを削除せずに移動する場合は、**切り取り**を使用します。

ステップ ...

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。一度に同じ種類のオブジェクトを複数削除できます。

1. 削除するオブジェクトを右クリックし、**削除**を選択します。

削除ダイアログボックスが表示されます。

2. リストから削除するオブジェクト (1 つまたは複数) を選択します。

プロジェクトを表示する場合、**サブプロジェクトの削除**チェックボックスを選択してすべてのサブプロジェクトも削除することもできます。

プロジェクト グループングを削除する場合、プロジェクト グループング内のすべてのプロジェクトも削除されます。

ベースラインを削除して、ベースラインが削除されるようにマークされる場合、**オフライン保存と削除**機能を使用して取り除くよう設定できます。詳細については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの [soad コマンド](#) を参照してください。

タスクを削除する場合、タスクに関連するオブジェクトは、削除されません。

リリースを削除する場合、リリースは使用中であってはなりません。

フォルダまたはフォルダ テンプレートを削除する場合、プロセス ルールがそれを使用していないことを確認してください（プロセス ルールが使用しているフォルダまたはフォルダ テンプレートは削除できません）。

プロセス ルールを削除する場合、プロセスがそれを使用していないことを確認してください。

プロセスを削除する場合は、そのプロセスがもはや不要になったことを確認してください。プロセスを削除しても、プロセスに関連するプロセス ルールは削除されません。

3. 削除をクリックします。

関連トピック

- [ファイル システムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [プロジェクト ファイルの名前変更](#)
- [更新の取り消し](#)

ファイルの移動

この手順により、ファイルを別のディレクトリに移動します。

チェックアウトされたファイルやディレクトリはタスクと関連付けられます。これで、更新後のメンバーが正しく機能します。

ステップ ...

1. 移動するファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. ファイルの移動先のディレクトリを選択します。
3. 適切なディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

ディレクトリへの追加

以下の手順により、既存の[ファイル](#)、[ディレクトリ](#)、または[プロジェクト](#)をディレクトリに追加します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 追加したいファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトを右クリックし、**コピー**を選択します。
2. オブジェクトを追加するディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [オブジェクトのコピー](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [クエリの定義](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

プロジェクト ファイルの名前変更

この操作により、ファイルの名前を変更します。

ファイル名を変更するには、ファイルがチェックアウト済みで、修正可能なプロジェクトで使用されていない必要があります。同一ディレクトリ内の別のファイルと同じ名前を付けることはできません。

ステップ ...

1. 名前を変更するファイルを右クリックし、**名前の変更**を選択します。
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. 新しい名前を入力します。

関連トピック

- [ファイルのタイプの変更](#)
- [ファイルの移動](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

ファイルのタイプの変更

Telelogic Synergy データベースにファイルを作成する際、拡張子によってファイルタイプが自動的に付加されます。たとえば、**foo.c** というファイルの場合は、Telelogic Synergy データベースで **csrc** というタイプになります。しかし、ファイルのタイプを変更しなければならない場合もあります。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクトのメンバーであるファイルを選択します。

注記： 名前を変更するファイルは、修正可能であること、および 1 つのプロジェクトのメンバーであることが必要です。

2. **編集**メニューで、**タイプ変更**を選択します。
3. **タイプ変更**ダイアログボックスで新しいタイプを選択し、**了解**ボタンをクリックします。

ファイルが他のプロジェクトのメンバーでなければ、タイプが変更されます。

関連トピック

- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [プロパティの表示](#)

タスクの作業

日常のタスク

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)
- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクの修正

- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)
- [プロジェクト グルーピングにタスクを追加](#)

タスクと変更依頼

- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [ベースライン作成オプションの変更](#)
- [必須タスクの自動追加を停止](#)

日常のタスク

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのコピー](#)
- [タスクの除外](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)
- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクの選択

この手順により、[カレントタスク](#)を変更します。カレントタスク設定後、作成または変更した**すべての**ファイルとディレクトリが Telelogic Synergy によってカレントタスクと関連付けられます。

クエリの結果を利用して[タスクのプロパティの修正](#)や[ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)を行うことができます。

ステップ ...

1. 割り当てられたタスクを探すには、**タスク** エクスプローラを開き、**自分に割り当てられたタスク**の下タスクを見ます。
2. 選択するタスクを右クリックし、**カレントタスクとして設定**を選択します。
これで、そのタスクの作業ができるようになります。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

カレント タスクの完了


この手順により、[カレント タスク](#)を完了し、関連ファイルとディレクトリをチェックインします。

カレント タスクを完了すると**カレント タスク**ツールバーに表示されなくなり、変更もできなくなります。

ステップ ...

1. 完了するタスクがカレント タスクであることを必ず確認してください。

カレント タスクはメイン メニューバーの下に表示されます。完了するタスクがカレント タスクとして設定されていない場合は、[タスクの選択](#)を参照して設定します。

2. **カレント タスク** ツールバーで  をクリックします。

コンフリクトがなければ、確認ダイアログボックスが表示され、タスクを完了できません。

カレント タスクがパラレルバージョンを持つオブジェクトに関連している場合、**パラレル** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスからオブジェクトどうしを比較およびマージするか、マージを省略して**完了**をクリックすることでチェックインを完了できます。

チームが採用している方法論が、タスクが変更依頼と関連していることを要求し、タスクの属性が設定されていない場合は、**タスク プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。設定されていない属性を入力し、もう一度タスクを完了してください。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

タスクの割り当て

この手順により、タスクを割り当てます。開発者は、自分で作成したタスクを自分に割り当てます。チームリーダーとビルドマネージャは、タスクを他の人に割り当てることができます。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 新しい担当者の名前を**担当者**リストから選択します。

これでタスクを解決するユーザーが変更されます。新しい担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。ダイアログボックスに表示される他の属性は変わりません。

タスクが自分のカレントタスクの場合は、**カレントタスク** ツールバーから削除されます。したがって、続行するには新しいカレントタスクを設定する必要があります。詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

関連トピック


- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクの作成

この手順により、タスクを作成します。タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

タスクを作成してそれを自動的に変更依頼と関連付けたい場合は、[変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)を参照してください。


ステップ ...

1. **カレント タスク** ツールバーで  をクリックします

タスクの作成 ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。

2. タスクの概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. タスクのリリースを **リリース** リストから選択して設定します。
5. 担当者の名前を **担当者** リストから選択します。

これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレント タスクに関連付けます。

変更依頼の選択 ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。 **変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。
適切なデータベースを選択し、**担当者** リストで担当者名を変更します。

9. **OK** をクリックします。

注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)

-
- [カレントタスクの完了](#)
 - [オブジェクトの削除](#)
 - [タスクの除外](#)
 - [クエリの定義](#)
 - [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
 - [タスクの選択](#)
 - [関連タスクの変更依頼の表示](#)
 - [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

タスクのコピー

この手順により、タスクをコピーします。タスクをコピーすると、自動的に自分に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

ステップ ...


タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。

タスクのコピー ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。ダイアログボックスのすべてのフィールドには、コピー元のタスクの情報が入ります。

2. タスクの新しい概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. 必要に応じて、タスクのリリースを**リリース**リストから選択して変更します。
5. 必要に応じて担当者の名前を**担当者**リストから選択して変更します。

これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 新しい変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、カレント タスクに関連付けられている変更依頼を変更します。

変更依頼の選択 ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。

適切なデータベースを選択し、**担当者**リストで担当者名を変更します。

9. **OK** をクリックします。

注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)

-
- [カレントタスクの完了](#)
 - [タスクの作成](#)
 - [オブジェクトの削除](#)
 - [タスクの除外](#)
 - [クエリの定義](#)
 - [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
 - [タスクの選択](#)
 - [関連タスクの変更依頼の表示](#)
 - [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

タスクの除外

タスクを除外すると、どのプロジェクト グループでも、自動的に使用されなくなります。これにより、たとえば、ビルドを破壊するオブジェクトがプロジェクト内で使用されるのを防ぎます。

ビルド マネージャは、まずこのオプションを使用して他のチーム メンバーが問題タスクを受け取るのを防いでから[タスクを指定して別タスクを修正](#)することができます。あるいは、ビルド マネージャはリリースから取り除かれる機能を含むタスクを除外することができます。この場合、修正タスクを作る必要はありません。

完了したタスクのみ除外できます。

ステップ ...

- 適切な完了タスクを右クリックし、**除外**を選択します。
これでタスクが除外されます。タスクアイコンの上に小さな赤い x が表示されます。
タスクを除外しない場合、タスクを右クリックして**除外の取消し**を選択します。

関連トピック

- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [オブジェクトの検索](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

カレント タスクへ追加

この手順により、特定のファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレント タスクに追加します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- カレント タスクに追加するファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクへ追加**を選択します。

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼がカレントタスクに追加されます。

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレントタスクから削除するには、同じファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクから削除**を選択します。

Telelogic Change を使用している場合、現在作業をしているタスクに変更依頼の追加が必要になることもあり得ます。Telelogic Synergy と Telelogic Change は、顧客の変更依頼から修正方法の詳細を示すタスクまで、修正に必要な情報を実際に修正の対象となるファイルと結びつけられるように連動します。

関連トピック

- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

フォルダへのタスクの追加

通常、ユーザーが手動でタスクをフォルダへ追加する必要はありません。しかし、特殊な状況が発生する場合があります。たとえば、開発者は、DCM を使用して他のサイトに転送するためにビルド マネージャに渡すフォルダに、タスクを追加する場合があります。また、ビルド マネージャは、手動で入力したホット リストのためにフォルダを共有する場合に、手動でタスクをフォルダへ追加します。

ステップ ...

- **タスク** エクスプローラで、フォルダへ追加するタスクを右クリックし、**フォルダに追加**を選択します。
フォルダ選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、タスクを追加するフォルダを検索します。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの作成](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

以下では、[タスクをオブジェクトに追加](#)または[オブジェクトに関連付けられたタスクを削除](#)する方法を説明しています。

タスクをオブジェクトに追加

ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. **タスクの追加** ボタンをクリックします。
タスクの**選択** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトに追加するタスクを検索します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

オブジェクトに関連付けられたタスクを削除

ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. 変更可能なタスクを右クリックし、**切り取り**を選択します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

自分に割り当てられたタスクの表示

次の手順に従って特定のリリースで自分に割り当てられたすべてのタスクを表示します。

ステップ ...

- **タスク** エクスプローラで**自分に割り当てられたタスク**をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

関連タスクの表示

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、変更依頼と関連付けられたタスクを表示します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**タスク プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスに関連タスクのプロパティが表示されます。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)

タスクの修正

- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [プロジェクトグルーピングにタスクを追加](#)

タスクを指定して別タスクを修正

この操作は、2つの無関係なタスクを作成した後、一方を修正するためにもう一方が必要なことがわかったとき使用します。この手順は、たとえばコンフリクトの検知などを目的に、2つの無関係なタスク間に必要な関係を作成する方法です。

この関係は、[「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用](#)によって問題（破損）タスクから作ることもできれば、[「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用](#)によって修正タスクから作ることもできます。

「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 修正タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
修正タスクの状態は、*working*（作業中）または *completed*（完了）が可能です。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクが修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。
タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、修正タスクに追加する問題タスクを検索します。
修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 問題タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
問題タスクの状態は、*completed*（完了）または *excluded*（除外）でなければなりません。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクを修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。

タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、問題タスクに追加する修正タスクを検索します。

修正タスクを作成する必要がある場合、**修正タスクの作成**をクリックして**修正タスクの作成**ダイアログボックスを開き、修正タスクを作成できます。この方法で修正タスクを作成すると、修正タスクと問題タスクの間に関係ができ、修正タスクが自動的にカレントタスクとして設定されます (**修正タスクの作成**ダイアログボックスの詳細については、[修正タスクの作成](#)を参照してください)。

修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。

4. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

修正タスクの作成

破損タスクは、以下の理由で発生します。

- 完了したタスクが変更依頼を完全に修正していない。
- 完了したタスクが修正が必要なバグを作成した。

いずれの場合にも、次のような状況が想定できます。完了すべきタスクがあります。カレントタスクに設定し、タスク完了に必要なすべてのオブジェクトをチェックアウトし、作業を行いました。そしてカレントタスクと関連するすべてのオブジェクトを完了しました。その後、完了したばかりのタスクに問題を発見しました。

以下に問題のタスクを修正する作業の流れを示します。

1. 既存のタスクを修正するもっともよい方法を確認します。
2. 既存のタスクを修正するタスクを作成します (**修正タスクの作成**ダイアログボックスを使用)。これにより、修正タスクと問題タスクの間の関係が自動的に作成されます。

タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレントタスクとして設定されます。

修正タスクは、修正する完了したタスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。以下に説明するとおり、これらのタスクには、互いに依存する必要がある場合と、一緒に使用できない場合とがあります。

問題タスクがその原因となる問題とは無関係の正しい変更を含み、それをビルドに含める必要がある場合、除外（破損）タスクを適切なプロジェクト グルーピングに戻す**必要があります**。つまり、問題タスクとそれを修正するタスクの両方が、ともにビルドに含まれることとなります。修正タスクを作成し、修正タスクと問題タスクの間に関係を作成し、そして修正タスクを完了したら問題タスクの除外を取り消す必要があります（手順については、[タスクの除外](#)を参照してください）。

除外したタスクが製品に悪影響を及ぼす変更を含んでおり、かつ修正タスクがこの悪影響を修正する変更を含む場合は、除外したタスクを再度取り込む必要はありません。


3. 問題タスクを修正する作業を完了します。
4. 修正タスクとすべての関連オブジェクトを完了します。

タスクの作成ダイアログボックスを使用して修正タスクを作成した場合、修正タスクと問題タスクの間の関係を作る必要があります。説明については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 完了したタスクまたは修正する除外タスクを右クリックし**修正タスクの作成**をクリックします。

修正タスクの作成ダイアログボックスが表示されます。

-
2. タスクの説明を入力します。
 3. タスクのリリースをリリースリストに設定します。
 4. 担当者ではない場合、**担当者**リストにタスクの担当者を設定します。
 5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
 6. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレントタスクに関連付けます。

変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼**フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

7. 必要に応じて、**タスクの除外** タスクチェックボックスを変更します。

開発者またはチームリーダーは、まずこのオプションを設定して他のチームメンバーが問題タスクを受け取るのを防ぐことができます。たとえば、チームリーダーが統合ビルドに失敗した場合、問題タスクを調べ、開発者に修正タスクを割り当ててから問題タスクを除外します。その後、彼は更新を行ってプロジェクトから問題タスクのオブジェクトを削除してもう一度ビルドを行います。

更新または**ベースラインとタスクの再表示**操作を行ったとき、タスクを誰のプロジェクトグルーピングとも関連付けたくない場合にこのオプションを設定します。

8. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

プロジェクト グループングからタスクを削除

タスクをプロジェクト グループングから削除できます。これにより、プロジェクト グループングがビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてプロジェクト グループングから行うこともできます。操作は、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)で説明しています。この方法は、[手動追加タスク](#)、タスクとベースライン、または[ベースラインで処理されたタスク](#)の表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロジェクト グループングから削除**を選択します。
プロジェクト グループング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを削除するプロジェクト グループングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクト グループングにタスクを追加](#)
- [タスクの作成](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

プロジェクト グルーピングにタスクを追加

タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。これにより、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてはプロジェクト グルーピングから行うこともできます。操作は、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)で説明しています。この方法は、[手動追加タスク](#)、タスクとベースライン、または[ベースラインで処理されたタスク](#)の表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし**プロジェクト グルーピングへ追加**を選択します。
プロジェクト グルーピング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを追加するプロジェクト グルーピングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクと変更依頼

- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [ベースライン作成オプションの変更](#)
- [必須タスクの自動追加を停止](#)

変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成

この手順により、タスクを作成し、それを自動的に変更依頼に関連付けます。この方法でタスクを作成すると、自身に自動的に割り当てられ、変更依頼に関連付けられ、変更依頼の概要を与えられ、カレントタスクとして設定されます。

新規タスクへの変更依頼の関連付けを作成したくない場合は、[タスクの作成](#)を参照してください。破損しているタスクを修正するには、[修正タスクの作成](#)を参照してください。

ステップ ...

1. **変更依頼** エクスプローラで適切な変更依頼を右クリックし、**タスクの作成** を選択します。
タスクの作成 ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
3. タスクのリリースを **リリース** リストから選択して設定します。
4. 別の人に割り当てる場合は、**担当者** リストの担当者名を変更します。
5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
6. チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。
適切なデータベースを選択し、**担当者** リストで担当者名を変更します。
7. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除

この操作により、指定タスクからの[ファイルの削除](#)または[変更依頼の削除](#)を実行します。

ファイルの削除

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **オブジェクト** タブを選択します。
3. 適切なファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。

変更依頼の削除

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **変更依頼** タブをクリックします。
3. 適切な変更依頼を右クリックし、**切り取り**を選択します。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

関連タスクの変更依頼の表示

Telelogic Changeを使用してアプリケーションに対して提出された変更依頼を追跡する場合、任意のタスクに関連する変更依頼を表示できます。Telelogic Synergy と Telelogic Change は、タスクを修正する方法に関する詳細情報を簡単に得られるよう協調して動作します。以下の手順は、タスクが割り当てられるきっかけとなった変更依頼内に含まれる、提出者のコメントを表示する方法です。

ステップ ...

- 適切なタスクを右クリックし、**変更依頼プロパティ**を選択します。
変更依頼のプロパティは、Telelogic Change インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプは、インターフェイスの上部のメインメニューからヘルプをクリックします。

関連トピック

- [タスクの割り当て](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

変更依頼の解決

Telelogic Change を使用している場合は、解決操作を使用して割り当てられた変更依頼を完成します。この操作によって、Telelogic Change インターフェイスが起動します。このインターフェイスから変更依頼を解決します。

ステップ ...

- 適切な変更依頼を右クリックし、**解決**を選択します。
これで Telelogic Change が開始します。インターフェイスは、変更依頼を解決できる画面を表示します。このダイアログボックスのヘルプは、インターフェイスの上部のメインメニューからヘルプをクリックします。

関連トピック

- [関連タスクの表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)


ベースライン作成オプションの変更

ベースライン作成オプションを変更すると、ベースライン内の製品とプロジェクトのバージョンを決定するためのテンプレートが変更されます。日付がテンプレートの一部である場合は、日付の形式も変更できます。また、バージョン内の不正な文字を置き換えるための文字も指定できます。


以下の手順は、これらのオプションの設定を変更し、[ベースラインの作成](#)を行うときに変更をプレビュー表示する方法を示す。

ステップ ...

1. メインメニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション**ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**ベースラインの作成**をクリックします。
3. バージョンテンプレートキーワードを変更します。

バージョンテンプレートフィールドに直接入力してバージョンテンプレートキーワードを変更、削除、および追加します。をクリックして新しいキーワードを追加できます。

4. 日付形式キーワードを変更します。

日付形式フィールドに直接入力して日付形式キーワードを変更、削除、および追加します。をクリックして新しいキーワードを追加できます。

5. バージョン内で不正文字を置き換える文字を変更します。

たとえば、プロジェクトバージョンテンプレートの一部として **%platform** と入力してビルド管理プロジェクトのプラットフォームが **SPARC-solaris** の場合、バージョン文字列は **SPARC_solaris** と表示されます。

/¥'":?*[]@-# (および現在使用されている区切り文字) は、不正文字です。このフィールドには使用できません。バージョンの区切り文字を調べたい場合は、Telelogic Synergy CLI ヘルプ、[version コマンド](#)を参照してください。バージョンの区切り文字の変更方法については、Telelogic Synergy CLI ヘルプ、[delimiter コマンド](#)を参照してください。

6. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
7. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリテンプレートの修正](#)

-
- [プロジェクトの更新](#)
 - [デフォルトワークエリアパスの設定](#)

必須タスクの自動追加を停止

以下の手順は、プロジェクト グループिंगに手動で追加したタスクに対する必須タスクの自動追加を停止する方法です。追加されたタスクに必要とするタスクがあり、そのタスクがまだプロジェクトグループिंगのベースラインとプロジェクトのタスクに含まれていないとき、そのタスクを必須タスクといいます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**タスクをプロジェクト グループिंगに追加**をクリックします。
3. 必須タスクの追加設定を変更します。
タスクをプロジェクト グループिंगに追加する際に、暗黙的に必要なタスクも常に追加されます。
このオプションを選択解除するには、チェックボックスをクリックして**適用**をクリックします。
4. デフォルト設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックしてから**適用**をクリックします。

関連トピック

- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

プロパティの使用

オブジェクトプロパティの変更

- ベースラインプロパティの修正
- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- フォルダのプロパティの修正
- フォルダテンプレートのプロパティの修正
- プロセスのプロパティの修正
- プロセスルールのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- プロジェクトグルーピングのプロパティの修正
- リリースのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアの設定の修正
- プロパティの表示

プロパティ設定からの変更

- プロジェクトグルーピングにプロジェクトを追加
- デフォルトアプリケーションツールの変更
- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- ユーザープロパティのカスタマイズ

オブジェクトプロパティの変更

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセスルールのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [プロパティの表示](#)

ベースライン プロパティの修正

この手順により、ベースラインの情報を変更します。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するベースラインを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

ベースラインがリリースされていない場合、ビルドマネージャはビルドと名前プロパティを変更できます。以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

ベースラインの名前を指定します。デフォルトで、**Telelogic Synergy** は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20060309 は、2006年3月9日を意味します。

- **ビルド**

ビルドプロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **プロジェクト** タブ、**タスク** タブ、および**変更依頼**タブは修正できませんが、これらはベースラインと変更依頼の重要な情報を示します。

プロジェクト タブは、ベースライン内のプロジェクト（ベースラインプロジェクト）を示します。

タスク タブは、ベースライン内のタスクを示します。

関連トピック

- [ベースラインの作成](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクトに関する情報を変更します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **バージョン**

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

- **リリース**

リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。

- **プラットフォーム**

プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定する属性です。

- **プロダクト指定**

プロダクトは、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。プロダクトの例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。

3. [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。

グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したオブジェクトの修正とチェックアウトをユーザーに許可/禁止したり、オブジェクトのソースの表示を許可/禁止できます。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロパティの表示](#)

フォルダのプロパティの修正

この手順により、フォルダの情報を変更します。

ステップ ...

フォルダを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するフォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

注記：フォルダのプロパティを変更すると、そのフォルダはフォルダ テンプレートによって管理できなくなります。このフォルダを引き続きフォルダ テンプレートによって管理したい場合は、**フォルダ テンプレートのプロパティ** ダイアログボックスでフォルダ プロパティを変更します（詳細については、[フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)を参照してください）。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

フォルダの簡単な説明です。

- **修正可能者**

フォルダを変更する権限を持つ人のリストです。選択肢には、**なし**、**所有者**、**ビルド マネージャ**、および**全員**があります。

3. 必要に応じて、**タスク** タブでタスク選択モードを変更します。

- クエリを使用するには**クエリ使用**をクリックします。
- 手動で変更を加える場合は**手動**をクリックします。

フォルダのタスク選択モードが手動の場合、タスクを追加または削除することもできます。

- タスクを追加するには**プラス**記号アイコンをクリックします。**タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、フォルダに追加するタスクを検索します。
- タスクを削除するには、タスクをクリックして**マイナス**記号アイコンをクリックします。

4. **適用**をクリックして作業を保存します。
5. [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したフォルダの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。

6. **適用** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [プロパティの表示](#)

フォルダ テンプレートのプロパティの修正

この手順により、フォルダ テンプレートの情報を変更します。

ステップ ...

フォルダ テンプレートを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するフォルダ テンプレートを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

このフォルダ テンプレートで作成されるフォルダのタスクを集めるために使用するクエリの名前です。

- **修正可能 DB**

データベースで DCM を使用できる場合は、このフィールドがアクティブになっています。

このフィールドは、どのデータベースがフォルダ テンプレートを管理するかを示します。フォルダ テンプレートを修正するには、それが管理データベース内になければなりません。このリストの値に応じて表示されるボタンの種類が変わります。

フォルダ テンプレートがカレント データベースで管理されている場合、**管理の付与**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースで管理されている場合、**管理権限**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースが管理するのを待っている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

管理の付与をクリックして他のデータベースで管理を許可されているデータベースのリストを表示します。**管理の受取り**をクリックしてすべてのデータベースのリストを表示します。**管理設定**をクリックして管理をカレント データベースに設定します。

3. 必要に応じて**フォルダ プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**
フォルダ テンプレートによって作成されたフォルダの簡単な説明です。
 - **修正可能者**
フォルダを変更する権限を持つ人のリストです。選択肢には**所有者**、**ビルド マネージャ**、および**全員**があります。
4. 必要に応じて、このフォルダ テンプレートで作成されたフォルダのタスク選択モードを変更します。
 - クエリを使用するには**クエリ使用**をクリックします。
 - 手動で変更を加える場合は**手動**をクリックします。
 5. フォルダのタスク選択モードがクエリの場合、クエリのコピー、クエリ定義の追加、または削除を行うことができます。
 - クエリをコピーするには、**クエリのコピー**をクリックします。**クエリの選択ダイアログボックス**で、**作成**をクリックします。
 - 1 つ以上のクエリ条件を追加するには、**プラス記号アイコン**をクリックして適切な条件に新しい行を追加します。新しい行は必要なだけ追加できます。
 - クエリ条件を削除するには、不要になった条件の隣の**マイナス記号アイコン**をクリックします。
 6. **適用**をクリックして作業を保存します。
 7. すべての変更を行ったら **OK** をクリックします。

関連トピック

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [フォルダテンプレートのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)

プロセスのプロパティの修正

この手順により、プロセスの情報を変更します。

ステップ ...

プロセスを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロセスを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

プロセスの用途を説明します。

- **ダイアグラム URL**

プロセスの詳細情報を含むファイルを指し示します。デフォルトのプロセスには、ヘルプ サーバー上の説明ファイルへの URL があります。説明ファイルには、プロジェクト グルーピングへのベースラインとタスクのフローを示す図が含まれます。このファイルを表示するには、**表示**をクリックします。

独自のプロセスを作成したがダイアグラムが用意できていない場合、URL を説明ファイルが格納された場所へのパスに設定できます。

- **修正可能 DB**

データベースで DCM を使用できる場合は、このフィールドがアクティブになっています。

このフィールドは、どのデータベースがフォルダ テンプレートを管理するかを示します。フォルダ テンプレートを修正するには、それが管理データベース内になければなりません。このリストの値に応じて表示されるボタンの種類が変わります。

フォルダ テンプレートがカレント データベースで管理されている場合、**管理の付与**、**管理の受取り**、および**キャンセル**ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースで管理されている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースが管理するのを待っている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

管理権限の付与をクリックして他のデータベースで管理を許可されているデータベースのリストを表示します。**管理の受取り**をクリックしてすべてのデータベースのリストを表示します。**管理設定**をクリックして管理をカレントデータベースに設定します。

3. 必要に応じて**プロセス ルール** タブのフィールドを修正します。

プロセス ルールを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。**プロセス ルール選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なプロセス ルールを検索し、追加するルールを選択し、**OK** をクリックします。**適用**をクリックして変更を保存します。

プロセス ルールを削除するには、削除するプロセス ルールを選択し、その横のマイナス記号をクリックします。

注記：プロセスは、目的ごとに1つのプロセス ルールのみ持つことができます。

関連トピック

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスのコピー](#)

プロセス ルールのプロパティの修正

この手順により、プロセス ルールの情報を変更します。

ステップ ...

プロセス ルールを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロセス ルールを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

プロセス ルールの簡単な説明です。

- **リリース**

プロセス ルールにリリースが設定されている場合、リリースフィールドが表示されます。リリースは変更できませんが、右クリックして選択することによって操作を行うことができます。

- **目的**

このフィールドは、プロセスルールが特定のリリースに使われる前にアクティブになっています。

参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを使用し、目的の設定、[目的の作成](#)、[目的の削除](#)、または[目的の編集](#)を行うことができます。

- **作成元**

このプロセス ルールの作成に使用したプロセス ルールを示します。このフィールドは変更できませんが、右クリックして選択することによって操作を行うことができます。

- **修正可能 DB**

データベースで DCM を使用できる場合は、このフィールドがアクティブになっています。

このフィールドは、どのデータベースがフォルダ テンプレートを管理するかを示します。フォルダ テンプレートを修正するには、それが管理データベース内になければなりません。このリストの値に応じて表示されるボタンの種類が変わります。

フォルダ テンプレートがカレント データベースで管理されている場合、**管理の付与**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースで管理されている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースが管理するのを待っている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

管理の付与をクリックして他のデータベースで管理を許可されているデータベースのリストを表示します。**管理の受取り**をクリックしてすべてのデータベースのリストを表示します。**管理設定**をクリックして管理をカレント データベースに設定します。

3. 必要に応じてベースライン プロジェクト タブのフィールドを修正します。

以下のフィールドによってベースラインの検索順序を変更できます。

表示されるオプションは、プロセス ルールにリリースが設定されているかどうかによって変わります。

- 最新：ベースライン、静的プロジェクト、静的またはビルド管理

これらのフィールドでは、特定のリリースまたはリリースのキーワード (**%release** または **%baseline_release**) を設定できます。キーワード **%release** は、ベースラインがプロセス ルールと同じリリース値を持つ必要があることを意味します。キーワード **%baseline_release** は、ベースラインがプロセス ルールのリリースのベースライン リリースと同じリリース値を持つ必要があることを意味します。これらのキーワードにより、任意のリリースで使用できるベースライン検索順序を持つデフォルトのプロセス ルールを設定できます。

たとえば、目的が **Integration Testing** (統合テスト) のリリース 2.3 のプロセス ルールを考えます。ベースラインの検索にリリース/目的ペア **%release**、**Integration Testing** および **%baseline_release**、**Any** が使われ、プロセスルールが最新のベースラインを使用する場合は、次のロジックのよってベースラインを検索します。リリース値が 2.3 で目的が統合テストのベースラインがあれば、それが使用されます。リリース 2.3 のベースラインが未作成の場合、リリース 2.2 の最新のベースラインが使われます。したがって、プロセス ルールは新規リリースのベースラインが作成されるまで、最終ビルドに対応するベースラインを新規リリースのベースラインとして使うことを指定できます。

- プロセス ルールに指定されたベースライン/固有ベースライン

プロセスルールが[汎用プロセスルール](#)の場合、プロセスルールに指定されたベースラインオプションが表示されます。プロセスルールが[リリース固有プロセスルール](#)であり、プロセスルールに指定されたベースラインを設定して汎用プロセスルールを作成している場合、固有ベースラインオプションが表示されます。

この設定により、プロジェクトグルーピングのベースラインを検索する方法を指定することになります。固有のベースラインは指定しません。プロセスルールを汎用のままにします。

後にリリースにこのプロセスルールを追加するとき、Telelogic Synergy は自動的に[リリース固有プロセスルール](#)を作成するので、以下に説明する固有のベースラインを設定する必要があります。

プロジェクトグルーピングの目的の検索に使用する固有のベースラインを設定する必要があります。このオプションをクリックし、次に参照ボタンをクリックして設定するベースラインを検索します。

ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、検索の範囲を絞り込む属性を入力します。

ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。

- プロジェクトグルーピングに指定されたベースライン

このオプションを設定すると、ベースラインプロジェクトの検索方法をプロセスルールによって指定せず、自分でプロジェクトグルーピングに指定できます。たとえば、**Custom Development** プロセスルールがこの設定を使用します。

4. 必要に応じて**タスク**タブでフォルダまたはフォルダ テンプレートを追加または削除します。

フォルダ テンプレートはフォルダを作成します。フォルダは、プロジェクトグルーピング用に集められたタスクをグループ化します。

プロセスルールが[リリース固有プロセスルール](#)である場合、フォルダとフォルダ テンプレートを追加または削除できます。プロセスルールが[汎用プロセスルール](#)である場合、フォルダ テンプレートのみ追加または削除できます。

追加するには、プラスをクリックして**フォルダまたはフォルダ テンプレートを選択**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスで、検索の範囲を絞り込む属性を入力します。

削除するには、不要になったフォルダまたはフォルダ テンプレートをクリックし、横のマイナス記号をクリックします。

5. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [プロセスルールの設定](#)

- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)

プロジェクトのプロパティの修正

この手順により、プロジェクトの情報を変更します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **バージョン**

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

- **リリース**

リリースは、特定のリリース固有のプロジェクトを識別するプロパティです。

- **目的**

プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Telelogic Synergy はプロジェクトまたはプロジェクトグルーピングの更新時に異なる選択基準を使用します。

- **プラットフォーム**

プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定するプロパティです。

- **プロジェクト グルーピング**

このフィールドは変更できませんが、プロジェクト グルーピング名を右クリックしてコンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。

- **ベースライン プロジェクト**

このフィールドは変更できませんが、ベースライン プロジェクト名を右クリックしてコンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクト バージョンを、そのベースライン プロジェクトと呼びます。ベースライン プロジェクトは、プロジェクト グルーピング プロパティに設定されているベースラインの一部です。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースライン プロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースライン プロジェクトは自動的に設定されます。

3. 必要に応じて[ワークエリアの設定の修正](#)を行います。
4. 必要に応じて[オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。
グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セキュリティ**タブを使用して、選択したプロジェクトの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。
5. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロパティの表示](#)

プロジェクト グループिंगのプロパティの修正

この手順により、プロジェクト グループिंगの情報を変更します。

ビルド マネージャは、通常このダイアログボックスを使用してビルドが失敗した理由を調べます。ビルド マネージャは、このダイアログボックスを開き、最近プロジェクト グループिंगに追加されたタスクを見てどこにエラーがあるか探します。バグを見つけたら、ビルド マネージャは担当開発者またはチーム リーダーに修正するよう知らせることができます。バグを修正している間、ビルド マネージャは実用的なビルドを行うためタスクをプロジェクト グループिंगから削除する必要があります。

ステップ ...

プロジェクト グループिंगを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクト グループिंगを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。

- **プロセス ルール** フィールドは修正できませんが、プロセス ルール名を右クリックして、コンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。
- **自動更新** チェックボックスはデフォルトで選択されています。このオプションが選択されていると、プロジェクトの更新時に[ベースラインとタスクの更新](#)が行われます。選択を解除すると、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)されません。

3. **プロジェクト** タブでプラス記号をクリックして、プロジェクトをプロジェクト グループिंगに追加できます。

プロジェクトの選択 ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グループिंगにプロジェクトを追加します。

4. 必要に応じて**ベースライン プロジェクト** タブのフィールドを修正します。

以下のフィールドが修正可能です。

- **ベースライン選択** ボタンは、プロジェクト グループिंगが使用するプロセス ルールがベースラインの選択を許可するよう設定されている場合にアクティブになっています。ベースラインを選択するには、**ベースライン選択** をクリックします。

ベースライン選択 ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グループिंगのリリース (たとえば、**toolkit/2.0**) をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。

- このプロジェクト グループのベースラインがある場合、**ベースライン**テーブルに表示されます。プロジェクト グループが使用するプロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**に設定されていると、このテーブルは空になります。
 - **コピーを保持しているベースライン プロジェクト** テーブルには、プロセス ルールがベースラインプロジェクトとして検出し、このプロジェクトグループにコピーがあるプロジェクトが含まれます。プロセス ルールがベースラインを使用する場合、これらのプロジェクトはベースラインからのプロジェクトです。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、これらのプロジェクトは最新のプロジェクト ルールで検出されます。
 - **コピーを保持していないベースライン プロジェクト** テーブルには、プロセス ルールがベースラインプロジェクトとして検出したが、このプロジェクトグループにコピーがないプロジェクトが含まれます。
5. 必要に応じて**タスク** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。
- **ベースラインで処理されたタスク** テーブルには、プロセス ルールがベースラインを使用する場合、プロセス ルールによって提供されたがベースラインの一部ではないタスクが含まれます。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、このテーブルはプロセス ルールによって提供されたすべてのタスクを含みます。
 - ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
 - **手動追加タスク** テーブルには、プロジェクト グループに手動で追加したタスクと暗黙的に必要なタスクが含まれます。さらにタスクを追加するにはプラス記号をクリックします。
- タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グループに追加するタスクを検索できます。
6. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロパティの表示](#)

リリースのプロパティの修正

リリース プロパティ ダイアログボックスを使用して、リリースのプロパティの表示または修正を行うことができます。

ステップ ...

リリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. リリース プロパティを表示するには、適切なリリースを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じてリリース プロパティ ダイアログボックスの**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

リリースの簡単な説明です。

- **アクティブ**

このオプションはデフォルトで選択されています。選択されている場合、リリースは[アクティブ リリース](#)です。選択を解除すると、リリースは[非アクティブ リリース](#)となります。

- **ベースライン リリース**

このオプションでは、リリースの[ベースライン リリース](#)を変更または設定できません。

プロセス ルールの作成時に設定していない場合、ビルド マネージャはベースライン リリースを変更することがあります。ベースライン リリースの設定は、ベースライン選択のセーフティ ネットとなります。更新操作がベースライン内のタスクに関連するオブジェクトを使用してメンバー選択を決めるため、これは重要です。

- **パラレル制約**

パラレル制約は、このリリースの作業を行っているチームがどのようにパラレルバージョンを使用するかを決定します。以下のパラレル制約を設定できます。

* パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを許可

* パラレル チェックアウトを許可、パラレル チェックインは禁止

* パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを禁止

- **転送を許可**

データベースで DCM を使用できる場合は、このオプションが選択されています。選択されている場合、このリリースの DCM 転送セットが許可されています。選択を解除すると、このリリースの DCM 転送セットは禁止されます。

- 必要に応じてプロセスルールタブのプロセスルールを追加、変更します。

プロセスルールについて

デフォルトで、目的ごとに1つのプロセスルールが含まれており、リリースの作成時に使用できます。以下は、標準プロセスの目的とプロセスルールです。

目的	プロセスルール
Collaborative Development (共同開発)	Collaborative Development (共同開発)
Insulated Development (個別開発)	Insulated Development (個別開発)
Custom Development (カスタム開発)	Custom Development (カスタム開発)
Shared Development (共有開発)	Shared Development (共有開発)
Visible Development (可視開発)	Visible Development (可視開発)
Integration Testing (統合テスト)	Integration Testing (統合テスト)
System Testing (システムテスト)	System Testing (システムテスト)

注記：データベースで DCM を使用できる場合、分散型プロセス情報の目的とプロセスルールも表示されます。詳細については「リリースの作成またはコピー」の[ステップ 3](#) の下の表を参照してください。

プロセスルールタブの選択肢に追加するには、プラス記号をクリックします。プロセスルール選択ダイアログボックスに、使用できるプロセスルールが表示されます。適切なプロセスルールを選択して **OK** をクリックします。**適用** をクリックして変更を保存します。

適切な目的を開いてこのリリースが従うべきプロセスルールをクリックします(ここで選択したプロセスルールが、更新操作時に集められるオブジェクトを管理します)。

ビルドマネージャは、このリリースを通して、特定の目的で1回または複数回彼のチームが従う異なるプロセスルールを選択する場合がありますが、開発者は何も変更する必要はありません。彼らが行う必要があるのはここで選択したルールが定義するように、最新のメンバーを取り込むようプロジェクトを更新することだけです。

- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セ**

キュリティ タブを使用して、選択したリリースの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。

関連トピック

- [リリースのアクティブ化と非アクティブ化](#)
- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (リリース)

タスクのプロパティの修正

この手順により、タスクの情報を変更します。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **概要**
概要は、1行にまとめたタスクの説明です。
- **リリース**
リリースは、特定の製品に使用された固有のプロジェクトまたはタスクを識別するプロパティです。
- **優先度**
優先度は、タスクの重要度を測るプロパティです。
- **サブシステム**
サブシステムは、タスクのソフトウェアサブシステムを指定します。たとえば、クライアント/サーバーソフトウェアアプリケーションを開発する場合、サブシステムは **client**、**server**、および **communication** かもしれません。
- **プラットフォーム**
プラットフォームは、論理的要変更に適用可能なハードウェアプラットフォームを指定するプロパティです。
- **担当者**
担当者は、タスクを完了する人の名前です。
- **予定作業 / 実作業**
タスク作業の予想または実時間を任意の間隔（時間、日、月）で追加できます。
- **完了予定日**
カレンダーを使用してタスクの完了予定日を追加します。
- **修正可能 DB**

チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してデータベースの名前を変え、**担当者**リストを使用して担当者の名前を設定することによって、タスクを異なるデータベースのユーザーに割り当てることができます。

3. 必要に応じて**詳細**タブの説明を修正します。このタブでは、タスクを修正するために行ったコード変更に関して、複数行の説明を加えることができます。

4. 必要に応じて**オブジェクト**タブでオブジェクトを追加または削除します。

オブジェクトを追加するにはプラス記号をクリックします。**オブジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、タスクに追加する 1 つまたは複数のオブジェクトを選択します。

オブジェクトを削除するには、削除するオブジェクトを選択してマイナス記号をクリックします。

5. **タスク修正**タブを使用して[タスクを指定して別タスクを修正](#)します。
6. **変更依頼**タブを使用して関連する変更依頼を追加または削除します。
7. [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#).

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セキュリティ**タブを使用して、選択したタスクの修正およびコピーをユーザーに許可/禁止できます。

8. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [タスクの作成](#)
- [タスクのコピー](#)
- [プロパティの表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

ワークエリアの設定の修正

この手順により、ワークエリア設定を変更します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. ワークエリア設定を修正するプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **ワークエリア**タブをクリックします。
3. 必要に応じてフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **ワークエリア**

このオプションを選択する (**On**) と、Telelogic Synergy によってプロジェクトのコピーがワークエリアに保持されます。また、このオプションを選択すると、**適用** ボタンをクリックした時にプロジェクトが自動的に同期されます。

このオプションを選択解除する (**Off**) と、Telelogic Synergy はプロジェクトのコピーをワークエリアに保持せず、このダイアログボックスのすべてのオプションがグレー表示になります。

- **パス**

パス フィールドには、プロジェクトのワークエリア ディレクトリが表示されます。ただし、パスを変更したい場合は、新しいパスを直接入力するか、[...] (表示) ボタンをクリックして参照するか、[デフォルトパス使用](#) ボタンをクリックして変更できます。

ワークエリア ディレクトリはインターフェイス ホストから見えていなければなりません。

- **デフォルトパス変更**

このボタンをクリックしてプロジェクトのコピーオプションのオプションダイアログボックスの**アクション**タブで設定されているパスを表示します (パスは、**全てのワークエリアにデフォルトパスを使用**フィールドに表示されます)。

詳細については、[デフォルトワークエリアパスの設定](#)を参照してください。

- **デフォルトパス使用**

このボタンをクリックしてプロジェクトのコピーオプションのオプションダイアログボックスの**アクション**タブで設定されているデフォルトパスを使用します。

詳細については、[デフォルトワークエリアパスの設定](#)を参照してください。

- **親プロジェクトへの相対ワークエリア**

このオプションを選択すると、ワークエリアは相対ワークエリアとなります。すなわち、ワークエリアが親プロジェクトのワークエリア内のサブディレクトリになります。

相対ワークエリア内のサブディレクトリは、親プロジェクトのワークエリアに置かれているため、サブプロジェクトとして一度だけ使用できます。ただし、相対プロジェクトが静的な場合、複数のプロジェクトで使用できます。

このオプションを選択解除すると、ワークエリアは絶対ワークエリアとなります。ファイルシステムでは、絶対ワークエリアは別のディレクトリ構造として存在します。他のプロジェクトで、絶対ワークエリア内のサブプロジェクトを検索して使用できます。

- **プロジェクト固有のディレクトリをワークエリアパスに含む**

このオプションを選択すると、プロジェクト固有ディレクトリがワークエリアに作成されます。プロジェクトのすべてのディレクトリとファイルは、このプロジェクト固有ディレクトリに作成されます。

詳細については、[プロジェクト固有ディレクトリテンプレートの修正](#)を参照してください。

- **全てのファイルを編集可能にする**

このオプションを使用して、すべてのファイルを修正できるワークエリアを作成します。すべてのファイルを修正可能にすると、ActiveCM を使用する場合や、Telelogic Synergy データベース外で作業中にファイルを変更しなければならない場合に便利です。

- **コピーされた時刻を更新時刻に使用**

このオプションを選択すると、ファイルの最終修正時刻でなく、ファイルがワークエリアにコピーされた時刻がタイムスタンプとして使用されます。

- **ASCII ファイルの改行コードを変換**

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

このオプションを選択すると、CR/LF 文字が正しいフォーマット (Windows クライアントと UNIX サーバーの間でファイルをコピーする場合に UNIX 用または Windows 用に設定) に変換されます。

このオプションを選択解除すると、変換は行われません。

4. 適用をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)

プロパティの表示

この手順により、ファイル、フォルダ、フォルダ テンプレート、ディレクトリ、タスク、プロジェクト、プロジェクト グループ、プロセス、プロセス ルール、ベースライン、リリース、変更依頼に関する情報を表示します。

ステップ ...


適切なオブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
選択したオブジェクトの**プロパティ**ダイアログボックスが表示されます（変更依頼を除く）。適切なタブをクリックして情報を参照します。
変更依頼のプロパティは、**Telelogic Change** インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプは、インターフェイスの上部のメインメニューから**ヘルプ**をクリックします。

または

- 関連オブジェクトのプロパティを表示するには、適切なオブジェクトを右クリックして選択します。
たとえば、ファイルに関連するタスクのプロパティを表示するには、ファイルを右クリックして**タスク プロパティ**を選択します。**タスク プロパティ**ダイアログボックスに選択したファイルのタスク情報が表示されます。

または

-  をクリックしてカレント タスクのプロパティを表示します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。適切なタブをクリックして情報を参照します。

または

- オブジェクトを選択し、**表示**メニューから**プロパティ**を選択します。

関連トピック

- [ベースライン プロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリ プロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセス ルール プロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)

- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

プロパティ設定からの変更

- [プロジェクト グループにプロジェクトを追加](#)
- [デフォルト アプリケーションツールの変更](#)
- [ユーザー プロパティのカスタマイズ](#)
- [コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

ユーザー プロパティのカスタマイズ

Telelogic Synergy が使用するエディタ、テキスト ビューア、マージ ツール、および比較 ツールを変更できます。

ccm.user.properties ファイルには、Telelogic Synergy インターフェイスのローカル ユーザー設定が格納されています。

ステップ ...

1. Windowsユーザー:C:\¥Documents and Settings¥usernameにある **ccm.user.properties** ファイルを開きます。
UNIX ユーザー: ホームディレクトリ \$HOME にある **.ccm.user.properties** ファイルを開きます。
2. テキストエディタを使用して[デフォルト アプリケーションツールの変更](#)を行います。
3. ファイルを保存して閉じます。

関連トピック

- [比較](#)
- [マージ](#)

デフォルト アプリケーションツールの変更

マージツール、比較ツール、エディタは、Windows ではクライアントの **etc** ディレクトリにある **ccm.properties** ファイル、UNIX では **ccm.user.properties** ファイルにデフォルトで設定されています。

注記：Telelogic Synergy では、区切りに 2 つの連続した円記号を使用する必要があります。

- [Windows のデフォルト アプリケーション](#)
- [UNIX のデフォルト アプリケーション](#)

Windows のデフォルト アプリケーション

Windows のオプション	説明
windows.tool.edit.project	Windows システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.edit.dir	Windows システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.view.project	Windows システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.view.dir	Windows システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.compare.ascii	Windows システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.merge.ascii	Windows システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

```
windows.tool.compare.ascii = %ccm_compare
windows.tool.compare.binary = FAIL
windows.tool.merge.ascii = %ccm_merge
windows.tool.merge.binary = FAIL
windows.tool.edit.ascii = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"
"%file1"
windows.tool.edit.binary = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"
```

```
"%file1"  
windows.tool.edit.executable = "%file1"  
windows.tool.edit.project = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.edit.dir = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.view.ascii = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"  
"%file1"  
windows.tool.view.binary = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"  
"%file1"  
windows.tool.view.executable = "%file1"  
windows.tool.view.project = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.view.dir = explorer.exe "%file1"
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home  
view: %file1, %ccm_home  
help: %file1, %ccm_home  
FAIL: operation is not supported for that command  
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home  
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label,  
%file2_label, ccm_home
```

上記で、%file1 は 1 番目のファイルの名前、%ccm_home はクライアントがインストールされているディレクトリ、%file2 は 2 番目のファイルの名前、%file1_label と %file2_label は各ファイルのラベル、%ancestor はマージに使用される共通祖先ファイル、%outfile はマージの結果です。

UNIX のデフォルト アプリケーション

UNIX のオプション	説明
<code>unix.tool.edit.project</code>	UNIX システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.edit.dir</code>	UNIX システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.view.project</code>	UNIX システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.view.dir</code>	UNIX システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.compare.ascii</code>	UNIX システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.merge.ascii</code>	UNIX システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

```
unix.tool.compare.ascii = %ccm_compare
unix.tool.compare.binary = FAIL
unix.tool.merge.ascii = %ccm_merge
unix.tool.merge.binary = FAIL
unix.tool.edit.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.edit.binary = FAIL
unix.tool.edit.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.edit.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.view.binary = FAIL
unix.tool.view.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home
view: %file1, %ccm_home
```

```
help: %file1, %ccm_home
FAIL: operation is not supported for that command
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label,
      %file2_label, ccm_home
```

上記で、%file1 は 1 番目のファイルの名前、%ccm_home はクライアントがインストールされているディレクトリ、%file2 は 2 番目のファイルの名前、%file1_label と %file2_label は各ファイルのラベル、%ancestor はマージに使用される共通祖先ファイル、%outfile はマージの結果です。

関連トピック

- [ユーザープロパティのカスタマイズ](#)

オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロパティダイアログボックスの**セキュリティ** タブを使用して、ユーザーに選択オブジェクトの修正とチェックアウトまたはコピーの許可/禁止およびオブジェクトのソースの表示の許可/禁止を行います。

データベースのセキュリティについて

Telelogic Synergy データベースには、各種オブジェクトを多数含むことができます。すべてのユーザーにすべてのオブジェクトのチェックアウト、コピー、修正、および表示を許可するのは必ずしも適切ではありません。セキュリティの設定により、これらの権限を、指定したユーザーのグループに制限できます。

以下のオブジェクトの指定セキュリティ設定を変更できます。

- ファイル：表示、修正、およびチェックアウト権限
- ディレクトリ：修正およびチェックアウト権限
- フォルダ：修正およびコピー権限
- タスク：修正およびコピー権限
- プロジェクト：修正およびコピー権限
- リリース：修正およびコピー権限

一般ペインで、**オプション** ダイアログボックスの**表示**タブで**オブジェクトのセキュリティ** プロパティを表示チェックボックスを設定していると、**セキュリティ** タブが表示されます。また、これらのオプションはオブジェクトを所有する場合にのみ有効です。

このオプションは、グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

すべての**プロパティ**ダイアログボックスから**セキュリティ**タブを削除する方法については、[プロパティダイアログボックスのセキュリティタブの表示](#)を参照してください。

Telelogic Synergy Classic CLI を使用してグループを**セキュリティ**タブに表示するよう設定できます。詳細については、[Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)の「groups コマンド」を参照してください。

ステップ ...

1. セキュリティ設定を変更するオブジェクトに対応する**プロパティ** ダイアログボックスを開きます。
2. フォルダ、タスク、プロジェクト、またはリリースのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトを修正およびコピーできるユーザーのグループを変更できます。

すべてのユーザーにこのフォルダ、プロジェクト、リリースの修正およびコピーを許可するには**全員にこのobjectの修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウトを以下のグループに限定**のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

3. ファイルおよびディレクトリのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトの修正およびチェックアウトを許可するユーザーのグループを変更したり、ファイルのソースの表示を許可するユーザーのグループも変更できます。

すべてのユーザーにこのファイルまたはディレクトリの修正およびコピーを許可する場合は、**全員にこの object の修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択解除されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウトを以下のグループに限定**を選択し、制限するグループをクリックします。

すべてのユーザーにこのファイルの読み出しを許可する場合は、**全員にこのオブジェクトソースの閲覧を許可**を選択します。このオプションはデフォルトで設定されています。

設定を制限するには、**オブジェクト ソースへのアクセスを以下のグループに限定**のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加

プロジェクト グルーピング機能により、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加することで、プロジェクトを異なる目的とリリースで簡単に再利用できます。

開発者は、目的の異なる複数のプロジェクト階層を使って作業することがあります。プロジェクトによっては **Insulated Development (個別開発)** に使われるものもあれば **Collaborative Development (共同開発)** に使われるものもあり、さらに開発者がチームリーダーでもある場合、**統合テスト**に使用するプロジェクトを持つこともあります。通常、開発者がビルドするのは数個のプロジェクト程度ですが、さらに多くをビルドする必要が生じることもあります。たとえば、**Collaborative Development (共同開発)** でプロジェクトをビルドできない場合、そのプロジェクトを制御可能な環境である **Insulated Development (個別開発)** プロジェクト グルーピングへ移すことがあります。

プロジェクトをプロジェクト グルーピングに追加するという事は、異なるプロジェクトを現在開発を行っているワークスペースへ移動することであると考えられます。プロジェクトのコピーを作る代わりに、単にプロジェクトを異なるプロジェクト グルーピングへ移し、その後[プロジェクトの更新](#)を行うことができます。

ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. プロジェクトタブをクリックします。
3. プロジェクトの追加ボタンをクリックします。
プロジェクトの**選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グルーピングに追加するプロジェクトを選択します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)

ファイルの検索とその他

[オブジェクトの検索](#)

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

[クエリの設定](#)

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [クエリの定義](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で保存](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの表示](#)

[定義済みクエリの使用](#)

- [保存クエリの編集](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存されたクエリの実行](#)

オブジェクトの検索

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

オブジェクトの検索

クエリ ダイアログボックスを使用して任意の種類オブジェクトを検索できます。**検索** メニューには、タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グループ ping、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレートなど、検索できる各種オブジェクトが表示されます。

検索 メニューを使用して検索するオブジェクトの種類を選択するとき、**クエリ** ダイアログボックスにそのオブジェクトのクエリを作成するための正しい情報が表示されます。

ステップ ...

- メインメニューで、**検索** をクリックし、**タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グループ ping、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート** のいずれかを選択します。

クエリ ダイアログボックスは、選択したオブジェクトタイプのクエリに適した情報を表示します。

クエリの定義に関する詳細な情報については、[クエリの定義](#) を参照してください。

関連トピック

- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前保存](#)

オブジェクトの使用箇所の検索

この手順により、特定のファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを使用するプロジェクト、ベースライン、プロジェクト グループング、またはフォルダをデータベースから検索します。特定の変更依頼を使用するベースラインおよびプロジェクト グループングを検索することもできます。

ステップ ...

- ファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロジェクト**、**使用しているフォルダ**、**使用しているベースライン**、または**使用しているプロジェクト グループング**を選択します。

変更依頼 ID を右クリックして**検索**をポイントし、次に**使用しているベースライン**または**使用しているプロジェクト グループング**を選択することもできます。

クエリ ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドにすべてのプロジェクト、フォルダ、ベースライン、またはプロジェクト グループングが表示されます。

関連トピック

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前ですべて保存](#)

オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

以下では、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっているかどうかに関わらず、オブジェクトまたはリリースの履歴を表示する方法を示します。

この機能は、**履歴**ダイアログボックス内に表示するオブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。**履歴の表示**ダイアログボックスを使用してオブジェクトまたはリリースを表示すると最初にクエリする必要がなく、クエリ結果を使用して**履歴**ダイアログボックスにプロジェクトを表示できます。

あるいは、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわからない場合、クエリして検索し、クエリ結果を使用して、バージョン履歴の表示、パラレルの確認、プロジェクトを最新のバージョンからコピーしているか確認、および DCM 転送の後に履歴関係の更新ができます。

ステップ ...

1. Telelogic Synergy の任意の場所で、**Ctrl + H** キーを押します。

履歴の表示ダイアログボックスが表示されます。

2. オブジェクトの履歴を表示するには、名前 (例、**newdoc.txt**)、バージョンの区切り文字で区切った名前とバージョン (例、**newdoc.txt-beta**)、または、オブジェクト名、バージョン、タイプ、インスタンスの 4 つの部分からなる 4 部名称 (例、**newdoc.txt-beta:ascii:ccmintdb#1**) を入力します。

入力したオブジェクト名が複数のバージョンに対応する場合、**オブジェクト選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なオブジェクトを選択して **OK** をクリックします。

3. リリースの履歴を表示するには、完全なリリース名 (例、**editor/2.0**) またはコンポーネントリリース (例、**3.2_patch**) を入力します。


Telelogic Synergy が入力されたリリース名からリリースを判断できない場合、**リリース選択**ダイアログボックスに入力された名前と一致するリリース類が表示されます。適切なリリース名を選択して **OK** をクリックします。

完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符 (?) とアスタリスク (*) 文字で、4 部名称、コンポーネント、またはコンポーネント名の不明部分を置き換えても結果を得ることができます。

または

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**履歴**を選択します。オブジェクトまたはリリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

履歴ダイアログボックスに、オブジェクトまたはリリースの全バージョンが表示されます。

Telelogic Synergy Distributed を使用して DCM 転送の後、履歴関係を更新する場合は、 をクリックします。

関連トピック

- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインからのタブの削除](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

割り当てられた変更依頼の表示

この手順により、割り当てられているすべての変更依頼を表示します。

ステップ ...

- **エクスプローラ** ツールバーで、**変更依頼**をクリックします。
割り当てられているすべての変更依頼が保存クエリ **自分に割り当てられた変更依頼**の下に表示されます。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [クエリの定義](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [関連タスクの表示](#)

クエリの設定

- [クエリの定義](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [保存クエリの表示](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)

クエリの定義

現在持っている情報と次の手順を使用して、データベース内でタスク、プロジェクト、オブジェクト、変更依頼、ベースライン、またはプロジェクトグルーピングを検索します。クエリの結果を使用すると、プロジェクトまたはデータベースからオブジェクトプロパティの表示、オブジェクトの追加、オブジェクトの削除などを行うことができます。さらに、適切なエクスペローラ内から[保存されたクエリのエクスペローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うこともできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで、**検索**をクリックし、検索するオブジェクトの種類として、**タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクトグルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセスルール、フォルダ テンプレート**のいずれかを選択します。

クエリダイアログボックスに選択したオブジェクトの種類が表示されます。

2. **検索**の下のリストボックスから条件を選択し、右のボックスに値を正しく設定します。

さらにフィールドを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。条件の詳細情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。便利なクエリとそれを使うシナリオは、下記の「クエリ例」を参照してください。

さらに、既存の保存クエリから新しいクエリをビルドし、**名前をつけて保存**をクリックして新しいクエリを作成できます。

クエリの例

- タスクを完了したが、変更依頼の解決を忘れたと仮定します。以下の手順により、リリース **XX/10** 用にマークされ、タスクを完了した割り当て済み変更依頼をすべて集めるクエリを作成します。

メインメニューで**検索**をクリックし、**変更依頼**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
release='XX/10' and crstatus='assigned' and resolver='%user' and has_associated_task(status='completed')
```

- それぞれ関連するオブジェクトを持つ複数のタスクが割り当てられ、同時に複数のタスクで作業を行う必要があると仮定します。以下のクエリは、割り当てられたタスクを関連するオブジェクトと共に集めます。これにより、変更を含むタスクを簡単に選択し、カレント タスクにできます。

- a. メインメニューで**検索**をクリックし、**タスク**を選択します。
- b. **割り当て日付**を `%user` に設定します。
- c. **カスタム**に `not has_no_associated_cv()` と入力します。

-
- **ico-1** プロジェクトのメンバーである作業中状態のオブジェクトを検索する必要がありますと仮定します。


メインメニューで**検索**をクリックし、**オブジェクト**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
status='working' and is_member_of('ico-1')
```

- タスク 374 に関連するすべての **executable (実行形式)** オブジェクトバージョンを検索して表示する必要がありますと仮定します。

メインメニューで**検索**をクリックし、**オブジェクト**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
type='executable' and is_associated_cv_of('task374-1:task:dbid')
```

3.  をクリックします。

結果フィールドにすべての結果が表示されます。

さらに、保存していないが再度実行したいビルド済みクエリを使用できます。上部のダイアログボックスの左にある左右の矢印を使用してクエリスタックから**セッション内**に実行したクエリを検索します。これにより、クエリをビルドし直さずに実行できます。

4. 保存クエリを作成する場合、[クエリの保存](#)を行います。

関連トピック


- [保存クエリの編集](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)

クエリの保存

クエリダイアログボックスを使用して[クエリの定義](#)および[クエリの保存](#)を行うことができます。いったんタスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクトグルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセスルール、またはフォルダ テンプレートのクエリ定義を作成したら、適切なエクスプローラ内から[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うことができます。

ステップ ...

クエリを定義する場合は、[クエリの定義](#)を参照してください。

1. クエリダイアログボックスで  をクリックします。
クエリダイアログボックスに**保存クエリ**タブが表示され、作成したクエリの名前を修正できます。
2. 保存クエリに固有の名前を入力します。
クエリは削除されるまでは常にクエリ ダイアログボックスの**保存クエリ** タブに表示されます。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)


クエリを新しい名前で保存

保存クエリを使用して、クエリを新しい名前で**クエリ**ダイアログボックスに保存できます。既存のクエリを使用して新しいクエリをすることにより、必要に応じて条件を変更して新しいクエリの条件に使用できます。

さらに、適切なエクスプローラ内から[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うこともできます。

ステップ ...

クエリを検索する場合は、[保存クエリの表示](#)を参照してください。

1. **クエリ**ダイアログボックスで、必要に応じて既存のクエリのプロパティを変更します。
2.  をクリックします。
クエリダイアログボックスに**保存クエリ**タブが表示され、作成したクエリの名前を修正できます。
3. 保存クエリに固有の名前を入力します。
クエリは削除されるまでは常に**クエリ**ダイアログボックスの**保存クエリ**タブに表示されます。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)

保存クエリの表示

以下の手順は、保存クエリのクエリ条件を詳しく調べる方法です。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリ（例、**My Project Groupings**、**My Assigned Tasks**、**My Assigned Change Requests**）を右クリックし、**表示**を選択します。

条件がクエリダイアログボックスに表示されます。

クエリの編集、保存クエリの作成、既存クエリを新しいクエリとして保存など、いろいろな作業を行うことができます。

関連トピック

- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で保存](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)

保存クエリの名前変更

以下の操作は、クエリの名前を変更する方法を示します。自分が修正可能なクエリのみ名前を変更できます。

ステップ ...

- **クエリ**ダイアログボックス内またはいずれかのエクスプローラから、適切な保存クエリを右クリックして**名前の変更**を選択します。

クエリの名前が修正可能になります。

修正を行って変更を保存したら、クエリが表示されるすべての箇所（たとえば**検索メニュー**、**検索リスト**、エクスプローラなど）で新しい名前が使用されます。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)

クエリのカスタマイズ

Telelogic Synergy データベース内でオブジェクト、プロジェクト、タスク、ベースライン、変更依頼、プロジェクト グループングを検索するクエリを作成する方法は 2 つあります。1 つは定義を使った方法、もう 1 つは文節条件を使った方法です。

クエリ定義を使用して、データベース内に定義された特定の情報を検索できます。たとえば、**自分に割り当てられたタスク**や**自分に割り当てられた変更依頼**などです。

関数、比較演算子など、さまざまな条件を使用してカスタム クエリを組み立てるには、文節条件を使用します。

関連トピック

- [クエリ文節条件](#)
- [クエリ定義](#)
- [属性値と関数テスト文節の両方を使用したクエリ](#)
- [キーワードを使用したクエリ](#)
- [ネストされたクエリ](#)

クエリ定義

クエリ定義を使用してクエリを組み立てます。コンボボックスの一連の値を選択し、テキストボックスに情報を入力することにより、クエリを構成できます。カスタム クエリを選択してカスタム クエリ文を入力することもできます。

検索

必要なクエリのタイプを指定します。選択肢は以下のとおりです。

- [ベースライン](#)
- [変更依頼](#)
- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [オブジェクト](#)
- [プロセス](#)
- [プロセス ルール](#)
- [プロジェクト](#)
- [プロジェクト グループング](#)
- [リリース](#)
- [タスク](#)

ベースライン

検索リストから**ベースライン**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

変更依頼

検索リストから**変更依頼**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

フォルダ

検索リストから**フォルダ**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

フォルダ テンプレート

検索リストから**フォルダ テンプレート**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

オブジェクト

検索リストから**オブジェクト**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロセス

検索リストから**プロセス**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロセス ルール

検索リストから**プロセス ルール**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロジェクト

検索リストから**プロジェクト**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロジェクト グループینگ

検索リストから**プロジェクト グループینگ**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

リリース

リリースを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

タスク

検索リストからタスクを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

クエリ条件テーブル

クエリ条件オプション

下表は、使用できるクエリ条件オプションとその動作を示します。

条件	動作
割り当て日付	task_assigned 状態のすべてのタスクを検索します。
担当者で検索	特定ユーザーに割り当てられたすべてのタスクを検索します。
自動更新	プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新するよう設定されているすべてのプロジェクトグルーピングを検索します。
ベースラインとタスクを再表示	TRUE に設定されていると、プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新するよう設定されているすべてのプロジェクトグルーピングを検索します。FALSE に設定されていると、プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新しないよう設定されているすべてのプロジェクトグルーピングを検索します。
完了日付	task_assigned 状態のすべてのタスクを検索します。
完了担当者	特定日付で完了したすべてのタスクを検索します。
データベースで完了したオブジェクト	特定のデータベース内で完了したすべてのオブジェクトを検索します。
作成済み	特定の日付または日付の範囲の前、当日、後に作成されたすべてのオブジェクトを検索します。
データベースに作成されたオブジェクト	特定のデータベース内で作成されたすべてのオブジェクトを検索します。
カスタム	指定した条件ですべてのオブジェクトを検索します。
完了予定日付	特定の日付または日付の範囲に完了予定のすべてのタスクを検索します。
変更依頼番号	特定の変更依頼に関連付けられたすべてのタスクを検索します。
コンポーネント	特定のコンポーネント名の付いたすべてのリリースを検索します。
プラットフォームで検索	特定プラットフォームのすべてのオブジェクトを検索します。
リリースで検索	特定リリースのすべてのオブジェクトを検索します。
特定プロセス内	TRUE に設定するとプロセス内のプロセスルール、FALSE に設定するとプロセス内にはないプロセスルールを検索します。
状態で検索	要求された状態のすべてのオブジェクトを検索します。このボックスは編集できません。

条件	動作
プロダクト指定	製品として定義されているファイルを検索します。
データベースにローカルなオブジェクト	オブジェクトが初期化または作成されたデータベースのデータベース ID を持つオブジェクトまたはプロジェクトを検索します。
タイプで検索	特定タイプ値を持つすべてのファイルを検索します。
修正可能者で検索	修正可能者がなし、所有者、ビルド マネージャ、または全員である、フォルダとフォルダ テンプレートを検索します。
データベースで修正可能なオブジェクト	特定のデータベース内で修正できるすべてのオブジェクトを検索します。
更新済み	特定の日付の前、当日、または後に修正されたすべてのオブジェクトを検索します。
アクティブ	アクティブ (true) または非アクティブ (false) のすべてのリリースを検索します。
ベースラインプロジェクトの検索条件	指定されたプロセスルール条件を使用するベースラインプロジェクトを検索します。
次の値を使用する	関係を探そうとしているオブジェクトを検索します。指定オブジェクトに対して表示されるオブジェクトの種類は指定オブジェクトに依存します。
クエリを使用	クエリを使用する (true) または使用しない (false) フォルダまたはフォルダ テンプレートを検索します。
実作業時間	特定の実作業時間を示すすべてのタスクを検索します。
ビルドで検索	指定したビルドを使用するすべてのベースラインを検索します。
概要で検索	特定の詳細を持つタスク、フォルダ、またはフォルダテンプレートを検索します。これは大文字と小文字が区別されます。
予定作業時間	特定の予測作業時間を示すすべてのタスクを検索します。
ID で検索	特定の ID を持つタスクまたはフォルダを検索します。大文字と小文字が区別されます。
インスタンスで検索	特定のインスタンス値を持つすべてのオブジェクトを検索します。
管理ワークエリア	ワークエリアを維持または維持しないすべてのプロジェクトを検索します。
名前で検索	特定の名前の付いたすべてのオブジェクトを検索します。
所有者で検索	特定の所有者の名前が付いたすべてのオブジェクトを検索します。
パラレル制約条件	指定のパラレル制約条件を持つすべてのリリースを検索します。
優先度で検索	特定の優先度値を持つすべてのタスクを検索します。

条件	動作
目的で検索	特定の目的値を持つすべてのプロジェクト、プロジェクトグルーピング、プロセスルール、またはベースラインを検索します。
相対ワークエリア	相対 (<code>true</code>) または絶対 (<code>false</code>) 作業域を持つすべてのプロジェクトを検索します。
サブシステムで検索	特定のサブシステム値を持つすべてのタスクを検索します。
バージョンで検索	特定のバージョンの付いたすべてのオブジェクトを検索します。

属性値文節を使用したクエリ

属性値に基づくクエリ文節は、一致する属性を持つ（または持たない）すべてのオブジェクトバージョンを検索します。

このタイプの文節の構文は、以下のように属性名 (`attr_name`)、比較演算子 (`relative_operator`)、および属性値 (`constant`) で構成されています。

```
"attr_name relative_operator 'constant'"
```

例

- ステータスが「`working`」のすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

```
ccm query "status='working'"
```
- バージョンが「2」であるすべてのオブジェクトバージョンを検索して表示します。

```
ccm query "version='2'"
```

関数テスト文節を使用したクエリ

関数テストをもとにしたクエリ文節は、関数結果に一致するすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

このタイプの文節の構文は、以下のように関数 (`function`) とその引数で構成されています。

```
"function('function_arguments')"
```

関数はあらかじめ定義されています。関数の説明については、[関数](#)を参照してください。

例

- 祖先 `ico-1:executable:2` を持つすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

```
ccm query "has_predecessor('ico-1:executable:2')"
```

```
ccm delete @
```
- タイプ `wdt` のすべてのオブジェクトバージョンを検索して選択します。

```
ccm query "type='wdt'"
```

属性値と関数テスト文節の両方を使用したクエリ

クエリ文節を組み合わせて検索を細かく指定できます。以下にクエリ文節を組み合わせる方法を示します。

```
"not query_clause"  
"query_clause and query_clause"  
"query_clause or query_clause"
```

例

- プロジェクトのメンバーではないすべてのオブジェクトバージョンを検索します。
ccm query "not is_bound()"
- プロジェクトのメンバーで、2001年12月12日より古い修正日付を持つすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

```
ccm query "is_bound() and modify_time < time('Fri Dec 12  
2001')"
```

キーワードを使用したクエリ

有効なキーワード

クエリ式には、日付に関する特定のキーワードを使用できます。下表に有効なキーワードを示します。

キーワード	説明
%today_begin	今日の 00:00:00
%today_end	今日の 23:59:59
%this_week_begin	今週の終わり 23:59:59 注記 1 を参照
%this_week_end	先週の始め 00:00:00 注記 1 を参照
%last_week_begin	先週の始め 00:00:00 注記 1 を参照
%last_week_end	先週の終わり 23:59:59 注記 1 を参照
%this_month_begin	今月の始め 00:00:00
%this_month_end	今月の終わり 23:59:59
%last_month_begin	先月の始め 00:00:00

キーワード	説明
%last_month_end	先月の終わり 23:59:59
%this_year_begin	今年 1 月 1 日 00:00:00
%this_year_end	今年 12 月 31 日 23:59:59
%today_minus<N>days	今日から <N> 日前 00:00:00
%today_plus<N>days	今日から <N> 日後 00:00:00
%today_minus<N>weeks	今日から <N> 週間前 00:00:00
%today_plus<N>weeks	今日から <N> 週間後 00:00:00
%today_minus<N>months	今日から <N> 月前 00:00:00 注記 2 を参照
%today_plus<N>months	今日から <N> 月後 00:00:00 注記 2 を参照
%today_minus<N>years	今日から <N> 年前 00:00:00 注記 3 を参照
%today_plus<N>years	今日から <N> 年後 00:00:00 注記 3 を参照

注記 1: 週の始まりの日は、デフォルトでは日曜日です。モデル属性 `start_day_of_week` を設定してこのデフォルトを変更できます。値 1 は月曜、2 は火曜、以下同様に意味します。

注記 2: 月を足し引きする場合、今日の日付が結果の月の日数より多い場合、有効日はその月の最終日になります。いずれの場合も時刻は 00:00:00 です。たとえば、今日が 2003 年 1 月 30 日の場合、`%today_plus1month` は、2003 年 2 月 28 日の 00:00:00 になります。

注記 3: 年を足し引きする場合、今日の日付が結果の年のその月の日数より多い場合、有効日はその月の最終日になります。たとえば、今日が 2004 年 2 月 29 日の場合、`%today_plus1years` は、2005 年 2 月 28 日の 00:00:00 になります。

例

- 今日作成された `file1.c` という名のファイルをすべて表示します。

```
ccm query "name='file1.c' and create_time > time('%today_begin')"
```

ネストされたクエリ

ネストされたクエリとは、関数テストを使用するタイプで、引数の1つ以上がクエリ式であるようなクエリ式です。

クエリ関数は、通常以下の構文を使用します。

```
query_function('object_name'|
               'project_name'|
               'type_name'|
               'attr_name'|
               'privilege_name'
               [,sort_order])
```

評価結果が適切なタイプのオブジェクトになるクエリ式を使って、オブジェクト名引数、プロジェクト名引数、またはタイプ名引数を置き換え可能です。クエリのネストの深さは無制限です。

例

- editor という名前のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを検索する。
ccm query "is_member_of(cvtype='project' and name='editor')"
- toolkit-1.0と同じメンバーを持つすべてのバージョン1.0プロジェクトを検索する。
ccm query "has_member(is_member_of('1/project/toolkit/1.0'))
and version = '1.0'"
- もっとも速い検索方法を使用して (**none** を指定して) editor というプロジェクト内のすべてのサブプロジェクトを検索する。
ccm query "hierarchy_asm_members(cvtype='project' and name =
'editor', 'none')"
- 祖先としてオブジェクト save.c-1 (タイプ csrc) を持つすべてのオブジェクトを検索する。
ccm query "has_predecessor(cvtype='csrc' and name='save.c' and
version='1')"
- プロジェクト editor-fcheng のディレクトリ sources-1 で使用されているすべてのオブジェクトを検索する。
ccm query "is_child_of('sources-1:dir:1', cvtype='project' and
name='editor' and version='fcheng')"
- タスクのリリース値が 1.0 に設定されているタスクに関連するオブジェクトを含むすべてのプロジェクトを検索する。
ccm query "has_member(is_associated_cv_of(cvtype='task' and
release='1.0'))"

注記：クエリダイアログボックスでクエリ式を作成するとき、外側のクエリ式を二重引用符で囲む必要はありません。

クエリ文節条件

クエリ文節は、個別の条件で構成されます。以下の条件を使用してカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- [関数](#)
- [比較演算子](#)
- [論理演算子](#)
- [定数](#)

関数

以下の関数引数および関数を使用して、関数ベースのカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- [関数引数](#)
- [関数定義](#)

関数引数

関数引数を以下に示します。

attr_name

is_product や *platform* など、属性の名前を指定します。

object_name

オブジェクトバージョンのオブジェクト参照形式を指定します。

name-version:type:instance

order_spec

検索順序を指定します。*order_spec* に値 **depth** を使用すると、縦型検索が行われます。値 **breadth** を使用すると、横型検索が行われます。*order_spec* に値 **none** を使用すると、順序には意味がなくなり、検索は任意の順序で行うことができます (最速の方法が使用されます)。

none | depth | breadth

privilege_name

read (読み出し) や *write* (書き込み) など、権限の名前を指定します。

project_name

プロジェクトのオブジェクトバージョンの名前を指定します。

project_name-version

関数定義

クエリ関数を以下に示します。

baseline ('baseline_spec')

データベースを検索し、指定した情報と一致するベースラインを探します。

build ('build_string')

データベースを検索し、指定したビルド文字列を持つベースラインを探します。このクエリ関数は、"*cvtype='baseline'* と *build='build_string'*" に展開され、これは、指定したビルド文字列を持つすべてのベースラインを返します。

cr ('cr_id')

データベースを検索し、指定した番号を持つ変更依頼を探します。

folder ('folder_id')

データベースを検索し、指定した番号を持つフォルダを探します。

has_attr ('attr_name')

データベースを検索し、*attr_name* 属性 (*is_product* や *platform* など) を持つすべてのオブジェクトバージョンを探します。

has_child ('object_name','project_name')

データベースを検索し、プロジェクト *project_name* にオブジェクト *object_name* をメンバーとして持つすべてのディレクトリ オブジェクトバージョンを探します。

has_member ('object_name')

データベースを検索し、指定したオブジェクトバージョンがメンバーになっているすべてのプロジェクト オブジェクトバージョンを探します。

has_model ('object_name')

データベースを検索し、指定したモデル オブジェクトバージョンをモデルとして使用するすべてのオブジェクトバージョンを探します。

たとえば、Base Model を使用する場合、このクエリは `has_model(base-1:model:base')` となります。

has_no_relationship ()

データベースを検索し、どのオブジェクトともその名前との関係を持たないオブジェクトを探します。

たとえば、`has_no_successor` は、子孫を持たないすべてのオブジェクトを返します。

has_predecessor ('object_name')

データベースを検索し、指定したオブジェクトバージョンが直接祖先となっているすべてのオブジェクトバージョンを探します。

has_priv ('privilege_name')

privilege_name は、*read* (読み出し) や *write* (書き込み) など、権限の名前を指定します。

has_purpose ('purpose_name')

データベースを検索し、指定した目的を持つすべてのプロジェクトを探します。

has_relationship ('object_name')

データベースを検索し、オブジェクト `object_name` との関係のタイプが `relationship` であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。たとえば、Telelogic Synergy では `has_successor` を使用して履歴ダイアログボックスに履歴の関係が表示されます。

`relationship` は、`associated_cv` や `associated_task` など、定められた任意の関係を指します。

`is_relationship('objectspec', 'operator', time)` は、`has_relationship_of('objectspec', 'operator', time)` の逆クエリです。

関係の作成方法については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの [history コマンド](#) を参照してください。

has_type ('type_name')

データベースを検索し、タイプが `type_name` のすべてのオブジェクトバージョンを探します。

たとえば、クエリ `has_type('csrc-1:cvtype:base')` により、`HelloWorld-1:csrc:1` が検索されます。

hierarchy_project_members ('project_name', order_spec)

データベースを検索し、`project_name` で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトを探します。`order_spec` 引数により、`order_spec` で説明したように検索順序を指定します。

クエリにより、オブジェクトバージョン名の整列リストが返されます。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリにより、`project_name` が返されます。

`order_spec` については、[order_spec](#) を参照してください。

is_bound()

データベースを検索し、いずれかのプロジェクトのメンバーであるオブジェクトバージョンを探します。このクエリは、プロジェクト名など他の限定オプションを指定する場合に便利です。

is_child_of('object_name','project_name')

データベースを検索し、プロジェクト `project_name` の `object_name` というディレクトリで使用されているすべてのオブジェクトバージョンを探します。

is_hist_leaf()

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでリーフ ノードであるオブジェクト (子孫を持たないオブジェクト) を探します。

is_hist_root()

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでルートノードであるオブジェクト（祖先を持たないオブジェクト）を探します。

is_member_of ('project_name')

データベースを検索し、指定プロジェクトのメンバであるすべてのオブジェクトバージョンを探します。

is_model_of ('object_name')

データベースを検索して、指定オブジェクトバージョンに関連するモデルオブジェクトバージョンを探します。

is_no_relationship ()

データベースを検索して、どのオブジェクトともその名前の関係のターゲットではないすべてのオブジェクトを探します。

たとえば、is_no_successor は、子孫ではないすべてのオブジェクトを返します。

is_predecessor_of ('object_name')

データベースを検索し、指定オブジェクトバージョンの直接祖先であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。

is_relationship_of ('objectspec', 'operator', time)

関係作成時間が指定演算子 (=、!=、>、<=、>、または >=) および時刻値と一致する指定オブジェクトから指定関係を持つすべてのオブジェクトを検索します。

例：

```
is_associated_cv_of ('task23-1:task:M', '>', time ('May 1, 2002'))
```

このクエリは、タスク M#23 の、2002 年 5 月 1 日以降に関連したすべての関連オブジェクトを探します。

has_relationship('objectspec', 'operator', time) は、is_relationship_of('objectspec', 'operator', time) の逆クエリです。

関係の作成方法については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの [history コマンド](#) を参照してください。

is_type_of ('object_name')

object_name の作成に使用したモデル内で type オブジェクトバージョンを検索します。

recursive_is_member_of ('project_name', order_spec)

データベースを検索し、project_name で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを探します。

クエリにより、オブジェクトバージョン名のリストが返されます。プロジェクトでないものがリストの初めに表示され、階層のメンバーであるプロジェクトが後に続きます。検索順序に関するものは、結果におけるプロジェクトの場所のみです。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリでは、`project_name` は返されません。

`order_spec` については、[order_spec](#) を参照してください。

task ('task_id')

データベースを検索し、指定した番号を持つタスク依頼を探します。

versions_in_a_baseline ('project_spec')

ベースラインからプロジェクトバージョンを検索します。このクエリ関数は、`"cvtype='project' と name='<project_name>' と instance='<project_subsystem>' と not is_no_project_in_baseline()"` に展開され、これはプロジェクトオブジェクトに対して任意のベースライン内にあるすべてのプロジェクトバージョンを返します。

比較演算子

クエリには比較演算子を使用できます。下表に、カスタムクエリ文節の構成に使用できる比較演算子を示します。

演算子	説明
=	属性の値が定数の値と同じである必要があります。
!=	属性の値が定数の値と同じであってはなりません。ただし、属性が必要です。
<	属性の値が定数の値より小さい必要があります。
<=	属性の値が定数の値より小さいか、同じである必要があります。
>	属性の値が定数の値より大きい必要があります。
>=	属性の値が定数の値より大きいか、同じである必要があります。
match	属性の値が定数の値と一致する必要があります。定数にはワイルドカード文字 * および ? を含めることができます。ワイルドカード文字 * は任意の数の任意の文字、ワイルドカード文字 ? は任意の 1 文字の代わりに使用します。match 演算子では、大文字と小文字が区別されます。 ワイルドカードは、属性の初めの 63 文字についてのみ使用できます。
!match	属性の値は定数となり得る値のいずれとも一致してはなりません。
smatch	属性の値は文字列と一致する必要があります。smatch 演算子では、大文字と小文字が区別されます。

論理演算子

カスタム クエリ文節を組み立てるのに使用できる論理演算子は **and**、**or**、**not** です。

- *query_clause1 and query_clause2*

両方の *query_clause* の条件と一致するオブジェクト バージョンのみが選択されます。

- *query_clause1 or query_clause2*

いずれかの *query_clause* の条件と一致するオブジェクト バージョンが選択されます。

- **not** *query_clause*

query_clause の条件と一致しないオブジェクト バージョンのみが選択されます。

not 演算子は **and** 演算子に優先します。**and** 演算子は **or** 演算子に優先します。この優先ルールを無効にするには、クエリにかっこ「**()**」を使用します。

定数

下表に、カスタム クエリ文節に使用できる定数を示します。属性タイプのクラスは指定した定数によって決まります。たとえば、定数が文字列の場合、文字列属性（文字列のサブタイプである属性）のみが一致します。

定数のタイプ	コメント
文字列	一重引用符で囲みます。
整数	範囲は 0 ~ +/-2147483647 です。
ブール値	TRUE または FALSE のいずれかです。
時間	時間値は日付フォーマットにする必要があります。詳細については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの Date Formats を参照してください。

クエリ文節のグループ

かっこ「()」を使用してクエリ文節をグループ化できます。深さに制限はありません。

定義済みクエリの使用

- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [保存クエリの編集](#)

オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ

定義済みバージョン条件の **Prep Versions**、**All Versions**、**Released Versions**、または **Working Versions** を選択します。

ステップ ...

- オブジェクトを右クリックし、**検索メニュー**から適切な定義済みバージョン条件として **Prep** バージョン、**すべてのバージョン**、**リリース バージョン**、または **ワーキングバージョン** を選択します。

クエリ ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドに条件に一致するすべてのオブジェクトが表示されます。

関連トピック

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [保存されたクエリの実行](#)

保存されたクエリの実行

以下の操作は、保存されたクエリを実行する方法を示します。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリを右クリックして**クエリ**を選択します。
クエリ ダイアログボックスが表示されます。検索条件に一致するすべてのオブジェクトが結果フィールドに表示されます。

または

1. メインメニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。
クエリ ダイアログボックスが表示されます。
検索リストボックスには、セッション中に実行した保存クエリと、デフォルトクエリと作成したすべての保存クエリが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 実行する保存クエリをダブルクリックします。
クエリの**定義**タブを表示し、結果フィールドにクエリ結果を含む**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。


関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前でも保存](#)

保存クエリの編集

新規リリースの作業に移行したとき、別のチームメンバーのオブジェクトを検索するとき、異なる完了日のタスク情報を集めるときなど、クエリを編集する必要がある場合があります。

ステップ ...

1. メインメニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。
クエリ ダイアログボックスが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 編集するクエリを右クリックし、**編集**を選択します。
クエリの定義タブにクエリ条件が表示されます。
4. 必要に応じてフィールドを削除、追加、または変更してクエリ条件を編集します。
5.  をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で保存](#)

マージと比較

マージ

- [2つのファイルバージョン](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [次のマージ差分の表示](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [マージ変更のクリア](#)

比較

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)

マージ

Telelogic Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして **SiberMerge** を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイルコードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するとき、**SiberMerge** は2つのファイル **.ccm_merge.enc** と **.ccm_merge.dat** を作成します。

.ccm_merge.enc というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイルコードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

.ccm_merge.dat という名のファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較/マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較/マージオプションを変更できます。

- [2つのファイルバージョン](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [次のマージ差分の表示](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [マージ変更のクリア](#)

2つのファイルバージョン

この手順により、2つのファイルバージョンの情報をマージします。2つのバージョンをマージすると、新しい3つ目のバージョンが作成されます。

ステップ ...

1. ファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. **履歴**ダイアログボックスで、マージする2つのオブジェクトを選択します。1番目のオブジェクトをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら2番目のオブジェクトをクリックします。
2つのオブジェクトが両方とも反転表示されます。
先に選択したファイルが、マージユーティリティで **First File** になり、2番目に選択したファイルが **Second File** になります。
3. **履歴**ダイアログボックスのツールバーの選択オブジェクトの**マージ**をクリックします。
Merge ダイアログボックスが表示されます。
4. すべてのコンフリクトを解決し、必要に応じて結果を修正したら、[マージ済みファイルの保存](#)を行います。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

パラレルファイル/ディレクトリのマージ

この手順により、2つのパラレルファイルまたはパラレルディレクトリをマージします。


ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. マージするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

パラレル ダイアログボックスが表示されます。

複数のパラレルが表示された場合は、**履歴**ダイアログを開いて[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)を行い、どのファイルまたはディレクトリにマージすればよいか判断してください。

2. 選択したバージョンとマージするバージョンを選択し、をクリックします。

マージ後のファイルまたはディレクトリが自動的にカレントタスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [プロパティの表示](#)

マージ結果の編集

この手順により、マージ結果を変更します。

ステップ ...

1. **Merge** ダイアログボックスの結果ペインで、編集するセクションを選択します。
2. **Edit** メニューから **Edit** を選択します。
必要に応じて変更します。セクションが桃色になり、変更が加えられたことが示されます。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

次のマージ差分の表示

この手順により、次の差分を画面上部に表示します。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Next change** をクリックします。


関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)

コンフリクトのないマージの適用

この手順により、左側のペインと右側のペインでコンフリクトのない変更をすべて結果ペインに適用します。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Apply all nonconflicting changes**  をクリックします。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

マージ済みファイルの保存

この手順により、マージ結果をファイルに保存します。

注記：マージ済みファイルはデフォルト ファイル名で保存する必要があります。そうしないと、Telelogic Synergy がそのファイルをデータベースにコピーできません。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Save File** をクリックします。


関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

マージ変更のクリア

この手順により、結果フィールドから変更をクリアし、マージを再度開始します。マージをやり直すと、結果フィールドの前の内容が完全に変更されます。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Back to base blocks**  をクリックします。

関連トピック

- [マージ結果の編集](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

比較

Telelogic Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして **SiberMerge** を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイルコードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するとき、**SiberMerge** は2つのファイル **.ccm_merge.enc** と **.ccm_merge.dat** を作成します。

.ccm_merge.enc というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイルコードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

.ccm_merge.dat という名のファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較/マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較/マージオプションを変更できます。

- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)


2つのファイルの比較

この手順により、**履歴**ダイアログボックスを使用して2つのファイルバージョンの類似点や差分を確認します。

バージョンは書き込み可能でもよく、共通祖先がなくてもかまいません。比較は、2番目に選択したバージョンを基準として行います。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 比較するファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。
履歴ダイアログボックスが表示されます。
2. 比較する1番目のファイルをクリックし、Ctrl キーを押しながら2番目のファイルをクリックします。選択したものが両方ともハイライト表示されます。
3. 履歴ダイアログボックス ツールバーの  をクリックします。
Compare ダイアログボックスに差分が表示されます。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較

この手順により、ファイルまたはディレクトリを直前バージョンと比較します。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 比較するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**直前バージョンの比較**を選択します。

適切な **Compare** ダイアログボックスに選択したオブジェクト間の差分が表示されます。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

パラレルバージョンの表示

パラレル コンフリクトは、1つのファイルまたはディレクトリに複数のパラレルバージョンがある場合に発生します。プロジェクト内でパラレルバージョンを発見した場合、ファイルを比較してマージ、ファイル履歴の表示、およびファイルのプロパティの表示を行うことができます。

実行する操作によって、意図的に**パラレル** ダイアログボックスを開く場合もあれば、Telelogic Synergy がそれを開いてパラレルについて警告することもあります。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- パラレルを表示するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

パラレル ダイアログボックスにパラレルがあるオブジェクトと、パラレルがあるオブジェクトのマージ候補が表示されます。

ダイアログの上部のツールバーを使用して [2つのファイルの比較](#)、[2つのファイルバージョン](#)、[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)、および[プロパティの表示](#)を行います。

または

1. 完了するタスクを右クリックして**完了**を選択します。
タスクがパラレルバージョンを持つオブジェクトを含む場合、**パラレル** ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。
2. [2つのファイルバージョン](#)を行うか、**完了**をクリックしてパラレルを無視し、タスクを完了できます。

または

1. チェックインするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックイン**を選択します。
ファイルまたはディレクトリがパラレルバージョンを含む場合、**パラレル** ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。
2. [2つのファイルバージョン](#)を行うか、**チェックイン**をクリックしてパラレルを無視し、チェックインを続けることができます。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)

-
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
 - [プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

オブジェクトを関連オブジェクトと比較




この手順により、オブジェクトバージョンとその関連オブジェクトとの間の類似点および相違点を調べます。プロジェクトをそのベースラインプロジェクトと、プロジェクトグルーピングをそのベースラインと、およびプロセスルールをそのプロセスと比較できます。

ステップ ...

プロジェクト、プロジェクトグルーピング、またはプロセスルールを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**ベースラインプロジェクトと比較、ベースラインと比較、またはプロセスのプロセスルールと比較**を選択します。

適切な **Compare** ダイアログボックスが表示されます。タブを使用して固有のメンバーおよび共通のメンバーを表示します。

2. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
3. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
4. 最初のバージョンをクリックし、次に **Ctrl** キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから  をクリックして 2 つのオブジェクトバージョンを比較します。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [プロパティの表示](#)




2つの類似オブジェクトの比較

この手順により、2つの同一種類のオブジェクト間の類似点および相違点を調べます。以下の種類のオブジェクトを比較できます。

- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス ルール
- プロジェクト
- プロジェクト グルーピング

ファイルも比較できますが、実際はファイルのプロパティではなくファイルの内容が比較されます。

ステップ ...

1. 必要に応じて[オブジェクトの検索](#)を行います。
2. 適切なオブジェクトを右クリックし、**比較**を選択します。
選択ダイアログボックスが表示されます。
3. 指定したオブジェクトと比較するオブジェクトを選択し、**OK**をクリックします。
適切な **Compare** ダイアログボックスに以下の情報が表示されます。
 - ディレクトリ：固有エントリと共通エントリ
 - フォルダとプロセスルール：プロパティとタスク
 - フォルダ テンプレート：プロパティ
 - プロジェクト：固有メンバーと共通メンバー
 - プロジェクト グルーピング：プロパティ、プロジェクト、およびタスク
4. オブジェクトを選択してをクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
5. オブジェクトを選択してをクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
6. 最初のバージョンをクリックし、次に **Ctrl** キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから をクリックして2つのオブジェクトバージョンを比較します。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)

-
- [プロパティの表示](#)

ビルドの管理

これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせた内容となっています。

- [破損ビルドの修復](#)
- [ビルドの実行](#)
- [再ビルドの実行](#)
- [特定のタスクを使用するビルド](#)
- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [ベースラインなしの再ビルド](#)

ビルド管理ビルド

- [破損ビルドの修復](#)
- [ビルドの実行](#)
- [再ビルドの実行](#)
- [特定のタスクを使用するビルド](#)
- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [ベースラインなしの再ビルド](#)

破損ビルドの修復

プロジェクト グループにタスクを追加するかタスクを削除して、ビルドを破壊している関連オブジェクトの修正が必要になる場合があります。タスクの追加または削除を行った後は、更新を行って変更に関連するすべてのファイルを追加または削除する必要があります。

ステップ ...

1. ビルドの破損の原因となっているオブジェクトを確認します。
2. プロジェクトグループからそのタスクと関連オブジェクトを追加または削除します。

ワーク ペインで、適切なファイルまたはディレクトリを右クリックし、**タスクをプロジェクト グループに追加**または**タスクをプロジェクト グループから削除**を選択します。

プロジェクト グループ選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、タスクを追加するプロジェクト グループを選択します。
3. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します（オプションの左のチェックマークが解除されていることを確認します）。

これにより、他の新規タスクが取得されるのを防ぎます。
4. プロジェクトを更新します（[プロジェクトの更新](#)参照）。
5. 再度プロジェクトをビルドします。
6. 同じプロジェクト グループ（[ステップ 3](#)）を右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択してこのオプションを有効にします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [プロジェクトグループからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

ビルドの実行

注記：これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせた内容となっています。

ユーザーのアプリケーションは、プロジェクト階層に分かれた多数のプロジェクトを含んでいます。ここでは、**統合テスト**プロジェクトと呼ばれるビルド管理プロジェクト階層を作成します。これらのプロジェクトは、**統合テスト**プロジェクト グルーピングの一部となり、開発者がチェックインした最新の完了タスクを収集、ビルド、およびテストできます。このプロジェクト階層のメンバーは、特定リリース用のすべての完了タスクに対するクエリ操作を行うことによって取り込まれます。

開発者が完了したタスクをまとめてビルドアプリケーションが正常に稼動することを確認したい、またはテスト用の共通エリアを開発者に提供したい、などの理由から、この**統合テスト** プロジェクトは頻繁にビルドされるでしょう。数多くの開発チームがこういった**統合テスト**プロジェクトをビルドしています。チームのニーズに合ったビルドのスケジュールを立てることも当然といえるでしょう。

ステップ ...

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切な**統合テスト**プロジェクト グルーピングを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

更新操作は、すべての完了タスクをクエリし、**統合テスト**プロジェクト グルーピング内でそれらを置き換え、プロジェクトのメンバーシップを更新します。

2. メンバーシップ コンフリクトを特定して解決します (詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください)。
3. 製品をビルドします。

ビルドが無事終了したら、アプリケーションの開始、頻繁に使用する操作の実行、アプリケーションの終了など、一連の基本的な操作を行ってビルドの整合性を確認し、ビルドの結果をテストする必要があります。

注記：ビルドが失敗した場合は、[再ビルドの実行](#)を参照してください。

4. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。

さらにテストを行うためチームのテストベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

注記：チームの要件が変わり、ビルドにタスクを追加するかビルドからタスクを除外する必要がある場合は、[再ビルドの実行](#)を参照してください。

再ビルドの実行

注記：これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせた内容となっています。

ビルドを行うということは、**統合テスト**プロジェクトグループのすべての完了タスクを集めて統合テスト用にビルドすることです。再ビルドを行うということは、**統合テスト**プロジェクトグループに手動でタスクを追加するか除外し、変更だけを再ビルドすることです。

破損ビルドの再ビルドについて

以下の理由でチームのアプリケーションを再ビルドする必要があるかもしれません。

- ビルドの要件が変わり、新しい機能を追加する必要がある。
- ビルドの要件が変わり、新しい機能を削除する必要がある。
- テスト チームがテスト時に問題を発見し、新しいビルドを必要とする。
- ビルドに必要なタスクが含まれていない（たとえば、時間までに完了しなかった、またはリリースが正しく設定されていないなど）。
- タスクに関連するオブジェクトがビルドを破壊しているため除去する必要がある。
- 開発者が、誤動作するタスクを修正するタスクを完了したので、その修正タスクをビルドに追加する必要がある。

ビルドが破損している理由に拠らず、通常は再ビルドを行って修正します。再ビルドは、プロセス内の任意のタイミングで起きる可能性があります。また、ビルドの破損は、任意のマイルストーンで発生し得ます。要件の変更がいつでも起こりうるのと同じです。**統合テスト**プロジェクトを頻繁にビルド（通常は**システム テスト**プロジェクトほどは安定していませんので）していれば、同様に再ビルドも頻繁に行われ得ます。再ビルドの作業フローは以下のとおりです。

- **統合テスト**プロジェクト グループのベースラインとタスクが更新時に変更されないようにする。
- **統合テスト**プロジェクト グループのタスクを手動で追加、削除、または除外する。
1 つまたは複数のタスクの追加、追加と削除、除外、またはその任意の組み合わせを行うことがあります。これをすばやく行うこともあれば、数日かけて行うこともあります。
- **統合テスト**プロジェクト グループを更新する。
- メンバーシップコンフリクトを特定して解決する。

自分でコンフリクトを解決するかチームメンバーがコンフリクトを解決します。すばやく解決することも、数日かけて解決することもあります。

- 製品を再ビルドします。
1つか2つのタスクを追加または削除する小さな製品をビルドする場合、ビルドがすぐ終わり、テストが直ちに成功する可能性があります。しかし、もし製品をビルドできない場合には、規模にかかわらず[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照して作業をしてください。
- ベースラインを作成する。
- **統合テストプロジェクト** グルーピングのベースラインとタスクが更新時に変更されるようにする。

以下の手順では、[ビルドにタスクを追加](#)するか[ビルドからタスクを削除](#)してから再ビルドする方法を示します。

ビルドにタスクを追加

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 適切な**統合テストプロジェクト**グルーピングを右クリックして**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **自動更新**チェックボックスを選択解除し、**適用**をクリックします。
これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。
3. **タスク**タブをクリックします。
このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グルーピングへ追加**オプションを使用してプロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクが表示されます。
タスクをプロジェクト グルーピングに追加する各種の方法の詳細については、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)の「タスクの追加」を参照してください。
4. **タスクの追加**ボタンをクリックします。
タスク選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。
5. タスクを選択して **OK** をクリックします。
1つまたは複数のタスクを選択できます。

6. **統合テストプロジェクトグループ**を右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

更新操作は、新しいタスクから変更を取り込みます。

7. **メンバーシップコンフリクト**を特定して解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクトグループ内のメンバーシップコンフリクトの解決](#)を参照してください）。

タスクを追加すると、依存関係が破損した結果、コンフリクトが発生することがあります。たとえば、追加したタスクに依存するタスクで追加していないものがある場合、これらの依存関係を調べ、コンフリクトを解決する最善の方法を決定する必要があります。

8. 製品を再ビルドします。

再ビルドが無事終了したら、アプリケーションの開始、頻繁に使用する操作の実行、アプリケーションの終了など、ビルドの整合性を確認する一連の基本的な操作を行ってビルドの結果をテストする必要があります。

9. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。

さらにテストを行うためチームのテストベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

10. **統合テストプロジェクトグループ**の**プロパティ**ダイアログボックスで**プロパティ**タブをクリックし、**自動更新**チェックボックスを選択します。

これでベースラインとタスクが次の更新操作時に変更できるようになります。

ビルドからタスクを削除

ステップ ...

1. 適切な**統合テストプロジェクトグループ**を右クリックして**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **自動更新** チェックボックスを選択解除します。

これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。

3. [タスクの削除](#)を行います。

4. あるいは、[タスクの除外](#)を行うこともできます。

タスクを除外することにより、それが**統合テストプロジェクト** グルーピングおよびチームメンバーのプロジェクトが更新されると、それらと関連付けられるのを防ぎます。これはビルドを破損するオブジェクトを**統合テストプロジェクト**および開発者のプロジェクトに入れないために必要です。

チームメンバーが不良タスクを得るのを防ぐためにタスクを除外している場合、[タスクを指定して別タスクを修正](#)する必要もあるかもしれません。この操作は、問題タスクとそれを修正するタスクの間関係を作ります（この関係は、コンフリクト検出を使用する場合に便利です）。

5. **統合テストプロジェクト** グルーピングを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

機能を削除する場合、更新操作は除外したタスクからオブジェクトを除外します。修正タスクを作成した場合、更新操作は、修正タスクが完了していればそこから変更を取り込みます。新規修復タスクのみ使用する場合、それを追加できます（[ビルドにタスクを追加](#)を参照してください）。

6. コンフリクトを特定し、解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください）。

タスクを削除すると、依存関係の破損からコンフリクトが発生することがあります。たとえば、削除したタスクに依存する他のタスクがある場合、これらの依存関係を調べ、コンフリクトを解決する方法を決定する必要があります。

7. 製品を再ビルドします。
8. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。

さらにテストを行うためチームのテストベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

9. **統合テストプロジェクト** グルーピングの**プロパティ** ダイアログボックスで**プロパティ** タブをクリックし、**自動更新**チェックボックスを選択します。

これでベースラインとタスクが次の更新操作時に変更できるようになります。

注記：問題タスクによる変更を含むベースラインを作成して公開すると、そのタスクを除外してもビルドになんら効果はありません。問題タスクに起因する変更をバックアウトするために、修正タスクと新しいバージョンを作成する必要があります。その後で、別のベースラインを作成、公開して開発者が変更を利用できるようにします。

バックアウトまたは修正を簡単に行うことができない場合は、ベースラインに削除のマークを付けてピックアップされる（そして前のベースラインが使われる）のを防ぎます。

特定のタスクを使用するビルド

注記：これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせて内容となっています。

チームがほとんどのアプリケーションをコーディングし終わり、コードの凍結を完了した後に、選択的ビルドを行うことができます。これらのビルドは、すべての完了タスクを含むわけではありません。特定のタスクのみを含めることができます。

大小のチームにおける作業フロー

チームが小規模で、アプリケーションが大きなアプリケーションの一部である場合、ユーザー自身がビルドに含めるタスクを決定する唯一の人かもしれません。作業フローは以下のようになります。

- コードの凍結は終了し、開発者とテスターがアプリケーションを使用しています。彼らは、開発者 Joe のエリアで修正する必要がある問題を見つけます。
- Joe がタスクを作成し、自分自身に割り当てます。彼は修正を作成し、タスクを完了します。
- Joe はビルド マネージャの Bob にこのタスクを含める必要があることとその理由を通知します。Bob は、変更を許可し、手動でそのタスクを次のスケジュール ビルドに追加します。

チームが大規模で、アプリケーションが納品物であるような場合は、あなたは変更管理委員会の一人として動き、要件を満足する高品質製品を納品するために必要なタスクを決定しなければならないでしょう。その場合のフローは以下のようになります。

- コードの凍結は終了し、SQE がアプリケーションをテストしています。いくつかの問題がみつき、Telelogic Change を使用してその問題を提出します。
- プログラム マネージャは、各変更管理委員会メンバーに SQE からの変更依頼のリストを渡し、チームはどれを修正するかを決定します。
- ビルド マネージャは修正するタスクをチーム メンバーに割り当て、彼らに次のビルド日付を通知します。
- 開発者が割り当てられたタスクを完了すると、彼らはビルド マネージャに通知し、ビルド マネージャは手動で完了したタスクをビルドに追加します。

この時点で、ビルド マネージャは次の方法でタスクをビルドに追加できます。

ステップ ...

1. 適切な**統合テストプロジェクト グループ**を右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択し、チェックマークが解除されていることを確認します。
これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。
2. 承認されたタスクを以下の方法でプロジェクト グループに追加します。
 - 承認されたタスクをプロジェクトグループにドラッグアンドドロップする。
 - 承認されたタスクを右クリックする。説明については、[プロジェクトグループにタスクを追加](#)を参照してください。
 - **プロジェクトグループプロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブで**手動で追加されたタスク**テーブルを使用する。手順については、[再ビルドの実行](#)の「変更の追加」を参照してください。
3. **統合テストプロジェクト グループ**を右クリックし、更新をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。
更新操作は、新しいタスクから変更を取り込みます。
4. コンフリクトを特定し、解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクトグループ内のメンバーシップコンフリクトの解決](#)を参照してください）。
5. 製品を再ビルドします。
6. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。
ビルドの品質に満足したら、テスト ベースラインを作成できます。このテスト ベースラインは、SQE が使用できるように、また開発者がビルドの変更を確認できるように、保存したビルドのコピーであり、チーム全員が使用できるように公開、リリースしたものではありません。
統合テストプロジェクト グループに対して**自動更新**はまだ無効になっています。再びすべての完了タスクを受け入れる準備ができればそれを有効にできます。

ビルドのスナップショットの作成

注記：これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせた内容となっています。

無事**統合テスト**プロジェクトをビルドしたら、テスターがそのテストを開始し、開発者がテストされるビルドに含まれるものを確認できるようビルドのスナップショットを作ることができます。このスナップショットは、テスト ベースラインです。つまり、まだ全員に公開する準備はできていません。

SQE がビルドをテストし、それがテストに合格したら開発者が使用するためにベースラインを公開できます。

以下にテストベースラインを作成する手順を示します。

- ビルド マネージャが**統合テスト**プロジェクトを作成し、ビルドが成功する。
- ビルド マネージャがテスト ベースラインを作成する。
- ベースライン テストが開始し、開発者はビルドに含まれるものを確認することができる。
- ビルドがテストに合格し、ビルド マネージャが開発者に公開する準備ができる。

ステップ ...

1. 適切な**統合テスト**プロジェクトグルーピングを右クリックして**ベースラインの作成**を選択します。

ベースラインの作成ダイアログボックスが表示されます。

注記：ベースラインを作成するとき、ベースラインに含めるプロジェクトのリストを選択します。参照用に完全なセットができるよう、必ずベースラインに関連する**すべて**のプロジェクトを含めてください。

2. 必要な場合、**名前**、**詳細**、および**ビルド** プロパティを変更します。

- **名前**

ベースラインの名前を指定します。これは、このデータベース内でベースラインを一意に識別します。デフォルトで、Telelogic Synergy は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20040309 は、2004 年 3 月 9 日を意味します。ただし、これは変更できます。/ ¥ ¡ " : ? * [] @ - # は、禁止されており、名前には使用できません。

注記：複数のデータベースにベースラインを作成し、Telelogic Change を使用してこれらのビルドのレポートを作成する場合、各データベースで同じベースライン名を使用します。これにより、複数のデータベースで関連するベースラインを持つビルド レポートを作成できます。

- **詳細**

作成するベースラインの説明を入力します。

- **ビルド**

ビルド プロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **OK** をクリックします。

4. ビルドがテストに合格したら [開発者にテストベースラインを公開](#) できます。

上記のステップは、単にビルド マネージャがテスト ベースラインを作成して使用する方法を説明しています。ベースライン管理ではさらにいろいろなことを考慮する必要があります。たとえば、ベースライン内のプロジェクトの変更、作成時のベースラインの公開、作成時のベースラインおよびオブジェクトのリリースなど。ベースライン作成の詳細については、[ベースラインの作成](#) を参照してください。

ベースラインなしの再ビルド

注記：これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせて内容となっています。

ベースラインを作成するとき、公開したベースラインを通してチームに追加、削除、または除外したタスクを通知します。たとえば、タスクを除外した場合、チーム メンバーはプロジェクトを更新して新しいベースラインを得るとタスクが除外されたことを知ります。

アプリケーションがビルドできなかった、またはテストに失敗したなどの理由でベースラインが作れなかった場合、別の方法でチームに通知する必要があります。

このケースでは、ビルドの方法論が以前のケースとは異なります。ビルドが作成できないので、ベースライン作成前に、開発者にテストを実施させて問題を修復させる必要があります。以下にこれを行う方法を説明します。

ステップ ...

開発者に、ビルドが破損していて彼らが完了タスクをテストし修正する必要があることを通知します。

1. 開発者は、**統合テスト**プロジェクト グループングを右クリックし、**すべてのタスクのコピー**を選択する必要があります。

これにより開発者は最新のタスクを得ることができます。

2. 開発者は、タスクをその適切なプロジェクト グループングに貼り付けます。

プロジェクトは、**統合テスト**プロジェクト グループングに含まれる同じタスクを多数含む可能性があります。Telelogic Synergy は開発者のプロジェクト グループングにないタスクのみを貼り付けます。

3. 開発者はタスクをテストおよび修正し、タスクが完了したら通知します。
4. 完了したタスクを手動で**統合テスト**プロジェクト グループングに追加します。[\(ビルドにタスクを追加\)](#)を参照してください。

5. 製品を再ビルドします。

これでビルドの問題が解決する可能性もあります。しかし、ビルドの成功までにテストと修正を繰り返す場合もあります。

6. ビルドが正しく作成され品質基準をパスしたら、[ビルドのスナップショットの作成](#)を実施します。

インターフェイスのカスタマイズ

エクスプローラの使用

- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- 保存されたクエリのエクスプローラへの追加
- 保存されたクエリの検索メニューへの追加
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする
- 保存クエリの削除

インターフェイスの外観の変更

- カラム表題部にプロパティを追加
- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 色の変更
- フォントタイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更
- プロジェクトを閉じる
- リリース エクスプローラの表示
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- カラム表題部からプロパティを削除
- ワーク ペインからのタブの削除
- プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

エクスプローラの使用

- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)
- [保存クエリの削除](#)

1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる

この手順により、1つまたはすべてのドッキングされているエクスプローラを閉じます。

ステップ ...

- ドッキングされている1つのエクスプローラを閉じるには、**プッシュピン** アイコンをクリックします。
- ドッキングされているすべてのエクスプローラを閉じるには、エクスプローラ ツールバー上部の **X** アイコンをクリックします。

関連トピック

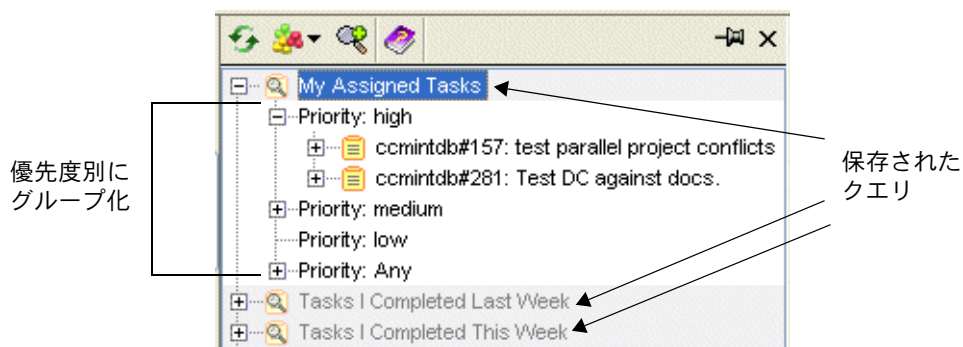
- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

エクスプローラのカスタマイズ

各エクスプローラは、プロジェクト、タスク、変更依頼など特定のオブジェクトを表示します。エクスプローラに表示されるオブジェクトは、オブジェクトの種類を返すクエリで定義します。たとえば、**タスクエクスプローラ**は、**自分に割り当てられたタスク**を表示します。

クエリを追加、削除、または移動してエクスプローラに表示できるオブジェクトを変更できます。**Telelogic Synergy** は、一般的に必要なオブジェクトの定義済みクエリを提供しています。エクスプローラに任意の定義済みクエリを追加するか、独自のものを作成できます。

保存クエリ内では、オブジェクトをプロパティ別にグループ化できます。たとえば、**タスクエクスプローラ**では、下図のようにタスクを優先度別にグループ化できます。



以下のヘルプ トピックは、エクスプローラをカスタマイズする方法を示します。

- [クエリのカスタマイズ](#)
クエリ文節要素（関数、比較演算子、論理演算子など）を使用してカスタムクエリを作成する方法を示します。
- [クエリの定義](#)
データベース内のオブジェクトを探す方法を示します。
- [オブジェクトの検索](#)
検索メニューを使用してデータベース内のオブジェクトを検索する方法を示します。
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
データベース内で定義済みバージョン基準と一致するプロジェクトを検索する方法を示します。
- [保存されたクエリの実行](#)
独自に保存されたクエリまたはシステム クエリを実行する方法を示します。

- [クエリの保存](#)

カスタムクエリを作成した後、クエリを保存する方法を示します。

上記のステップを完了してクエリを保存したら、適切なエクスプローラから[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うことができます。

関連トピック

- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

1つ以上のエクスプローラのドッキング

エクスプローラを使った作業には2通りのやり方があります。エクスプローラを開始すると、スライドペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクトタブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

プッシュピンアイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングすると、**ワーク** ペインとメインウィンドウ スペースを共有するドッキングされたペインが表示されます。エクスプローラをドッキングすると、他のエクスプローラやプロジェクトを表示しても表示されたままになります。これは、常に複数のエクスプローラを使用して作業する場合に便利です。

複数のエクスプローラをドッキングすることも可能です。ドッキングすると、エクスプローラは**エクスプローラ** ツールバーと**ワーク**ペインの間に縦に重ねて表示されます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なエクスプローラボタンをクリックして表示します。
エクスプローラが、**エクスプローラ**ツールバーの右で**ワーク** ペインの一部の上にスライドします。
2. **エクスプローラ** ツールバーで、**プッシュピン**アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングします。
3. 別のエクスプローラでステップ1を繰り返し、**プッシュピン**アイコンをクリックしてドッキングします。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)


エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化

この手順により、エクスプローラ内でクエリ結果の表示構成を変更します。

各プロジェクト、タスク、変更依頼には一連のプロパティがあります。グループ化機能を使用し、プロパティの重要度に従って、クエリ結果を再構成してデータベース内に表示させることができます。たとえば、20 個のタスクが割り当てられている場合、重要度が高いものをもっとも見やすく表示するようにタスクをグループ化できます。他の例としては、リリースの進捗状況がわかるように最近作られたベースラインをリリース別に集めることができます。変更依頼については、特定のクライアントが提出したすべての CR を追跡している場合、クエリ結果を提出者別にグループ化してすばやく検索できます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なクエリを右クリックしてから、**グループ化**をクリックし、クエリ結果をグループ化するオプションを選択します。

あるいは、適切なエクスプローラで、内容を再構成したいクエリをクリックします。 をクリックしてオプションを選択します。

変更を行うと、選択したクエリの結果の構成が変わります。

2. 他のクエリまたは別のエクスプローラのクエリに同じ変更を行うには、上記ステップ 1 を繰り返します。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)


保存されたクエリのエクスプローラへの追加

この操作を使用して、クエリをエクスプローラに追加します。クエリを追加すると、簡単にクエリ結果を表示し、クエリ結果の関連オブジェクトも表示して、結果をカテゴリ別にグループ化できます。保存するクエリの例としては、チームメートのプロジェクトとタスク、すべてのリリース済みベースライン、あるいは自分のチームの過去1ヶ月の完了タスクなどがあります。

プロジェクトエクスプローラにプロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースラインのクエリを追加でき、**タスク** エクスプローラにタスクのクエリを追加でき、**変更依頼** エクスプローラには変更依頼のクエリを追加（Telelogic Change がインストールされている場合）でき、**リリース** エクスプローラにプロセス、プロセスルール、リリース、フォルダ テンプレートのクエリを追加できます。エクスプローラには、オブジェクトのクエリを追加できないことに注意してください。

以下の手順は、エクスプローラにクエリを追加する方法を示します。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、 をクリックします。

クエリの選択 ダイアログボックスが表示されます。

2. エクスプローラに追加するクエリを選択して **OK** をクリックします。

追加されたクエリが適切なクエリの下に表示されます。

作成 をクリックして **クエリの作成** ダイアログボックスを開いてクエリを作成することもできます。

あるいは、**クエリ** ダイアログボックスを開き、**クエリの定義** タブをクリックして **クエリの定義** を行うこともできます。**クエリの保存** を行ったら、**エクスプローラに追加** を右クリックして選択してエクスプローラに追加することができます。

関連トピック

- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)

保存されたクエリの検索メニューへの追加

この操作により、**検索メニュー**に保存クエリを追加します。**検索メニュー**に保存クエリを追加することで、チームメイトのプロジェクトやタスク、リリース済みの全ベースライン、その他、ほとんどのものに簡単にたどり着くためのショートカットを作成することができます

この方法は、エクスプローラを表示せずに作業を行っているときに、ベースライン、ディレクトリ、ファイル、プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセスルールおよびリリースを簡単に検索したい場合に便利です。

検索メニュー内のクエリは、自分の条件を使用してオブジェクトを検索できるよう選択ダイアログボックスにも用意されています。

ステップ ...

1. **表示メニュー**から**クエリ**ダイアログボックスを開きます。
2. **クエリ**ダイアログボックスで、**保存クエリ**タブをクリックし、**検索メニュー**に追加できるすべてのクエリを表示します。
3. 適切なクエリを右クリックして**検索メニュー**に**追加**を選択します。

追加したクエリは、メインメニューの**検索メニュー**の最下部に表示されます。**検索メニュー**からクエリを選択すると、**クエリ**ダイアログボックス内にクエリの結果が表示されます。

検索メニューには一度に複数の保存クエリを追加できます。すでに**検索メニュー**にある保存クエリを右クリックすると、**検索メニュー**から削除操作を行うことができます。

関連トピック

- [クエリの保存](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [保存クエリを表示](#)

エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

この操作を使用して、エクスプローラに表示されているクエリ結果を最新の情報に更新します。

一部のクエリ (Telelogic Synergy が提供するクエリ) は、クエリに関連する操作を行うと自動的に最新の情報に更新されます。たとえば、クエリを作成して自分に割り当てると、**自分に割り当てられたタスク保存クエリ**が自動的に最新の情報に更新されます。自分で作成したクエリは、自動的に最新の情報に更新されません。この場合、以下の操作を行って手動でクエリ結果を最新の情報に更新する必要があります。

ステップ ...

1. エクスプローラで、最新の情報に更新したいクエリを検索します。
2. クエリを右クリックして**結果の再表示**を選択します。
クエリが実行され、適切な変更が行われます。

関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)

保存クエリの削除

以下の手順は、保存クエリを切り取る、または削除する方法です。たとえば、エクスプローラから **My 1.0 Patch Projects** を取り除くような場合です。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで保存クエリ（例、**My 1.0 Patch Projects**）を右クリックし、**切り取り**を選択します。

保存クエリはまだ残っており、**クエリの選択**ダイアログボックス内から再び表示および使用できます（詳細については、[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)を参照してください）。

保存クエリが不要になった場合は、**削除**を選択します。**削除**は**タスクエクスプローラ**のコンテキストメニューからは使用できません。

デフォルト保存クエリ（**My Project Groupings** または **Build Management Project Groupings** など）は、**切り取る**ことはできますが、**削除**することはできません。

関連トピック

- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [保存クエリを表示](#)

インターフェイスの外観の変更

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)
- [プロジェクトを閉じる](#)
- [リリース エクスプローラの表示](#)
- [カラム表題部からプロパティを削除](#)
- [ワーク ペインからのタブの削除](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示](#)

ダイアログボックスとペインのカスタマイズ

表を含むすべてのダイアログボックスでカラムを追加、整理、削除して表内の情報を表示する位置をカスタマイズできます。

ステップ ...

1. [カラム表題部にプロパティを追加](#)します。
2. [カラム表題部からプロパティを削除](#)します。
3. カラムの順序を変更するには、カラム表題部を表題部バー内の目的の場所までドラッグします。
4. カラム幅を変更するには、カラム表題部の境界部分をドラッグして目的の幅にします。

テキストがカラム内に収まりきらない場合は、末尾が省略記号になります。

Telelogic Synergy では、カラム表題部の設定はすべてセッション終了時に保存されます。設定を変更すると、新しい設定がデフォルトのカラム設定になります。

色の変更

Telelogic Synergy では、自分のスタイルに合わせて色の設定を変更できます。

設定された色は、すべてのエクスペローラ、ダイアログボックス、およびペインに適用されます。

表示タブの色ペインを使用して以下を行います。

- [選択色の変更](#)
- [加線色の変更](#)
- [文字色の変更](#)
- [プロジェクトアイコン色の変更](#)

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**色**をクリックします。
3. 色を変更します。
 - a. **選択色の変更**

中央のペインで**選択**をクリックします。

前景色と背景色を変更できます。大きい色ボックスは、現在選択されている色設定を示します。**プレビュー**に選択色の表示例が示されます。
 - b. **加線色の変更**

中央のペインで**行**をクリックします。

奇数行と偶数行の背景色をそれぞれ変更できます。大きい色ボックスは、加線の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
 - c. **文字色の変更**

中央のペインで**オブジェクト テキスト**をクリックします。

修正可能テキストと修正不能テキストの両方について、それぞれ色を変更できます。大きい色ボックスは、文字の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
 - d. **プロジェクトアイコン色の変更**

中央のペインで**プロジェクトアイコン**をクリックします。

目的別にプロジェクトアイコンに表示される色を変更できます。3 番目のペインの右のボックスは、各種目的の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。

-
4. カラーパレットで色を右クリックしてデフォルトの色を変更します。
- さらに、カラーパレット内でグレーのボックスの1つを右クリックし、**色の設定**ダイアログボックスで以下のいずれかを行って色を設定することもできます。
- * **サンプル**タブで標準色を選択する。
 - * **HSB** タブで色の色相、彩度、明度を設定してカスタム色を作成する。
 - * **RGB** タブで赤、緑、青を「混ぜて」カスタム色を作成する。
- 色をカスタム色に変更して、前景と背景、加線、文字、またはアイコンに適用すると、その色が保存され、このセッションおよび他のセッションで使用されます。
5. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワークペインの外観の変更](#)

フォント タイプとサイズの変更

すべてのエクスペーラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるフォントのタイプとサイズを変えることができます。さらに、Telelogic Synergy が表示するすべてのメッセージのフォントのタイプとサイズを設定することもできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**フォント**をクリックします。
3. **通常**または**メッセージ** フォント タイプを変更します。

通常または**メッセージ**のいずれか適切な方をクリックします。

フォントタイプを論理フォントまたは物理フォントに変更できます。論理フォントは、Java Runtime Environment に存在することが保証されるフォントです。これらは**すべてを表示**チェックボックスにチェックマークがついていないときに表示されます。物理フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。これらは、**すべてを表示**チェックボックスが選択されているときに表示されます。

デフォルトで、**すべてを表示**チェックボックスは選択されていません。

4. フォント サイズを変更します。
フォント サイズ ボックスで、上矢印をクリックするとフォント サイズが大きくなり、下矢印をクリックすると小さくなります。
5. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または**OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

ワーク ペインの外観の変更

この手順により、ワーク ペインの外観を変更します。

ステップ ...


1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**ワーク ペイン**をクリックします。
3. 加線オプションを変更します。
デフォルトでこのオプションは選択されており、**ワーク ペイン**の加線は、表示されているプロジェクトの色と一致します。
このオプションを選択解除すると、加線は他のダイアログボックスで表示される加線の色と同じになります。
4. **ワーク ペイン**に表示されるタブの最大数を変更します。
デフォルトでは、**ワーク ペイン**には最大 10 個のタブがあります。上矢印を使用してタブの数を増やすか下矢印を使用してタブの数を減らすことができます。
5. タブタイトルに表示される文字の最大数を変更します。
デフォルトで、タブタイトルには最大 20 文字表示できます。上矢印を使用して文字の数を増やすか下矢印を使用して文字の数を減らすことができます。
6. **エクスプローラ** ペインで選択したとき**ワーク ペイン**に表示されるオブジェクトの種類を変更します。
デフォルトでは、**エクスプローラ**ペインで選択したオブジェクトが**ワーク ペイン**に表示されます。この設定を変更して**ワーク ペイン**にプロジェクトのみまたはプロジェクトとタスクのみを表示できます。
7. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
8. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

プロジェクトを閉じる

ステップ ...

- **ワーク** ペインで、閉じたいプロジェクトタブを右クリックし、**閉じる**を選択します。
プロジェクトを閉じると**ワーク** ペインのタブが削除されます。
プロジェクトを閉じた場合、**プロジェクトの表示**を使用するか、**ワーク** ペインのツールバーでをクリックし、プロジェクト名を入力して**OK**をクリックして、再び開くことができます。
名前を覚えていない場合は、まずクエリで検索して、その後で[ワーク ペインでプロパティを表示](#)する手順を実行します。

関連トピック

- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

カラム表題部にプロパティを追加

この機能により、コンテキストメニューから手軽に表題部にプロパティを追加できます。たとえば、ワークペインテーブルで **change_request** 値を表示するとします。プロパティの追加ダイアログボックスに「**change_request**」と入力すると、テーブルのカラムに Telelogic Change の変更依頼の値が表示されます。

ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキストメニューを表示し、**プロパティの追加**を選択します。

プロパティの追加ダイアログボックスが表示されます。

2. 追加するプロパティの名前を入力し、**OK** をクリックします。

カスタム属性を追加する場合、正確な名前を入力してください。名前は大文字と小文字が区別されます。デフォルト属性名は、データベース内のものと一致する必要があります。

関連トピック

- [カラム表題部からプロパティを削除](#)

カラム表題部からプロパティを削除

この機能は、表題部のコンテキストメニューに追加したプロパティを削除するのに便利です。

たとえば、ワーク ペインテーブルで **status** 値を表示するとします。プロパティの追加ダイアログボックスに **state** を入力しますが、新規テーブル カラムには値が何も表示されません。間違った名前を入力したことに気づき、プロパティの追加ダイアログボックスを使用して正しい名前を追加し、プロパティの削除ダイアログボックスを使用して誤った名前を削除します。するとテーブル カラムには、**status** の値が表示されます。

ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキストメニューを開き、**プロパティの削除**を選択します。

プロパティの削除ダイアログボックスに追加したプロパティの名前が表示されます。

2. 削除するプロパティを選択して **OK** をクリックします。

関連トピック

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)

ワーク ペインからのタブの削除

ワーク ペインで複数のオブジェクトを開くと、オブジェクトごとにタブがあるため、結果的に多くのタブが表示されます。このため、現在作業しているプロジェクトやタスクを見つけにくくなることがあります。以下の手順により、タブを削除できます。

ステップ ...

- **ワーク ペインで、削除するタブを右クリックし、閉じる**を選択します。
さらに、以下のオプションを選択できます。
 - **他を閉じる**
このオプションは、ワーク ペインから、現在使用しているタブ以外のタブをすべて削除するときに使用します。
 - **すべてを閉じる**
このオプションは、ワーク ペインからすべてのタブを削除するときに使用します。

関連トピック

- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

セッション中に選択を最新の状態に更新

この機能を使用して、プロパティ、クエリ、タスクの作成ダイアログボックス内の選択物に対してセッション開始後の変更を反映します。

たとえば、セッション実行時にデータベースに新しいユーザが追加された場合、**選択の再表示**操作を行うまでタスクを作成してそのユーザに割り当てることができません（ユーザ一名が**タスクの作成**ダイアログボックスの**担当者**リストに入らないため）。セッション中に変化する可能性のあるその他の選択としては、プロファイル、優先度、リリースなどがあります。

ステップ ...

- **表示メニュー**をクリックし、**タスクの再表示**を選択します。
プロパティ、クエリ、および**タスクの作成**ダイアログボックス内の選択は、ダイアログボックスが開いていても閉じていても最新の情報に更新されます。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)

リリース エクスプローラの表示

デフォルトでは、リリース エクスプローラは開発者には表示されません。ただし、頻繁にプロセス関連オブジェクト（プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート）を参照する場合は、次の手順でリリース エクスプローラを表示できます。このオプションでは、プロセス関連オブジェクトのメニュー項目も設定できます。

開発者兼ビルド マネージャには、デフォルトでリリース エクスプローラが表示されます。

注記： この変更を行った後は、Telelogic Synergy を再起動する必要があります。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**リリース エクスプローラと関連オブジェクトを表示**オプションを選択します。
デフォルトではこのオプションは選択されておらず、開発者の**エクスプローラ ツールバー**に**リリース エクスプローラ**は表示されません。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォント タイプとサイズの変更](#)

プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

このオプションを使用して、プロパティダイアログボックスに以下のオブジェクトのセキュリティタブとグループセキュリティ オプションを表示します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- タスク
- プロジェクト
- リリース

このオプションは、グループセキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

ビルド マネージャは、Telelogic Synergy Classic CLI を使用してデータベースのグループを設定できます。詳細については、[Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)の「groups コマンド」を参照してください。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**オブジェクトのセキュリティプロパティを表示**オプションを選択します。

デフォルトでは、このオプションは選択されておらず、グループセキュリティの設定に関わらず**プロパティ ダイアログボックス**に**セキュリティ** タブは表示されません。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

[Telelogic Synergy の開始](#)

- [コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始](#)
- [Telelogic Change の起動](#)
- [コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

[新規ユーザー向けの説明](#)

- [Telelogic Synergy ツアーの実施](#)
- [Telelogic Synergy の開始](#)
- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [テキストの回復](#)
- [キーボードショートカットの使用](#)
- [マウスショートカットの使用](#)
- [ヘルプの参照](#)

[ファイルの移動](#)

- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

[ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示](#)

- [ショートカットメニューの表示](#)
- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [メッセージの表示](#)
- [複数のファイルの選択](#)
- [ファイル/プロジェクト/タブの表示](#)

[問題解決](#)

- [パターンマッチングと Telelogic Synergy](#)

- [プロジェクト グループ内のすべてのタスクを別のプロジェクト グループへコピー](#)
- [テキストの回復](#)
- [オブジェクトの再表示](#)

Telelogic Synergy の開始

- [コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始](#)
- [Telelogic Change の起動](#)
- [コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始

cmsynergy コマンド

表記

```
cmsynergy [-user | -u user_name] [-password | -pw password]
           [-host | -h engine_host] [-database | -d database_path]
```

説明と使用

cmsynergy コマンドを使用してセッションを開始します。

このコマンドにより、指定した設定で**ログイン** ダイアログボックスが表示されます。

オプションと引数

`-user | -u user_name`

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

セッションのユーザー名を指定します。

`-pw | -password password`

セッションのユーザーパスワードを指定します。

`-h | -host engine_host`

セッションのエンジンホストを指定します。

`-d | -database database_path`

Telelogic Synergy データベースがセッションに接続するためのデータベースのパスを指定します。

例

- すべての値を使用して Telelogic Synergy を開始します。

```
> cmsynergy -u linda -pw jupiter -h milkyway -d
¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
```
- 3つの値 (`user_name`、`engine_host`、`database_path`) を使用して、Telelogic Synergy を開始します。

```
> cmsynergy -u linda -h milkyway -d ¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
```

Telelogic Change の起動

Telelogic Synergy での作業中に、Telelogic Change を起動する必要があることがあります。これは、以下の方法で行います。

ステップ ...

- ツール メイン メニューで **Telelogic Change の起動** をクリックします。
ブラウザが開き、その中で Telelogic Change が開始します。Telelogic Change のヘルプを表示したい場合は、インターフェイス上部のメイン メニューで **ヘルプ** をクリックします。

関連トピック

- [変更依頼の解決](#)
- [プロパティの表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用

このオプションは、UNIX ユーザーにのみ適用されます。

user.allow.link.based.workareas キーの値を **false** に設定すると、Telelogic Synergy をコピーベース モードで開始することになります。これで、ワークエリアはデフォルトでコピーベースになります。ワークエリアがコピーベースの場合、Telelogic Synergy はユーザーのファイル システムにプロジェクトのコピーを入れます（これは、Telelogic Synergy がユーザーのファイル システムにデータベース内のファイルのリンクを入れるリンクベースのワークエリアとは異なります）。\$HOME/.cmm.user.properties ファイルに以下の形式で設定を入力します。

user.allow.link.based.workareas=false

false 以外の値を設定すると、Telelogic Synergy をリンクベース モードで使用するようになります。この値では、大文字と小文字が区別されます。

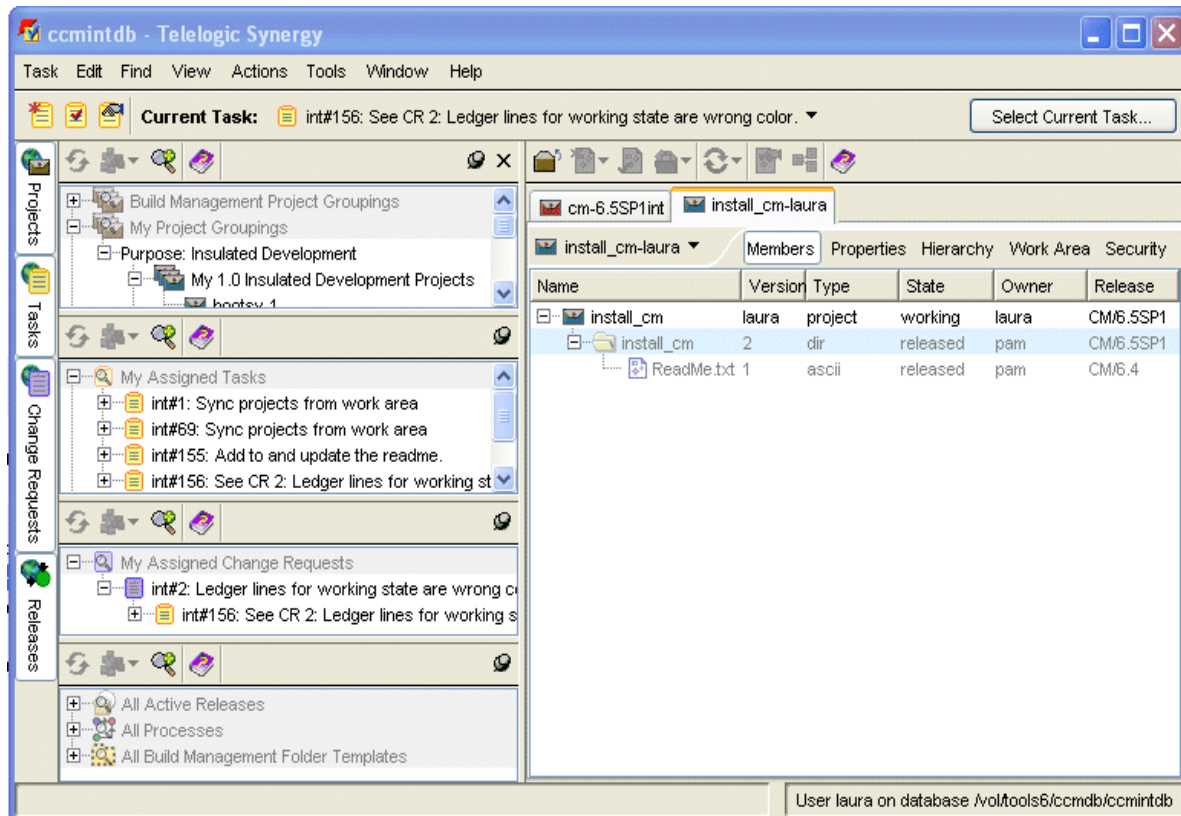
新規ユーザー向けの説明

- [Telelogic Synergy ツアーの実施](#)
- [Telelogic Synergy の開始](#)
- [キーボードショートカットの使用](#)
- [マウスショートカットの使用](#)
- [ヘルプの参照](#)

Telelogic Synergy ツアーの実施

このインターフェイスは、ソフトウェア製品の変更を管理できるよう設計されています。インターフェイスと用法モデルにより、作業しやすくなっています。

この対話型グラフィックを拡大表示するには、以下のサムネイルをクリックします。拡大したグラフィック内エリアの説明を読むには、カーソルをそのエリアに置きます。ツールチップが表示され、情報を読むことができます。



このセクションでは、以下の機能を説明します。

- [エクスプローラ ツールバー](#)
- [ワーク ペイン](#)
- [加線の色](#)
- [自動タブ管理](#)
- [ドラッグ アンド ドロップのサポート](#)
- [一般的なショートカット](#)

エクスプローラ ツールバー

エクスプローラ ツールバーからは、プロジェクト、タスク、リリース、および**変更依頼** エクスプローラを表示できます。

- **プロジェクト エクスプローラ**

プロジェクト エクスプローラでは頻繁に参照するプロジェクトを検索できます。デフォルトで、エクスプローラには過去 30 日以内に作成された個人用プロジェクト、現在のビルド管理プロジェクト、およびベースラインが表示されます。興味のある他のプロジェクトを追加するクエリを定義して、それらを簡単に参照できるようにすることができます。

- **タスク エクスプローラ**

タスクエクスプローラでは、頻繁に必要なタスクを検索できます。デフォルトで、タスク エクスプローラには割り当てられているタスクおよび最近完了したタスクが表示されます。他のチームメンバーに割り当てられたタスクなど、興味ある他のタスクを追加するクエリを定義できます。

さらに、[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)を行うと**タスク** エクスプローラにフォルダを返す保存クエリが表示されるようになります。

- **リリース エクスプローラ**

リリース エクスプローラでは、リリースのプロパティまたはリリースが使用しているプロセス ルールのプロパティを簡単に表示できます。リリースエクスプローラでリリース、プロセスルール、またはフォルダテンプレートを選択すると、**ワーク ペイン** にそのプロパティが表示され、必要に応じてオブジェクトを変更できます。

- **変更依頼エクスプローラ**

変更依頼エクスプローラでは、頻繁に使用する変更依頼を簡単に表示できます。デフォルトで、エクスプローラには割り当てられている変更依頼が表示されます。他のチームメンバーに割り当てられた変更依頼など、興味ある他の変更依頼を追加するクエリを定義できます。**変更依頼**エクスプローラは、Telelogic Change を使用する場合にのみ使用できることに注意してください。

ワーク ペイン

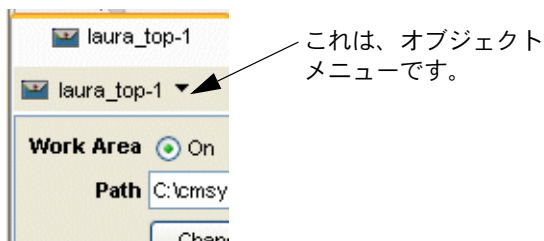
ワーク ペインは以下の方法で選択したプロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセスルール、またはリリースの各種の情報を表示します。

- いずれかのエクスプローラから適切なオブジェクトを選択する。
- **ワーク ペイン**でオブジェクトを表示していた場合、オブジェクトの名前を表示しているタブをクリックする。

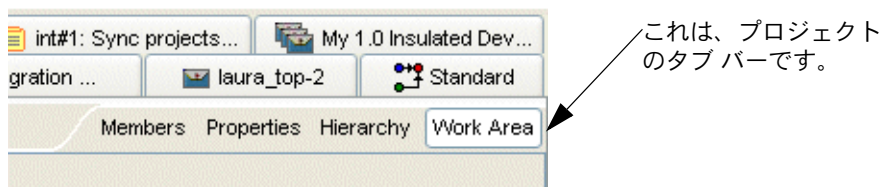
- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択する。
- **プロジェクトの表示**ダイアログボックスに、**ワーク** ペインで開くプロジェクトのプロジェクト名を入力します。

オブジェクトの各種の情報を表示するほか、**ワーク** ペインには情報を整理してアクセスする方法が2つあります。

- 以下に示すオブジェクト メニューを使用して、**ワーク** ペインに表示されているオブジェクトに対する操作を行うことができます。これは、オブジェクトの他の面を表示しており (プロジェクトの**ワークエリア**タブで作業を行っている場合など)、プロジェクトのメンバーが表示されていないとき特に役立ちます。**メンバー**タブに戻ることなく、プロジェクトのコピーや履歴の表示などを行うことができます。



- 以下に示すタブバーでは、**ワーク** ペインで表示できるオブジェクトの各種情報を整理します。整理するだけでなく、各タブの情報により、特定のダイアログボックスを明示的に開かずに各種のオブジェクトの操作を行うことができます。たとえば、プロジェクトのワークエリア パスを変更する場合、**ワークエリア** タブをクリックして直ちに変更を行うことができます。



ワーク ペイン内で表示できるオブジェクト情報については、[ワーク ペインでプロパティを表示](#)を参照してください。

加線の色

ワーク ペイン (およびテーブルを示すすべてのダイアログボックス) では、1行おきの加線が色でハイライト表示されます。デフォルトの色は、表示しているプロジェク

トの目的によって決まります。たとえば、**Insulated Development（個別開発）** 目的のプロジェクトを表示すると、1行おきの加線が青でハイライト表示されます。

色により、どのようなプロジェクトに参加しているかが分かります。これは、開発者およびビルド マネージャとして **Telelogic Synergy** で作業をする場合に便利です。開発用に使用するプロジェクトを表示すると、1行おきの加線が青になります。ビルド管理に使用するプロジェクトを表示すると、1行おきの加線は赤か緑（以下の表を参照）で表示されます。これは、プロジェクトの目的に応じて自動的に行われるので、ユーザーは何も変更する必要はありません。ただし、デフォルトの行の色を変更したい場合は、[色の変更](#)を参照してください。

下表に、デフォルトで表示されるテーブルの加線の色を示します。

目的	プロジェクト状態	色
Insulated Development（個別開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Collaborative Development（共同開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Custom Development（カスタム開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Shared Development（共有開発）	<i>shared</i> （共有）	青
Visible Development（可視開発）	<i>visible</i> （可視）	青
Integration Testing（統合テスト）	<i>prep</i> （準備）	赤
Master Integration Testing（マスタ統合テスト）	<i>prep</i> （準備）	赤
System Testing（システムテスト）	<i>prep</i> （準備）	緑
静的プロジェクト	静的プロジェクト	グレー

プロジェクトタブのアイコンは、行と同じ色です。**プロジェクト** エクスプローラに表示されるアイコンについても同じです。

自動タブ管理

デフォルトでは、**ワーク** ペインには最大 10 個のタブがあります。

ドラッグ アンド ドロップのサポート

ドラッグ アンド ドロップのサポートは[ドラッグ アンド ドロップの使用](#)を参照してください。

Telelogic Synergy の開始

Telelogic Synergy には、使用プロセスと手順があります。これを作業フローと呼びます。作業フローにより、最大限の効率で作業を行うことができます。作業フローの基本ステップの概要を説明します。

実行するすべての操作についてはヘルプで説明しています。以下のリンクをクリックすると、該当のヘルプを参照できます。

ステップ ...

Telelogic Synergy セッションは、**ログイン** ダイアログボックスでインターフェイスを起動後に開始されます。**ログイン** ダイアログボックスでは、適切なデータベースに正しくログインするために必要なすべての情報を入力します。

1. カレント タスクを、自分に割り当てられている [タスク](#) に設定します。

タスクを検索して選択するか、作成する必要があります。詳細については、[タスクの作成](#)、[クエリの定義](#)、および[タスクの選択](#)を参照してください。

2. 自分で使用するプロジェクトを作成するか、コピーします。

詳細については、[プロジェクトの作成](#)または[ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)を参照してください。すでにプロジェクトがある場合は、このステップは省略できます。

3. 自分に割り当てられた [カレント タスク](#) の作業を行います。すなわち、必要に応じてカレント タスクを変更します。

このために Telelogic Synergy 以外の開発ツールを使用することもできます。開発作業には以下のような操作が必要になることが考えられます。

- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ディレクトリへの追加](#)

4. [プロジェクトの更新](#)を行います。
5. 変更のテストとデバッグを行います。
6. [カレント タスクの完了](#)を行います。

関連トピック

- [用語解説](#)

キーボードショートカットの使用

ショートカットキーを使用して多くの操作を行うことができます。ショートカットキーの使い方については、以下のいずれかをクリックしてください。

- [Compare ダイアログボックス](#)
- [Merge ダイアログボックス](#)
- [一般的なショートカット](#)
- [履歴の表示](#)
- [プロジェクトの表示](#)

Telelogic Synergy では、いくつかのキーボードショートカットにより操作がしやすくなっています。以下のショートカットキーを使用すると、頻繁に実行するタスクをすばやく行うことができます。

Compare ダイアログボックス

操作	ショートカットキー
2つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl + 下矢印キー
2つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl + 上矢印キー

Merge ダイアログボックス

操作	ショートカットキー
所定の差分について元のマージ結果に戻す。	Ctrl + B キー
マージ結果を編集する。	Ctrl + E キー
左側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl + L キー
右側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl + R キー
2つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl + 下矢印キー
2つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl + 上矢印キー

一般的なショートカット

任意のダイアログボックス、ペイン、またはエクスプローラで、以下のショートカットを使用できます。

操作	ショートカットキー
選択したテキストまたはオブジェクトをクリップボードにコピーする。	Ctrl + C キー
選択したオブジェクトをカレントタスクに追加する。	Ctrl + D キー
選択したオブジェクトをカレントタスクから削除する。	Ctrl + M キー
新しいタスクを作成する。	Ctrl + N キー
選択したオブジェクトをチェックアウトする。	Ctrl + O キー
割り当てられた変更依頼を検索する。	Ctrl + R キー
割り当てられたタスクを検索する。	Ctrl + T キー
選択したエリアにクリップボードのテキストまたはオブジェクトを貼り付ける。	Ctrl + V キー
選択したテキストまたはオブジェクトを切り取る。	Ctrl + X キー
選択したテキストまたはオブジェクトを削除する。	Delete キー
ヘルプを表示する。	F1 キー
選択したオブジェクトの名前を変更する。	F2 キー
選択したオブジェクトまたは選択したプロジェクトのメンバーのデータを最新の情報に更新する。	F9 キー
終了する。	Alt + F4 キー
コンフリクト ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + C キー
メッセージ ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + M キー
クエリ ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + Q キー

履歴の表示

操作	ショートカットキー
履歴の表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl + H キー

プロジェクトの表示

操作	ショートカットキー
プロジェクトの表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl + P キー

マウス ショートカットの使用

以下のマウスボタンを使用してオブジェクトを操作します。

- 左のマウスボタンをクリック
オブジェクトが選択されます。メニューの選択肢は、選択したオブジェクトのセットについて動的に有効または無効になります。
- Shift キーを押しながら左のマウスボタンをクリック
選択した 2 オブジェクト間のすべてのオブジェクトが選択されるか、選択セットの範囲が変更されます。
- Ctrl キーを押しながら左のマウスボタンをクリック
選択する各オブジェクトをクリックしていくと、連続していない複数のオブジェクトが選択されます。または、他のオブジェクトの選択状態が変更されることなくオブジェクトが選択解除されます。
- 左のマウスボタンをダブルクリック
オブジェクトのデフォルト動作が起動します。通常、この動作によりオブジェクトが編集状態になります。ディレクトリの場合は**ワーク** ペインでディレクトリが開きます。
さらに、この操作は、**プロパティ** ダイアログボックスを開き、選択したオブジェクトのプロパティを表示します。
- 右のマウスボタンをクリック
選択したオブジェクトの**ショートカット** メニューが表示されます。

ヘルプの参照

Telelogic Synergy の手順や背景情報を調べるためにヘルプを使用します。ヘルプは HTML 形式で、Windows の Internet Explorer または UNIX の Mozilla を使用して、サポートされている任意のプラットフォームで使用できます。ヘルプでは、フレームを使用して、システム内の情報をすばやく継続的に検索できます。

さらに、Telelogic Synergy ヘルプは、現在行っている作業に基いたヘルプ情報を表示します。開発作業を行っているユーザーには、開発者に適した情報を表示し、ビルド管理作業を行っているユーザーには開発者とビルド マネージャの両方に適した情報を表示します。情報の種類は自動的に表示されます。どちらの情報を表示するかは実行中の作業に基づいて自動的に決定されますので、特別な操作は必要ありません。

ヘルプの設定を格納し、検索するためには、ブラウザの設定で Cookie を使用できるようにしておく必要があります。Cookie が無効になっていると、ヘルプ システムの起動時に、最後に選択したタブ ページを開いたり、Telelogic Synergy ウェブサイトにリンクしたりすることができません。

ファイルの移動

- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)
- [ショートカットメニューの表示](#)

オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け

以下の操作によって、オブジェクト、タスク、および変更依頼間の関係を簡単に変更できます。以下の方法でオブジェクト、タスク、および変更依頼のコピーおよび貼り付けを行うことができます。

- ファイルをコピーしてディレクトリまたはタスクに貼り付ける。
- ディレクトリをコピーしてプロジェクトまたはタスク内の異なるディレクトリに貼り付ける。
- プロジェクトをコピーしてディレクトリ、タスク、またはプロジェクト グループに貼り付ける。
- タスクをコピーしてディレクトリ、プロジェクト グループまたは変更依頼に貼り付ける。
- 変更依頼をコピーしてタスクに貼り付ける。

コピーと貼り付けは選択可能な任意のオブジェクト、タスク、または変更依頼に対して行うことができます。

ステップ ...

1. オブジェクト、タスク、または変更依頼が選択可能な任意のペインまたはダイアログボックスで適切なオブジェクトを右クリックして、**コピー**を選択します。
2. 適切なオブジェクト、タスク、または変更依頼を右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ドラッグ アンド ドロップの使用](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)

切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動

- 選択したオブジェクトをペインから削除し、クリップボードに置くには、**切り取り**コマンドを使用します。
- オブジェクトをコピーしてクリップボードに置くには、**コピー**コマンドを使用します。
- コピーしたオブジェクトを同じペインの別の場所または別のペインに貼り付けるには、**貼り付け**コマンドを使用します。

切り取ったオブジェクトやコピーしたオブジェクトは、別のオブジェクトを切り取るかコピーするまでクリップボードに残ります。

- オブジェクトが表示される場所ではどこでもコピー操作を行うことができます。
- 切り取りと貼り付けの操作は、多くのペインやダイアログボックスで行うことができます。

切り取りと貼り付けコマンドを使用して関係を削除したり追加できます。

以下を実行するには、切り取り操作を行います。

- タスクからオブジェクトを削除する。
- タスクから変更依頼を削除する。
- ディレクトリからファイルやプロジェクトを削除する。

以下を実行するには、貼り付け操作を行います。

- タスクにオブジェクトを追加する。
- タスクに変更依頼を追加する。
- ディレクトリにファイルやプロジェクトを追加する。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

ドラッグ アンド ドロップの使用

Telelogic Synergy のいろいろな場所でドラッグ アンド ドロップ操作を行うことができます。この中には、[履歴](#)や[プロパティ](#)などモードに依存しないダイアログボックス内のテーブル、エクスプローラ、[ワーク ペイン](#)のオブジェクトなどがあります。

Telelogic Synergy で選択できるものは何でもドラッグ アンド ドロップ操作に使用できます。ドラッグ アンド ドロップ操作は、それがコピーなのか移動なのかを示します。コピーを行うドラッグ アンド ドロップ操作は、[切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)で説明している通りに動作します。

たとえば、ドラッグ アンド ドロップを使用して次の操作を行うことができます。

- タスクにオブジェクトを関連付ける。
- 変更依頼にタスクを関連付ける。
- タスクをプロジェクト グルーピングに追加する。
- ファイルをディレクトリへ移動または追加する。
- ディレクトリ内の別バージョンのオブジェクトを使用する。
- プロジェクトをグループ化するためにベースラインを設定する。
- ベースラインにプロジェクトを追加する。
- タスクを別のタスクに関連付けて修正する。
- プロセス ルールにフォルダ テンプレートを追加する。
- リリースに[汎用プロセスルール](#)を追加する。
- オブジェクトのプロパティを変更する。
- 保存されたクエリをエクスプローラで並び替える。

関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示


- [ショートカットメニューの表示](#)
- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [メッセージの表示](#)
- [複数のファイルの選択](#)
- [ファイル/プロジェクト/タブの表示](#)

ショートカット メニューの表示

コマンドを実行するのに、メインメニューを使用せず、オブジェクトを右クリックしてショートカットメニューを表示できます。ショートカットメニューには、特定のペインまたはダイアログで、該当のオブジェクトについて使用できるコマンドが表示されます。

ワーク ペインでプロジェクトを開く

この機能は、ワーク ペイン内に表示したいプロジェクトの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。プロジェクトの表示ダイアログボックスを使用してプロジェクトを開くと最初にクエリする必要がなくなり、クエリ結果を使用してワーク ペインにプロジェクトを表示できます。

1. ワーク ペイン ツールバーで、 をクリックします。

プロジェクトの表示ダイアログボックスが表示されます。

2. プロジェクト名 (例、**calculator**)、バージョンの区切り文字で区切ったプロジェクト名とバージョン (例、**calculator-int_3.0**)、または、プロジェクト名、バージョン、タイプ、およびインスタンスの4つの部分からなる4部名称 (例、**calculator-int_3.0:project:ccmintdb#1**) を入力します。

完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符 (?) とアスタリスク (*) 文字を使用できます。4部名称のプロパティが不明な場合、不明な部分はアスタリスクで置き換えてもプロジェクト結果が返ります。

入力した名前が複数のプロジェクトに対応する場合、プロジェクトの選択ダイアログボックスが表示されます。適切なプロジェクトを選択して **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクトを閉じる](#)
- [ワーク ペインからのタブの削除](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

ワーク ペインでプロパティを表示

選択したオブジェクトのプロパティと関連付けを表示できます。ワーク ペインのタブにプロパティと関連付けが表示されます。

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択します。

オブジェクトは、以下のデフォルト設定でワーク ペインに表示されます。

- プロジェクトの情報は、**メンバー** タブに表示される。
- プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピング内のプロジェクトが**プロパティ** タブに表示される。
- ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、リリース、またはタスクの情報は**プロパティ** タブに表示される。

デフォルト情報のほか、以下のような情報も表示できます。

- プロジェクトについては、プロジェクトのプロパティ、履歴、ワークエリア設定
- プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピングに関連付けられたベースラインプロジェクトとタスク
- ベースラインについては、説明と、ベースラインに関連付けられたプロジェクト、タスク、および変更依頼
- フォルダについては、フォルダに関連付けられたタスク
- フォルダ テンプレートについては、フォルダ テンプレートが作成したフォルダのプロパティ
- プロセスについては、プロセスを構成するプロセス ルール
- プロセス ルールについては、指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのベースラインプロジェクトおよび指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのタスク
- リリースについては、リリースが使用するプロセス ルール
- タスクについては、詳細、およびタスクに関連付けられたオブジェクト、修正タスク、変更依頼

関連トピック

- [ワーク ペインからのタブの削除](#)

メッセージの表示

Telelogic Synergy メインウィンドウの下部にステータス行があります。このエリアには、表示されているものの現在の状態に関する情報が表示されます。ほとんどのダイアログボックスにも、下部にステータス行があります。

ステータス行に表示されるほとんどのメッセージは、**メッセージ** ダイアログボックスに書き込まれます。

複数のファイルの選択

チェックイン、チェックアウト、複数ファイルのコピーなど、特定の操作のために複数のファイルを選択できます。

連続した複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、**Shift** キーを押しながらセットの最後のファイルをクリックします。

連続していない複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら追加ファイルを選択します。

ファイル／プロジェクト／タブの表示

プロジェクト エクスプローラでプロジェクトをクリックすると、**ワーク** ペインにプロジェクトの内容が表示されます。プロジェクトをクリックすると、それぞれに対応する新しいタブが**ワーク** ペインに作成されます。すでに開いたことのあるプロジェクトを表示するには、対応するタブをクリックします。

さらに、**タスク** エクスプローラでタスクとフォルダ、**変更依頼** エクスプローラで変更依頼 (Telelogic Change がインストールされている場合)、**リリース** エクスプローラでプロセス、プロセスルール、リリース、フォルダ テンプレートを表示できます。

問題解決

- [パターンマッチングと Telelogic Synergy](#)
- [プロジェクトグルーピング内のすべてのタスクを別のプロジェクトグルーピングへコピー](#)
- [テキストの回復](#)
- [オブジェクトの再表示](#)

パターン マッチングと Telelogic Synergy

2 つの Telelogic Synergy ダイアログ、**ベースライン比較**および**メンバーシップ コンフリクト**では、パターンマッチングを使用してフィールドをフィルタリングできます。たとえば、**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスでは、Java [正規表現](#)を使用できます。**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスの **Filter** フィールドに次のいずれかのフィルタ値を入力できます。

- **正規表現**

^ で始まる任意の文字列は、通常の Java 正規表現規則を使用した正規表現とみなされます。以下にいくつかの例を示します。

^\$ は、空白と一致します。なぜなら ^ は行の開始と一致することを意味し、\$ は行の終わりとも一致することを意味するからです。

^Extra.* は、Extra で始まる任意の行と一致します。これは、行のどの場所にあっても一致する正確なサブストリング Extra とは異なります。

^.*Extra.* は、行の任意の場所の Extra と一致します。

^T.k は、T で始まり、2 つの文字、および k が続く文字列と一致します（ピリオドは任意の 1 文字と一致します）。

Java 正規表現については、[Javadoc for Pattern ウェブサイト](#)および [Sun Developer Network site](#) を参照してください。

- **正確なサブストリング**

先頭に ^ がつかないすべての文字列は正確なサブストリングとみなされます。たとえば、as と入力すると、これは **Bad Task**、**Extra Task**、**Missing Task** と一致します。文字列 a.b を入力すると、行の任意の場所の **aaa.b**、**a.bbbb**、**a a a a.b b b b** と一致します。サブストリングは常に文字どおり解釈されます。

関連トピック

- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

プロジェクト グループ内のすべてのタスクを別のプロジェクト グループへコピー

注記：この手順では、ベースラインを作成する別の方法を示します。[ベースラインの作成](#)は、[ベースラインの作成](#)ダイアログボックスから行ってください。

[プロジェクト グループ](#)に関連するすべての[タスク](#)をクリップボードに入れて別のプロジェクト グループに貼り付けるときにこの操作を使用します。

これは、ビルド マネージャがシステム テスト プロジェクト グループに統合テスト プロジェクト グループのタスクを入れるときに便利です。この操作をビルド マネージャが行うのは、アプリケーションが特定の品質水準を満たす段階にきたので、専用のインストールを作成するようなときです。

ビルド マネージャは以下のフローに従ってタスクをコピーできます。

- コピー先となるシステムテストプロジェクトグループを右クリックし、**すべてのタスクの削除**操作を選択してプロジェクトグループを空にします。
- コピー元である統合テストプロジェクトグループを右クリックし、**すべてのタスクのコピー**操作を選択します。
- ターゲット システム テスト プロジェクト グループを右クリックし、**貼り付け**操作を使用してすべてのタスクを統合テスト プロジェクト グループからシステムテストプロジェクト グループへコピーします。

ステップ ...

1. **プロジェクト** エクスプローラで、プロジェクト グループを右クリックして**すべてのタスクのコピー**を選択します。
タスクがクリップボードにコピーされます。
2. **プロジェクト** エクスプローラで、適切なプロジェクトグループを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトグループからタスクを削除](#)

テキストの回復

フィールドの元のテキストを回復するには、**Esc** キーを使用します。たとえば、**プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブの**バージョン** フィールドのテキストを誤って変更したとします。キーボードの **Esc** キーを押すと、**バージョン** フィールドに入力されていた元のテキストが表示されます。

オブジェクトの再表示

この操作を使用して、選択したオブジェクトのデータまたは選択したディレクトリのメンバーを最新の状態に更新します。

ステップ ...

- 選択可能な任意のオブジェクト（ファイルまたはディレクトリ）、プロジェクト、またはプロジェクトグルーピングを右クリックし、**オブジェクトの再表示**を選択します。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [テキストの回復](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)

ビルド管理の実行

[フォルダ テンプレートの使用](#)

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [フォルダテンプレートのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)

[プロセスの作業](#)

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)
- [プロセスのプロパティの修正](#)

[プロセス ルールの作業](#)

- [プロセス ルールの設定](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)

[目的の作業](#)

- [目的の作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (目的)
- [目的の編集](#)

[リリースの作業](#)

- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (リリース)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [リリースのアクティブ化と非アクティブ化](#)

フォルダ テンプレートの使用

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [フォルダテンプレートのコピー](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)

フォルダ テンプレートの作成

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

テンプレートは Telelogic Synergy に保管され、再利用が可能です。また、コピーして新しいテンプレートの基準として使用することもできます ([フォルダテンプレートのコピー](#))。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

ステップ ...

1. タスクメニューで**新規**をポイントし、**フォルダ テンプレート**を選択します。

フォルダ テンプレートの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. 名前フィールドにフォルダ テンプレートの名前を入力します。

このフィールドは必須で、固有の名前でなければなりません。引用符は使用できません。

3. フォルダの説明を入力します。

説明には、フォルダ テンプレートからフォルダを作成するときにキーワード展開後に使用される文字列を指定します。説明を指定しないと、デフォルト値としてフォルダ テンプレート名が使用されます。

フォルダ テンプレートには、パイプ文字 (|) 以外の任意の文字を使用して任意の説明を付けることができます。フォルダ テンプレートの説明には、3 つのキーワード **%owner**、**%release**、**%database** を任意に組み合わせて入れることができます。フォルダ テンプレートの説明には、必ずしもキーワードを入れる必要はありません。フォルダ テンプレートの説明にキーワードを入れなかった場合、このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダにはすべて同じ説明が付けられます。

たとえば、説明が **Completed Tasks for Release %release** であるフォルダ テンプレートを作成すると、キーワード **%release** はこのフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用しているプロジェクトのリリース値に展開されます。キーワード **%release** は、このフォルダ テンプレートからフォルダを作成するとき展開されます。たとえば、リリース 2.0 のプロジェクトが説明 **Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、このテンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されるフォルダの説明は、**Completed Tasks for Release 2.0** となります。

%owner キーワードは、更新プロパティにフォルダ テンプレートから作成されるフォルダが含まれるプロジェクトの所有者に展開されます。たとえば、**jsmith** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが、説明 **%owner's Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、説明が

jsmith's Completed Tasks for Release 3.1 であるフォルダが、このフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

%database キーワードは、作成されるフォルダを使用しているプロジェクトが作成されたデータベースの DCM データベース ID に展開されます。たとえば、**jsmith** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが **Bristol** というデータベース内にあり、説明が **%owner's Completed Tasks for Release %release from Database %database** であるフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用していると、説明が **jsmith's Completed Tasks for Release 3.1 from Database Bristol** であるフォルダがこのフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

4. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダを変更できるユーザーを指定します。選択肢には**ビルド マネージャ**、**全員**、および**所有者**があります。デフォルトは**ビルド マネージャ**です。
5. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダがクエリを使用するかどうか、あるいは適切なボタンをクリックして手動でタスクを追加するかどうかを指定します。
6. フォルダ テンプレートがクエリを使用する場合、フォルダ テンプレート クエリを入力します。

既存のクエリを使用する場合、**クエリのコピー**をクリックして使用する既存のクエリを選択します。

あるいは、クエリ ビルダを使用してクエリを設定できます。クエリにキーワード (値なし) が含まれる場合、**クエリアイコン**をクリックすると、**テスト値を選択**ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスを使用してキーワードの値を入力し、**OK** をクリックしてテスト クエリを実行して入力した値が適切か確認します。適切ならクエリ キーワードをこの値に変えることができます。

カスタム クエリの作成に関する詳細な情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。

7. **OK** をクリックしてフォルダ テンプレートを作成します。

関連トピック

- プロセス ルールにフォルダを追加 (「プロセスルールのプロパティの修正」の[ステップ 4](#)で説明)
- [フォルダテンプレートのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)

フォルダテンプレートのコピー

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

フォルダ テンプレートをコピーすることにより、必要に応じて属性を変更して新しいテンプレートの基準に使用できます。プロセスルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

ステップ ...

フォルダ テンプレートを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするフォルダ テンプレートを右クリックし、**フォルダ テンプレートのコピー**を選択します。

フォルダ テンプレートのコピー ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前**フィールドにフォルダ テンプレートの名前を入力します。

このフィールドは必須で、固有の名前でなければなりません。引用符は使用できません。

3. フォルダの説明を入力します。

説明には、フォルダ テンプレートからフォルダを作成するときにキーワード展開後に使用される文字列を指定します。説明を指定しないと、デフォルト値としてフォルダ テンプレート名が使用されます。

フォルダ テンプレートには、パイプ文字 (|) 以外の任意の文字を使用して任意の説明を付けることができます。フォルダ テンプレートの説明には、3 つのキーワード **%owner**、**%release**、**%database** を任意に組み合わせて入れることができます。フォルダ テンプレートの説明には、必ずしもキーワードを入れる必要はありません。フォルダ テンプレートの説明にキーワードを入れなかった場合、このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダにはすべて同じ説明が付けられます。

たとえば、説明が **Completed Tasks for Release %release** であるフォルダ テンプレートを作成すると、キーワード **%release** はこのフォルダ テンプレートを含むプロセスルールを使用しているプロジェクトのリリース値に展開されます。キーワード **%release** は、このフォルダ テンプレートからフォルダを作成するとき展開されます。たとえば、リリース 2.0 のプロジェクトが説明 **Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセスルールを使用すると、このテンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されるフォルダの説明は、**Completed Tasks for Release 2.0** となります。

%owner キーワードは、更新プロパティにフォルダ テンプレートから作成されるフォルダが含まれるプロジェクトの所有者に展開されます。たとえば、**jsmith** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが、説明 **%owner's Completed Tasks for Release**

%release を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、説明が **jsmith's Completed Tasks for Release 3.1** であるフォルダが、このフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

%database キーワードは、作成されるフォルダを使用しているプロジェクトが作成されたデータベースの DCM データベース ID に展開されます。たとえば、**jsmith** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが **Bristol** というデータベース内にあり、説明が **%owner's Completed Tasks for Release %release from Database %database** であるフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用していると、説明が **jsmith's Completed Tasks for Release 3.1 from Database Bristol** であるフォルダがこのフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

4. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダを変更できるユーザーを指定します。選択肢には**ビルド マネージャ**、**全員**、および**所有者**があります。デフォルトは、コピー元のフォルダ テンプレートの設定です。
5. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダがクエリを使用するかどうか、あるいは適切なボタンをクリックして手動でタスクを追加するかどうかを指定します。
6. フォルダがクエリを使用する場合、フォルダに入れるタスクを集めるクエリを入力します。

既存のクエリを使用する場合、**クエリのコピー**をクリックして使用する既存のクエリを選択します。

あるいは、クエリ ビルダを使用してクエリを設定できます。クエリにキーワード（値なし）が含まれる場合、**クエリアイコン**をクリックすると、**テスト値を選択**ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスを使用してキーワードの値を入力し、**OK** をクリックしてテスト クエリを実行して入力した値が適切か確認します。適切ならクエリ キーワードをこの値に変えることができます。

カスタム クエリの作成に関する詳細な情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。

7. **OK** をクリックしてフォルダ テンプレートをコピーします。

関連トピック

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)

プロセスの作業

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)

プロセスの作成

プロセスは、プロセスルールを連動するようデザインされた名前付きのグループにまとめます。

プロセスは、リリースに使用できるプロセスルールを指定するために使用します。以下に組み込まれている[プロセス](#)、[プロセスルール](#)、および[目的](#)を示します。

プロセス	プロセスルール	目的
標準プロセス	Collaborative Development (共同開発) Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Integration Testing (統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)	Collaborative Development (共同開発) Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Integration Testing (統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)
* 分散型プロセス	Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Local Collaborative Development (ローカル共同開発) Local Integration Testing (ローカル統合テスト) Master Integration Testing (マスタ統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)	Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Collaborative Development (共同開発) Integration Testing (統合テスト) マスタ統合テスト Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)

* 注記：データベースで DCM を使用できる場合、分散型プロセス情報が表示されます。

チーム固有の作業方法を定義する独自のプロセスを作成できます。たとえば、GUI プロジェクトに携わるチームのビルドマネージャは、GUI Process という名前のプロセスを作成します。このプロセスは、対応するプロセスルール Beta Test を持つ Beta Test という専用目的を含みます。プロセスルールは、ベータリリース用のテストの新しいレベルを定義します。新しい Beta Test プロセスルールにより、ビルドマネージャがチームのベータテストリリースに備えたビルドを行うことができます。このプロセスルールは、新しいプロセスである GUI Process にのみ存在します。

ステップ ...

1. タスクメニューで**新規**をポイントし、**プロセス**を選択します。

プロセスの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前**フィールドにプロセスの名前を入力します。

3. **ダイアグラム URL** フィールドに URL を入力します。

ダイアグラム URL は、プロセスの詳細情報を含むファイルを指し示します。デフォルトのプロセスには、ヘルプ サーバー上の説明ファイルへの URL があります。説明ファイルには、プロジェクト グルーピングへのベースラインとタスクのフローを示す図が含まれます。このファイルを表示するには、**表示**をクリックします。

ダイアグラムが用意できていない場合、URL を後で説明ファイルを置く場所へのパスに設定できます。

4. このプロセスを使用して作るリリースで使用できるプロセス ルールを選択します。

- プロセス ルールを選択するには、選択フィールドに表示されている既存の目的のチェックボックスを1つクリックします。目的を開き、ラジオ ボタンをクリックして適切なプロセス ルールを選択します。
- 新規プロセス ルールを作成するには、**新規**をクリックします。**プロセス ルールの作成**ダイアログボックスを使用して[プロセス ルールの設定](#)を行います。

5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロセスのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)
- [プロセス ルールの設定](#)

プロセスのコピー

プロセスは、プロセス ルールを連動するようデザインされた名前付きのグループにまとめます。プロセスは、リリースに使用できるプロセス ルールを指定するために使用します。

プロセスのコピーにより、以前の情報を元に簡単に新規プロセスを作成できます。

プロセスの詳細については、[プロセスの作成](#)を参照してください。

ステップ ...

プロセスを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なプロセスを右クリックし、**プロセスのコピー** を選択して **プロセスのコピー** ダイアログボックスを開きます。

プロセスのコピーダイアログボックスが表示されます。

2. **名前**フィールドにプロセスの名前を入力します。

3. **ダイアグラム URL** フィールドで URL を変更します。

ダイアグラム URL は、プロセスの詳細情報を含むファイルを開きます。

プロセスをコピーすると、コピーするプロセスへの URL が**ダイアグラム URL** フィールドに表示されます。

URL が不明な場合、後で**プロセス プロパティ**ダイアログボックス ([プロセスのプロパティの修正](#)) を使用して追加できます。

4. このプロセスを使用して作るリリースで使用できるプロセス ルールを選択します。
 - プロセス ルールを選択するには、選択フィールドに表示されている既存の目的のチェックボックスを1つクリックします。目的を開き、ラジオ ボタンをクリックして適切なプロセス ルールを選択します。
 - 新規プロセス ルールを作成するには、**新規**をクリックします。プロセス ルールの作成ダイアログボックスを使用して[プロセス ルールの設定](#)を行います。
5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロセスの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)
- [プロセス ルールの設定](#)

プロセス ルールの作業

- [プロセス ルールの設定](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)

プロセス ルールの設定

プロセス ルールは、プロジェクトがどのように更新されるかを指定するものです。プロジェクトの目的とリリースの組み合わせにより、プロジェクトが使用するプロセス ルールを決定します。プロセス ルールは、ルールを使用してプロジェクト グルーピングのベースラインを選択する方法、どのタスクが集められるかを指定します。

ステップ ...

1. **タスク** メニューで**新規**をポイントし、**プロセス ルール**を選択します。

プロセス ルールの**作成**ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前**フィールドにプロセス ルールの名前を入力します。
3. **詳細**フィールドにプロセス ルールの簡単な説明を入力します。
4. **目的**ボックスを使用して目的を設定します。

目的によってプロジェクトの状態が決まり、更新時に確実に正しいメンバーが選択されるようになります。目的のリストとそれぞれの用途を表示するには、参照ボタンをクリックします。

適切な目的が表示されていない場合は、プラス記号をクリックして作成できます。適切な**名前**を入力します。**概要**カラムをダブルクリックし、必要に応じてリストから目的の用途を選択して変更します。

あるいは、不要な目的を作成した場合などは、[目的の削除](#)を行う必要があります。

5. ベースラインの選択方法を選びます ([リリースの作成またはコピー](#)または[リリースのプロパティの修正](#)するときこれを行うことができます)。
6. プロセス ルールにフォルダ テンプレートを追加または削除します。

フォルダ テンプレートは、フォルダ テンプレートがクエリしたタスクを格納する 1 つまたは複数のフォルダを作成します。

プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用します。

削除するには、不要になったフォルダ テンプレートの隣のマイナス記号をクリックします。

追加するにはプラス記号をクリックして**フォルダ テンプレートの選択**ダイアログボックスを表示します。属性を入力して検索の範囲を絞るか、**すべてのフォルダ テンプレート**など定義済みクエリを使用します。

7. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロセスの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [プロセスルールのプロパティの修正](#)

リリースの作業

- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (リリース)
- [リリースのアクティブ化と非アクティブ化](#)

リリースの作成またはコピー

この手順により、リリースを作成します。たとえば、ビルド マネージャは、自分のチームが新しい製品の作業を開始する用意ができたならリリースを作成します。

チームが製品の新しいバージョンの作業をしていた場合、以下の例で説明するようにビルド マネージャはリリースをコピーします。

1 週間の間に何度も複数のコンポーネント ベースラインをリリースする、コンポーネント開発室のビルド マネージャがいます。彼は、コンポーネントのあるバージョンをリリースが完了すると、開発チームがすぐ作業に取り掛かれるように、直ちに次のリリースを作成する必要があります。月曜の朝に彼は **siriusCore/4.3.25-006** コンポーネントをリリースし、月曜の午後には彼のチームが **siriusCore/4.3.25-007** の作業を開始している必要があります。

ビルド マネージャは、**siriusCore/4.3.25-006** リリースをコピーして新リリースの作業用とします (**リリースのコピー** ダイアログボックスを開くと、新リリース用のフィールドにあらかじめ **siriusCore/4.3.25-007** という値が入ります)。ビルド マネージャは、開発チーム **siriusCore/4.3.25-007** リリースの用意ができたことを伝えます。チームは、**選択の再表示**操作を行って新しいリリース値を取得し、作業を開始します。

ステップ ...

1. **タスクメニュー**をクリックし、**新規**をポイントし、**リリース**を選択します。

リリースの**作成**ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて以下のフィールドを修正します。

- **ベースライン リリース**

リリースを作成する場合、このオプションでリリースのベースライン リリースを設定できます。リリースをコピーする場合、コピー元のリリースをベースに自動的に表示されるベースライン リリースを変更できます。

ベースライン リリースは、ベースライン選択のセーフティ ネットとなります。これは、プロセス ルール内のベースライン検索順序を定義するとき使用できます。

たとえば、**Insulated Development (個別開発)** 目的のベースラインは、プロジェクトと同じリリースの最新の **Integration Testing (統合テスト)** ベースラインです。ただし、これがない場合、ベースライン リリースの最新のベースラインが使用されます。

具体的には、CM 6.5 のベースライン リリースは CM 6.4 SP1 です。CM 6.5 の統合テスト ベースラインがまだない場合、6.5 個別開発プロジェクトは最新の CM 6.4 SP1 ベースラインを採用します。

- **名前**

リストボックスからコンポーネント名を選択するか入力します（例、**editor**）。リリースを作成する場合、コンポーネント リリースを入力します（例、**3.2_patch**）。リリースをコピーする場合、コピー元のリリースをベースにしたコンポーネントリリースを使用するか新しいものを入力できます。

注記：コンポーネント リリースは 32 文字以内で指定します。

- **詳細**

リリースの簡単な説明です。

- **パラレル制限**

このリリースの作業を行っているチームがどのようにパラレルバージョンを使用するかを決定します。リリースをコピーする場合、コピー元のリリース値がこのボックスに表示されます。

以下のパラレル制約を設定できます。

- * パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを許可
- * パラレル チェックアウトを許可、パラレル チェックインは禁止
- * パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを禁止

設定を選択しないと、デフォルトの**パラレル チェックアウトを許可、パラレル チェックインは禁止**が使用されます。

3. 必要に応じてこのリリースのプロセスを追加します。

プロセスは、プロセス ルールを連動するようデザインされた名前付きのグループにまとめます。

デフォルトで、各プロセスには、リリースに使用できるプロセス ルールが含まれます。以下に組み込まれている[プロセス](#)、[プロセスルール](#)、および[目的](#)を示します。

プロセス	プロセスルール	目的
標準プロセス	Collaborative Development (共同開発) Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Integration Testing (統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)	Collaborative Development (共同開発) Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Integration Testing (統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)

プロセス	プロセスルール	目的
* 分散型プロセス	Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Local Collaborative Development (ローカル共同開発) Local Integration Testing (ローカル統合テスト) マスタ統合テスト Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)	Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Collaborative Development (共同開発) Integration Testing (統合テスト) Master Integration Testing (マスタ統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)

注記：データベースで DCM を使用できる場合、分散型プロセス情報が表示されます。

プロセスの選択 ボタンをクリックしてプロセスルールの選択肢に加えます。**プロセスの選択** ダイアログボックスに使用できるプロセスが表示されます。適切なプロセスを選択して **OK** をクリックします。

リリースをコピーする場合、以前のリリースの一部であったプロセスルールを使用できます（プロセスルールのセットは、ユーザーがそのリリースのプロジェクトをコピーするとき使用できる目的を定義します）。

あるいは、複数のプロセスルールを持つプロセスをコピーする場合、不要なプロセスルールを削除することを推奨します。

4. DCM 転送を許可

データベースで DCM を使用できる場合は、このオプションが選択されています。選択されている場合、このリリースの DCM 転送セットが許可されています。選択を解除すると、このリリースの DCM 転送セットは禁止されます。

5. OK をクリックします。

関連トピック

- [ベースラインの作成](#)
- [ベースラインプロパティの修正](#)

リリースのアクティブ化と非アクティブ化

データベース内のリリースを[アクティブリリース](#)または[非アクティブリリース](#)にする場合にこの手順を使用します。

旧リリースの非アクティブ化はデータベースを整理する良い方法です。ユーザーが適切な設定を探すため、アクティブリリースだけを調べれば良いので便利です。

ステップ ...

リリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

クエリダイアログボックスにリリースがアクティブか非アクティブか表示されない場合、任意の列見出しを右クリックして[アクティブ](#)を選択します。設定が **true** の場合はリリースがアクティブで、**false** の場合は非アクティブです。

- アクティブリリースを右クリックして[非アクティブ化](#)を選択します。

または

- 非アクティブリリースを右クリックして[アクティブ化](#)を選択します。

関連トピック

- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (リリース)

目的の作業

- [目的の作成](#)
- [目的の削除](#)
- [目的の編集](#)

目的の作成

プロジェクトにはそれぞれ目的があります。プロジェクトの目的によってプロジェクトの状態が決まり、プロジェクトのリリースにマッピングされ、更新時に確実に正しいメンバーが選択されるようになります。

目的は、同じプロジェクトの複数の *prep* (準備) バージョン、*shared* (共有) バージョン、*working* (作業) バージョン、*visible* (可視) バージョンを、複数のテストレベルなど、用途別に設定するために使用します。

ステップ ...

1. **タスク**をクリックして**新規**をポイントし、**プロセス ルール**を選択して**目的**ダイアログボックスを開きます。

プロセス ルールの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. 目的リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。

目的ダイアログボックスが表示されます。

3. 目的ダイアログボックスで、プラス記号をクリックして目的を追加します。

4. 新しい目的の名前を入力し、**概要**フィールドをダブルクリックして目的の用途を選択します。

5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [目的の削除](#)
- [目的の編集](#)

目的の削除

データベースから目的を削除すると、以下の状況が発生します。

- 削除した目的でプロジェクトのコピーおよび作成ができない。
- 削除した目的を使用する既存のプロジェクトと製品は、それらが使用するよう作成された統合テストなどの設定を保持する。
- 既存のプロジェクトと製品は、その目的を削除した目的に変更できない。
- 削除した目的のプロセス ルールは削除される。

ステップ ...

1. 適切な汎用プロセス ルールを右クリックし、プロパティを選択してプロセスルールプロパティ ダイアログボックスを開きます。

プロセスルール プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 目的リストの右の参照ボタンをクリックして目的ダイアログボックスを開きます。

目的ダイアログボックスが表示されます。

3. 目的ダイアログボックスで、削除する目的をクリックし、マイナス記号をクリックして反転表示された目的を削除します。

目的を削除するためには、所有者である必要があります。

4. 目的の削除ダイアログボックスが表示され、目的の削除が確認されます。OK をクリックします。

目的を削除するには、プロセスルール プロパティ ダイアログボックスで OK または適用をクリックする必要があります。キャンセルをクリックすると、目的はデータベースに残り目的ダイアログボックスに表示されます。

関連トピック

- [目的の作成](#)
- [目的の編集](#)

目的の編集

この操作により、指定した目的の名前を編集します。目的は、同じプロジェクトの複数の *prep* (準備) バージョン、*shared* (共有) バージョン、*working* (作業) バージョン、*visible* (可視) バージョンを、複数のテストレベルなど、用途別に設定するために使用します。プロジェクトにはそれぞれ目的があります。プロジェクトの目的はプロジェクトの状態を決定し、プロジェクトのどのプロセスルールを使用して、更新時に正しいメンバーを選択、するかを決定します。

ステップ ...

1. 適切な [汎用プロセスルール](#) を右クリックし、**プロパティ** を選択して **プロセスルールプロパティ** ダイアログボックスを開きます。
プロセスルール **プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. 目的リストの右の参照ボタンをクリックして **目的** ダイアログボックスを開きます。
目的ダイアログボックスが表示されます。
3. 必要に応じて表内の行をクリックし、もう一度 **名前** 列をクリックして新しい名前を入力します。
4. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [目的の作成](#)
- [目的の削除](#)

主なビルド管理操作

プロジェクト グルーピングのプロパティの修正 | リリースの作成またはコピー | ベースラインの作成 | プロジェクトの更新 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルド マネージャ ガイド](#)

ビルド管理に関する一般的な質問

- 破損ビルドの修復はどのように行いますか。
- チームが使用するプロジェクトは、どのように設定しますか。
- プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。
- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。
- プロセスとは何ですか。そしてどのように使用しますか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。
- 夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、Telelogic Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。

主なベースライン作成操作

ベースラインの作成 | 新規ベースラインの選択 | 開発者にテストベースラインを公開 | ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

ベースライン作成に関する一般的な質問

- どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。
- デフォルトで新しいベースラインの名前にビルド番号を入れるにはどうすればいいですか。
- 私はプロジェクトリーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインをビルドできません。どうしたらよいのでしょうか。

主な変更依頼エクスプローラ操作

[エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#) | [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

変更依頼エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- Telelogic Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。
- Telelogic Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なエクスプローラ操作

1つ以上のエクスプローラのドッキング | エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存されたクエリのエクスプローラへの追加 | 保存クエリの削除 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

エクスプローラに関する一般的な質問

- [何から始めればよいですか。](#)
- [プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。](#)
- [プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。](#)

主な履歴操作

オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 | オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 | 平行ファイル/ディレクトリのマージ | 2つのファイルの比較

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- 平行ファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- 平行バージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

履歴に関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- [履歴](#) ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴をもっとも速く表示する方法は何ですか。

主なメンバーシップ コンフリクト操作

プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 2つのファイルバージョン | 2つのファイルの比較 | メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

メンバーシップ コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何かから始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいでしょうか。
- Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。
- 深いコンフリクト検出の実行を行う理由

主なマージと比較操作

パラレルファイル/ディレクトリのマージ | マージ結果の編集 | 2つのファイルの比較 | 2つの類似オブジェクトの比較

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

マージと比較に関する一般的な質問

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時に**パラレル** ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要がある**パラレルバージョン**の所有者は、どのように探したらよいですか。

主なオプション操作

更新オプションの変更 | ワークエリアとデータベースの同期 | 必須タスクの自動追加を停止 | パターンによるファイルの無視 | ワークペインの外観の変更 | リリース エクスプローラの表示

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

オプションに関する一般的な質問

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。

主なパラレル操作

パラレルバージョンの表示 | パラレルファイル/ディレクトリのマージ | カレント タスクの完了

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

パラレルに関する一般的な質問

- 自分で**パラレル**ダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- **パラレル**バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- タスクの完了時に**パラレル**ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

主なリリース エクスプローラ操作

[エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#) | [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

リリース エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクトアイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なワーク ペイン操作

チェックイン | チェックアウト | プロジェクトの作成 | ファイルの編集 | ファイルの移動 | 自動タブ管理

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

ワーク ペインに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されま
す。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- Telelogic Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

主なプロジェクト エクスプローラ操作

[エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#) | [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

プロジェクト エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクトアイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 保存クエリとは何ですか。
- プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

主なファイルとディレクトリのプロパティ操作

ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正 | プロパティの表示 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更 | ユーザー プロパティのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

ファイルとディレクトリのプロパティに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- オブジェクトのリリースを変更する必要があるが、ビルドマネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、**プロパティ** ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。
- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。

主なベースライン プロパティ 操作

ベースライン プロパティの修正 | 新規ベースラインの選択 | 別のベースラインの使用 | プロパティの表示

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

ベースライン プロパティに関する一般的な質問

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインプロジェクトのタスクを表示して不要なタスクを取り除くための、簡単な方法がありますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

主なフォルダ プロパティ操作

フォルダのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (フォルダ) | フォルダへのタスクの追加

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

フォルダ プロパティに関する一般的な質問

- フォルダは何に使用するのですか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- フォルダに内容を確認するには、どうしたらよいですか。
- クエリベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。

主なフォルダ テンプレート プロパティ操作

フォルダ テンプレートの作成 | フォルダテンプレートのコピー | フォルダ テンプレートのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (フォルダテンプレート)

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

フォルダ テンプレート プロパティに関する一般的な質問

- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。
- どのプロセスルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。
- このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。
- フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいのでしょうか。

主なプロセス プロパティ操作

プロセスの作成 | プロセスのコピー | プロセスのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (プロセス) | プロパティの表示 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

プロセス プロパティに関する一般的な質問

- 新しいプロセスのプロセス ルールを設定するには、どうすればよいですか。
- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。
- 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
- 新しいプロセスのダイアグラム URL を指定する必要がありますか。

主なプロセス ルール プロパティ操作

プロセス ルールの設定 | プロセス ルールのプロパティの修正 | プロパティの表示 | オブジェクトの削除 (プロセスルール) | オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

プロセス ルール プロパティに関する一般的な質問

- 新しいプロセスのプロセス ルールを設定するには、どうすればよいですか。
- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

主なプロジェクト プロパティ操作

プロジェクトの作成 | プロジェクトのコピー | デフォルト ワークエリア パスの設定 | プロジェクトのプロパティの修正 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

プロジェクト プロパティに関する一般的な質問

- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

主なプロジェクト グループिंग プロパティ操作

[プロジェクト グループिंगにプロジェクトを追加](#) | [プロジェクト グループिंगにタスクを追加](#) | [プロジェクト グループングからタスクを削除](#) | [プロジェクト グループングのプロパティの修正](#) | [プロジェクトまたはプロジェクト グループング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

プロジェクト グループ プロパティに関する一般的な質問

- [すべてを再ビルドせずにプロジェクトにいくつかのタスクを追加して再ビルドするには、どうしたらよいですか。](#)
- [タスクがビルドを破壊しており、チームリーダーがそれをビルドに含めないよう要求しています。ビルドのこの段階で更新したくありません。どうしたらよいですか。](#)
- [ある時点以降のタスクを取り上げずにタスクのセットをビルドするにはどうしたらよいですか。](#)

主なリリース プロパティ操作

リリースの作成またはコピー | リリースのアクティブ化と非アクティブ化 | リリースのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (リリース) | プロパティの表示

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

リリース プロパティに関する一般的な質問

- 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
- ダイアログボックスに残存する古いリリースは、どう処理したらよいですか。
- リリースが使用しているプロセスを移動するには、どうしたらよいですか。

主なタスク プロパティ操作

タスクのプロパティの修正 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更 | プロパティの表示 | タスクの除外 | タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルド マネージャ ガイド](#)

タスク プロパティに関する一般的な質問

- タスクをコピーするにはどうしたらよいでしょうか。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、**タスク プロパティ** ダイアログボックスに**セキュリティ**タブがありません。なぜですか。
- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
- **タスク プロパティ** ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。

主なクエリ操作

クエリの定義 | クエリの保存 | 保存されたクエリの実行 | 保存クエリの編集 | 保存クエリを表示

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

クエリに関する一般的な質問

- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。
- すでに使用して一度保存したことのあるクエリはどこにありますか。
- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。
- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。

主なタスク エクスプローラ操作

[タスクの作成](#) | [カレント タスクの完了](#) | [自分に割り当てられたタスクの表示](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

タスク エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクトアイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なワークエリア コンフリクト操作

ワークエリアとデータベースの同期 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 深いコンフリクト検出の実行 | ワークエリアの設定の修正

プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

ワークエリア コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいでしょうか。
- Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。

一般的な質問

ベースライン

- どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。
- デフォルトで新しいベースラインの名前にビルド番号を入れるにはどうすればいいですか。
- 私はプロジェクト リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインをビルドできません。どうしたらよいのでしょうか。
- ベースライン プロジェクトのタスクを表示して不要なタスクを取り除くための、簡単な方法がありますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

開発

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいのでしょうか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴をもっとも速く表示する方法は何ですか。
- タスクをコピーするにはどうしたらよいのでしょうか。
- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時にパラレル ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要があるパラレルバージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。
- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。

- [パラレルバージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。](#)
- [ビルド内のマクロまたは環境変数の値を確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。](#)
- [IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。](#)
- [GUI のフォントサイズを変更するにはどうしたらよいですか。](#)
- [Telelogic Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [ccm_client.log ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。](#)

ビルド管理

- [破損ビルドの修復はどのように行いますか。](#)
- [チームが使用するプロジェクトは、どのように設定しますか。](#)
- [プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。](#)
- [更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。](#)
- [プロセスとは何ですか。そしてどのように使用しますか。](#)
- [プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。](#)
- [夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、Telelogic Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。](#)
- [クエリベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。](#)
- [どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいでしょうか。](#)

コンフリクト

- [コンフリクトの解決は必須ですか。](#)
- [プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。](#)
- [プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいでしょうか。](#)

-
- [Telelogic Synergy](#) が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
 - [私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。](#)

[エクスプローラ](#)

- [エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。](#)
- [保存クエリとは何ですか。](#)
- [Telelogic Synergy](#) で変更依頼を確認できますか。それとも [Telelogic Change](#) を起動する必要がありますか。
- [Telelogic Synergy](#) で変更依頼を解決できますか。それとも [Telelogic Change](#) を起動する必要がありますか。
- [プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。](#)
- [複数種類のエクスプローラを表示できますか。](#)
- [Telelogic Synergy](#) を再起動したとき4つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。

[プロパティ](#)

- [オブジェクトのリリースを変更する必要があり、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、**プロパティ** ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。](#)
- [フォルダは何に使用するのですか。](#)
- [フォルダはどのように作成しますか。](#)
- [フォルダに内容を確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。](#)
- [プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。](#)
- [新しいプロセスのプロセス ルールを設定するには、どうすればよいですか。](#)
- [新しいプロセスのダイアグラム URL を指定する必要がありますか。](#)
- [新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。](#)
- [ダイアログボックスに残存する古いリリースは、どう処理したらよいですか。](#)
- [リリースが使用しているプロセスを移動するには、どうしたらよいですか。](#)

- すべてを再ビルドせずにプロジェクトにいくつかのタスクを追加して再ビルドするには、どうしたらよいですか。
- タスクがビルドを破壊しており、チームリーダーがそれをビルドに含めないよう要求しています。ビルドのこの段階で更新したくありません。どうしたらよいですか。
- ある時点以降のタスクを取り上げずにタスクのセットをビルドするにはどうしたらよいですか。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしています、**タスクプロパティ**ダイアログボックスに**セキュリティ**タブがありません。なぜですか。
- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
- **タスクプロパティ**ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。
- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。
- リリースに汎用プロセスルールを追加しました。ベースラインはどこで設定すればよいですか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

ベースライン

- どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。

Telelogic Synergy は、ベースラインをある時点におけるプロジェクトおよびタスクのスナップショットとして使用します。ベースラインを作成する前に、それをどのように使用するかを考える必要があります。更新操作は、「ここから開始する」という意味でベースラインを使用します。したがって、ベースラインに複数のコンポーネントのプロジェクトを入れたり、リリースのすべてのプロジェクトを入れなかったりした場合、Telelogic Synergy はベースラインを使用して適切に更新できなくなります。

以下の2つの例はベースラインを正しく設定する方法を示し、最後の例は誤って設定されたベースラインを示します。ベースラインを正しく使用すれば、プロジェクトの更新を効率よく行うことができます。

ベースラインは、そのリリースによって選択されます。したがって、ベースラインには一貫したリリースのプロジェクトを含むことが重要です。ベースライン内のプロジェクトは、プロジェクト グループ内のプロジェクトのベースラインプロジェクトとして使用されます。下表では、プロジェクト グループ内のすべてのプロジェクトがベースライン内のプロジェクトに対応していることに注意してください。これは、完全なベースラインの例です。

CM/6.4 ビルド 1234 の ベースライン	<== ベースライン	CM/6.5 統合テストの プロジェクトグループ
cm_top-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_top-CM/6.5
cm_gui-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_gui-CM/6.5
cm_api-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_api-CM/6.5
cm_platform-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_platform-CM/6.5

下表では、複合コンポーネントの階層に2つの個別のベースラインが必要なことに注意してください。これは、正しいベースラインの例です。

CM/6.4 ビルド 1234 の ベースライン	<== ベースライン	CM/6.5 統合テストの プロジェクトグループ
cm_top-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_top-CM/6.5
cm_gui-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_gui-CM/6.5
cm_api-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_api-CM/6.5
cm_platform-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_platform-CM/6.5
TC/4.6 ビルド 5678 の ベースライン	<== ベースライン	TC 4.6.1 統合テストの プロジェクトグループ
change_api-TC/4.6	<== ベースラインプロジェクト	change_api-TC/4.6.1

複合コンポーネントのプロジェクトに1つのベースラインを作成すると、プロジェクトは正しくベースラインプロジェクトを見つけることができないことがあります。以下の例では、**TC/4.4** リリース (表中イタリック) からのサブプロジェクトは **CM/6.4** リリースのベースラインに含まれています。

Telelogic Synergy は、このプロジェクトをベースラインプロジェクトとして使用できません。なぜなら、このプロジェクトがメンバーとなっているベースラインが (たとえば **CM/6.4 ビルド 1234 のベースライン**)、これをベースラインプロジェクトとして使用するどのプロジェクト グループ (たとえば、**TC 4.6.1 統合テストのプロジェクト グループ**) からも選択されないからです。また、両方のリリースのタスクがベースラインに含まれることとなります。

ベースライン内のすべてのタスクがベースライン内のすべてのプロジェクトから使用されない場合、それらのタスクは更新時にプロジェクト グループに差し引かれることはありません。理想的には、更新操作で選択される新しいプロジェクトメンバーは以下のように集められます。

- Telelogic Synergy が、プロセスルールで指定されたすべてのタスクを集める。
- Telelogic Synergy が、ベースラインからすべてのタスクを差し引く。

ベースライン内の1つまたは複数のプロジェクトが使用していないタスクがベースライン内にある場合、Telelogic Synergy はこれを検出して、更新に使用するタスクを計算するときにこれを差し引きません。

下表では、最初の行の **change_api-TC/4.4** は別のコンポーネントのものであり、**CM/6.4** ベースラインに入れるべきではありません。この行があるため、それに関連するすべてのタスクもベースラインの一部となり、**CM/6.4** または **TC/4.4** のタスクはベースライン内のすべてのプロジェクトによって使用されないため、どのタスクも差し引かれません。これはパフォーマンスに悪影響を及ぼします。

- 更新は、ベースラインプロジェクト内の対応するオブジェクトとプロジェクト グループ プロパティ内のタスクをもとに、プロジェクトの各メンバーの候補を選択します。対象となる候補は、ベースラインプロジェクト内のオブジェクトと上記のように集められたタスクに関連するそのオブジェクトの任意の新バージョンです。

下表で最初の列が欠落しているのは、**TC 4.6.1 統合テストのプロジェクト グループ** のベースラインが見つからないことを意味します。ベースラインがないため、**change_api-TC/4.6.1** のベースラインプロジェクトはありません。これは、プロジェクトの更新時に得られると期待していたメンバーを得られないことを意味します。

これは、誤ったベースラインの例です。

CM/6.4 ビルド 1234 の ベースライン	<== ベースライン	Project Grouping for CM/6.5 のプロジェクト グルーピング
cm_top-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_top-CM/6.5
cm_gui-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_gui-CM/6.5
cm_api-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_api-CM/6.5
cm_platform-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_platform-CM/6.5
change_api-TC/4.4		
欠落	<== ベースライン	TC 4.6.1 統合テストのプロ ジェクト グルーピング
なし	<== ベースライン プロジェクト	change_api-TC/4.6.1

- デフォルトで新しいベースラインの名前にビルド番号を入れるにはどうすればいいですか。

オプション ダイアログボックスで**バージョン テンプレート** ベースライン作成オプションを変更することができます。詳細については、[ベースライン作成オプションの変更](#)を参照してください。

- 私はプロジェクト リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。

その場合は、**テスト ベースライン**を作成する必要があります。テスト ベースラインは作成時に公開されません。テスト ベースライン作成の詳細については、[ビルドのスナップショットの作成](#)を参照してください。

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

ベースライン プロパティ ダイアログボックスを使用して、公開済みのベースラインの名前を変更できます。詳細については、[ベースラインプロパティの修正](#)を参照してください。

- ベースラインをビルドできません。どうしたらよいのでしょうか。

ベースラインを作成するためには、開発者に自分の完了タスクをテストして修復させる必要があります。これは、代替的な手法です。他の手法の説明については、[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照してください。

- ベースライン プロジェクトのタスクを表示して不要なタスクを取り除くための、簡単な方法がありますか。

ベースラインが**テスト ベースライン**なら、公開しないでください。

タスクが公開ベースラインなら、ベースラインに削除のマークを付ける必要があります。

ベースラインを右クリックし、**削除**を選択します。**削除**ダイアログボックスが表示され、ベースラインに削除用のマークを付けることができます。

削除用にマークされたベースラインを削除できるのは、**CM** アドミニストレータのみです。ただし、**CM** アドミニストレータが削除マークの付いたベースラインを自動的に削除するよう設定している場合は、削除マークが付けられたベースラインは自動的に削除されます。削除マークを付けるベースラインを本当に削除してよいか確認してください。

- ベースラインの比較はどのように行いますか。
 1. ベースラインを右クリックし、**比較**を選択します。
 2. **ベースライン選択**ダイアログボックスで比較するベースラインを選択して、**OK** をクリックします。

ベースライン比較ダイアログボックスに 2 つのベースラインの相違点と類似点が表示されます。

ビルド管理

- 破損ビルドの修復はどのように行いますか。
ビルドが破損した場合、以下のいずれかのことを行う必要があります。
 - 破損する前にビルドが完了しており、ベースライン ビルドを設定している場合は、[破損ビルドの修復](#)を参照してください。
 - ビルドが完了したことがなく、ベースラインビルドがない場合は、[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照してください。
- チームが使用するプロジェクトは、どのように設定しますか。
ビルド マネージャは、ソフトウェア製品をビルドして管理するためにチームが使用する作業フローの責任があります。作業フローの中には、プロジェクトの設定のほか、以下の作業が含まれます。
 - ソフトウェアの初期バージョンからベースラインを作成する。
 - ソフトウェア構造の体系化と精微化を行う。
 - テストおよびステージング用ビルド管理プロジェクトを設定する。
 - プロセスルールとフォルダ テンプレートの設定とメンテナンスを行う。
 - 開発者からソフトウェア変更を収集し、テストエリアをビルドする。
 - Telelogic Change のレポートを生成し、ビルドに含まれる／含まれない機能とタスクを調べる。
 - 顧客リリースなどの重要なマイルストーンでソフトウェアを凍結する。
 - チームで使用する構成情報（プラットフォーム値やリリース値など）を設定する。
 - 開発者へ最新の変更を公開する。
 - 不要となったベースラインを削除する。
 - 問題を特定して修正タスクを作成するため、旧ソフトウェア リリースを再作成する。

この一覧は、ビルド管理における責任項目を簡単にまとめたものです。各項目にはそれぞれ特定の作業が含まれます。[ビルドマネージャガイド](#)ではそのすべてについて詳しく説明します。
- プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。
コンフリクトは、以下の2種類の分類できます。
 - プロジェクトにあるが更新プロパティにない変更。たとえば、新しいオブジェクトバージョンを、そのタスクを更新プロパティに追加せずに使用すると、オブジェクトにはコンフリクトが生じます。

- 更新プロパティにあるがプロジェクトにない変更。たとえば、プロジェクトの更新プロパティに、同一オブジェクトの平行バージョンに関連付けられている2つのタスクがある場合、プロジェクトのメンバーでないバージョンにはコンフリクトが生じます。

これらの問題の修復については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください。

- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。
以下の項目を順序どおりに確認してください。
 1. プロジェクトのプロセス ルールで以下を確認します。
 - * フォルダ テンプレートのタスク クエリが正しいこと。
 - * このプロセス ルールに正しいフォルダまたはフォルダ テンプレートが含まれていること (プロジェクトのフォルダまたはフォルダテンプレートが正しくない場合、プロセスルールを更新する必要があるかもしれません)。
 - * ベースラインが設定されていること。
 2. **verbose** オプションを使用して更新操作を実行します。**verbose** オプションにより、分析する候補の詳細情報が得られます。各候補のスコアとそのスコアの根拠が表示されます。得られた情報を使用してトラブルシューティングを行います。
 3. プロジェクト グルーピングのプロジェクト プロパティを確認します。
 - * **自動更新**をオフにしていた場合は、オンに戻す。
 - * タスクを一時的に移動していた場合は、それを元に戻したか確認する。
 - * タスクを手動で追加した場合は、そのタスクを保持したいか確認する。
 - * ベースラインプロジェクトが設定されているか確認する。
 4. プロセスルールを比較して正しく設定されていることを確認します。
 - a. プロジェクトまたはプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロセスルール プロパティ**を選択します。
 - b. **プロセスルール プロパティ** ダイアログボックスで、オブジェクトメニュー (左上の角) をクリックし、**プロセスのプロセスルールと比較**を選択します。
 5. 問題があるプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。ベースラインプロジェクトが適切であることを確認します。
 6. **固有ベースライン**が設定された[汎用プロセス ルール](#)を使用しており、それをリリースに追加した場合、プロセスルールのベースラインを指定する必要があります。指定しないと、そのプロセスルールを使用するプロジェクト グルーピングにベースラインが設定されず、正しく更新されません。**プロセスルール プロパティ**

ダイアログボックスでベースラインを指定します ([プロセスルールのプロパティの修正](#))。

これらの手順は、更新のもっとも一般的な問題を探すのに役立ちます。引き続き選択問題が発生する場合、『[ビルド マネージャ ガイド](#)』の「[選択時の問題の診断](#)」および「[プロセスルールの確認](#)」を参照してください。

- プロセスとは何ですか。そしてどのように使用しますか。

プロセスは、プロジェクトの更新方法を定義するプロセスルールと目的の集まりです。たとえば、POC/1.0 リリースは、**Integration Testing** (統合テスト) 目的を使用する標準プロセスを使用します。

プロセス (システムまたはカスタム) の使用方法に関わらず、開発者はプロセスやプロセスルールを設定しません。プロジェクトの目的だけを設定します。

プロセスの詳細については[プロセスの作業](#)を参照してください。

- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。

Telelogic Synergy 6.6 には、DCM ダイアログボックスはありません。DCM 機能を使用するには、**Telelogic Synergy Classic** を起動する必要があります。

- 夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、Telelogic Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。

> ccm start -nogui

- クエリベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。

1. フォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

2. **タスク** タブをクリックします。

フォルダがクエリベースで手動にしたい場合、**手動**をクリックします。手動に設定されたフォルダをクエリベースにしたい場合、**クエリ使用**をクリックし、クエリを設定します。


3. 必ず、**適用**をクリックして変更を保存してください。

- どのプロセスルールがフォルダテンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。

フォルダテンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロセスルール**を選択します。

- このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。

フォルダテンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**すべてのフォルダ**を選択します。

- フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいでしょうか。
 1. フォルダ テンプレートを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **フォルダ プロパティ**タブでクエリを変更し、 をクリックします。
テスト値を選択ダイアログボックスが表示されます。
 3. キーワードの値を入力し、**OK** をクリックします。

コンフリクト

- コンフリクトの解決は必須ですか。

プロジェクトをビルドする前にコンフリクト解決を実行するのは必須ではありませんが、解決した方がよいでしょう。

コンフリクトの解決は、ビルドの前に問題を取り除くのに役立ちます。これにより、ビルドの失敗やアプリケーションの実行不能の原因となる問題を修正することができます。

開発者がコンフリクトを表示するのは、プロジェクトに問題を起こすパラレルバージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがあるような場合です。

すべての完了タスクを統合する前に問題を探してチームリーダーまたは開発者に修正を依頼できるように、ビルドマネージャはビルド管理プロジェクトを更新したあと、ビルドを行う前に毎回コンフリクト検出を実行します。

コンフリクトの解決については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください。

- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。

フィルタ機能により、表示する条件を選び、残りの条件を除外できます。[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)の「各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。」を参照してください。

また、Java 正規表現を使用して表示される条件をさらにフィルタすることもできます。[パターン マッチングと Telelogic Synergy](#) を参照してください。

- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいでしょうか。

大規模なプロジェクトには特別なニーズがあります。たとえば、Telelogic Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。しかし、必ずしもすべてのデフォルト コンフリクトがチームにとって都合の悪いわけではありません。したがって、意味のあるコンフリクトと無意味なコンフリクトを決定し、CM アドミニストレータにデフォルトを変更するよう (**conflict_parameters** モデル属性を変更して) 依頼できます。

コンフリクトをカスタマイズした後、コンフリクト検出を実行すると、チームが解決すべきコンフリクトだけが表示されます。大規模なプロジェクトでは、表示するコンフリクトのカスタマイズによって時間と労力を節約できます。

詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)の「大規模コンフリクト検出」を参照してください。

- Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。

いいえ。コンフリクトのすべてが悪いとは限りません。Telelogic Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。コンフリクトを解決する前に、必ずビルド マネージャに解決すべきコンフリクトを確認してください。

- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。

もっとも簡単な方法は、コンフリクト検出を自動化することです。このためには、オプションダイアログボックスの**プロジェクト更新後にメンバシップコンフリクトを検出**オプションを選択します。手順については、[更新オプションの変更](#)を参照してください。

開発

- 何から始めればよいですか。

Telelogic Synergy を使い始めたばかりで、まだマニュアルも読んでいない場合は、[『Telelogic Synergy の紹介』](#)から[『Telelogic Synergy チュートリアル』](#)までお読みください。

すぐに作業を開始してタスクを完了する必要がある場合は、[Telelogic Synergy の開始](#)をお読みください。このセクションでは、すぐに Telelogic Synergy の使用を開始するために必要なステップを示しています。

- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。
プロジェクトやファイルを囲む線は「加線」といいます。加線の説明は、[加線の色](#)を参照してください。加線色を変更する方法については、[色の変更](#)を参照してください。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

プロジェクトを探すもっとも速い方法は、**プロジェクト** エクスプローラを使用する方法です。**プロジェクト** エクスプローラの使い方については、[ワーク ペインでプロパティを表示](#)を参照してください。

- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

Windows XP Service Pack 2 によって、デフォルトのセキュリティ設定が変更されます。その結果、スクリプトや Active X コントロールなどアクティブ コンテンツについて、Internet Explorer から制限に関するポップアップ メッセージが表示されることがあります。

このコンテンツの表示を許可するには、以下を行います。

1. Internet Explorer を開きます。
 2. ツール > インターネット オプション > 詳細設定タブを開きます。
 3. セキュリティ セクションまでスクロールします。
 4. **マイコンピュータのファイルでのアクティブ コンテンツの実行を許可する**ボックスチェックをオンにします。
 5. **OK** をクリックします。
- タスクをコピーするにはどうしたらよいでしょうか。
任意のタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。フィールドの入力については、[タスクのコピー](#)を参照してください。
 - オブジェクトの履歴をもっとも速く表示する方法は何ですか。
オブジェクトを右クリックし、**履歴**を選択します。

- **履歴** ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。

履歴 ダイアログボックスの空白の部分をクリックして属性を選択します。

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。

Telelogic Synergy のマージ ツール、比較ツール、またはエディタの変更については [デフォルトアプリケーションツールの変更](#) を参照してください。

Windows および UNIX のデフォルトのマージと比較ツールは SiberMerge です。デフォルト エディタは、Windows ではメモ帳、UNIX では vi です。

- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。

マージは、チームが要求する場合にのみ必要です。タスクを完了するときの平行バージョンのデフォルト設定をプロジェクト リーダー、ビルド マネージャ、または CM アドミニストレータに確認してください。

チームがマージを要求せず、自分が平行バージョンを所有する開発者で、チーム内で最初に平行をチェックインする場合、後でマージが必要になる場合とまらない場合があります（マージできるのは、チェックインしたバージョンのみです。平行バージョンが他に1つしかなく、それが作業中の状態にある場合、他の開発者はタスクを完了した時点で変更をあなたのバージョンとマージする必要があります。マージは、平行バージョンのチェックイン後直ちに行うか、あるいは後で行うこともできます。2つ以上のバージョンがある場合、後で平行バージョンをマージする必要があるかもしれません。これは、他のバージョンの状態に依存します）。

チームがマージを要求せず、自分が平行バージョンを所有する開発者で、チーム内で最後に平行をチェックインする場合、後でマージすることが可能です。

マージすべき平行バージョンがあることを覚えておくには、マージする必要があるバージョンの **履歴** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、他の平行のバージョンと状態を監視できます。

- タスクの完了時に **平行** ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

平行 ダイアログボックスを開く方法については、[平行バージョンの表示](#) を参照してください。

- マージする必要がある平行バージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。

バージョンを右クリックし、**履歴** を選択すると **履歴** ダイアログボックス画表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトの所有者を確認できます。バージョンを右クリックし、**プロパティ** を選択して **プロパティ** ダイアログボックスを開いても、所有者を確認できます。

-
- 自分で**パラレル**ダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。

オブジェクト内に**パラレル**があると、Telelogic Synergy は、**パラレル** ダイアログボックスを開いて知らせます。これは、解決すべき**パラレル**が存在するのに気付かないことがあるからです。詳細については、[パラレルバージョンの表示](#)を参照してください。

- **パラレル**バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
履歴ダイアログボックスを使用して、[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)を行います。
- ビルド内のマクロまたは環境変数の値を確認するにはどうしたらよいですか。

以下のディレクティブを使用します。これらは、ターゲットのビルドコマンドの一部として入れる必要はありません。

```
!IFDEF VARIABLE
```

```
!ERROR VARIABLE [ 注記：make を実行する前に設定。 ]
```

```
!ENDIF
```

!ディレクティブは、空白やタブ文字でインデントしないでください。

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
ワークエリアのメンテナンスをオフにしてプロジェクトをコピーした場合、それをオンにする必要があります。その後 Telelogic Synergy が自動的にプロジェクトを同期します。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

Telelogic Synergy に無関係なファイルは無視するよう設定できます。[パターンによるファイルの無視](#)を参照してください。

- GUI のフォントサイズを変更するにはどうしたらよいですか。
すべてのエクスプローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるテキストのフォントサイズを変更するには、[フォントタイプとサイズの変更](#)を参照してください。
- Telelogic Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

Telelogic Synergy セッションを開いている場合は、ヘルプメニューから**ログの検索**を選択します。


Telelogic Synergy セッションを開いていない場合、Windows では Synergy のログは `drive:\Documents and Settings\username\Application Data\Telelogic\Synergy` にあります。

UNIX では Synergy のログは、ホーム ディレクトリにあります。


- **ccm_client.log** ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。
ccm_client.log (ユーザー インターフェイス ログ) ファイルの出力先を Windows プロファイル ディレクトリ (Windows ユーザー) またはホーム ディレクトリ (UNIX ユーザー) 以外に変更できます。このためには、**ccm.user.properties** ファイル内の **user.default logfile** キーを以下のように設定します。
 1. プロパティ ファイルを開きます。
Windows ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、Windows プロファイル ディレクトリにあります。
UNIX ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、ホーム ディレクトリにあります。
 - ログファイルの出力先を `C:\cmsynergy\synint\bob` に変更するには、以下の手順を行います。

```
user.default.logfile=C:\cmsynergy\synint\bob\ccm_client.log
```
 - **int** という名のデータベースのログファイル (主に複数のデータベースを使用している場合) の名前を変更するには、以下の手順を行います。

```
user.default.logfile=C:\cmsynergy\bob\ccm_client_int.log
```
 2. ファイルを保存して終了します。
user.default logfile キーを使用する場合、上記の例のようにフルパスとファイル名を使用する必要があります。
また、Windows のパスはダブル円記号を使用して入力する必要があります。
 - データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。
以下の手順を実行します。
 1. **検索**メニューから**オブジェクト**を選択して、**クエリ** ダイアログボックスを開きます。
 2. リストボックスから**カスタム**を選択して、次の文字列を入力します。

```
not is_bound() and type!='project' and has_attr('source')
```
 3.  をクリックします。
結果フィールドにすべての結果が表示されます。
 - 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。
[オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)を行うことができます。
 - すでに使用して一度保存したことがあるクエリはどこにありますか。

[保存されたクエリの実行](#)を行うことができます。

- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。
ユーザーに割り当てられたタスクをクエリする代わりに、特定の担当者を持つタスクをクエリします。
クエリ ダイアログボックスで、**担当者で検索**を選択し、担当者の名前を設定し、をクリックします。

エクスプローラ

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。

エクスプローラを開始すると、スライド ペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクトタブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

エクスプローラが閉じないようにするには、[1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)を参照してください。

- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。

プロジェクト アイコンの色は、**オプション**ダイアログボックスで変更する必要があります。説明については、[色の変更](#)を参照してください。

- 保存クエリとは何ですか。

保存クエリとは作成して保存したクエリです。（もう1つのタイプクエリは、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク**など、システムが保存したクエリです。）

- Telelogic Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。

Telelogic Synergy で[割り当てられた変更依頼の表示](#)を行うことができます。

- Telelogic Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。

Telelogic Synergy で[変更依頼の解決](#)を行うことができます。

- プロジェクト グループिंगを作成するには、どうしたらよいですか。

Telelogic Synergy は、プロジェクトに付与された設定からプロジェクト グループिंगを作成します。プロジェクトを作成するときは、リリースと目的を設定します。Telelogic Synergy はプロジェクトを作成またはコピーした後、新しいプロジェクトをいずれかのプロジェクト グループिंगのメンバーにします。対応するプロジェクト グループिंगを持たないプロジェクトを作成またはコピーすると、Telelogic Synergy は新しいプロジェクト グループिंगを作成してそこにプロジェクトを入れます。

たとえば、プラットフォーム固有のプロジェクトに固有の名前を付ける必要がある場合、一意な名前の新しいプロジェクトを作成すると、Telelogic Synergy はその一意な名前を持つ適切なプロジェクト グループिंगを作成します。以下にその基本的な手順を説明します。

1. プロジェクトを作成し、プラットフォームごとに固有の名前を付けます。

-
2. 各プラットフォームの新規プロジェクトごとに、**コピー**と**貼り付け**を行い、プラットフォームの既存プロジェクトをサブプロジェクトとして追加します。
 3. 最上位のグルーピングプロジェクトを作成します。
 4. 最上位のグルーピングプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 5. **OK** をクリックします。
 6. **コピー**と**貼り付け**を行って、各プラットフォームの新規プロジェクトを最上位のグルーピングプロジェクトに追加します。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
一度に表示できるエクスプローラは一種類のみですが、一度に4つのエクスプローラすべてを表示（およびドッキング）できます。
 - **Telelogic Synergy** を再起動したとき4つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
Telelogic Synergy は設定を保存しているため、そのとおりにエクスプローラを表示します。

プロパティ

- オブジェクトのリリースを変更する必要がある、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、**プロパティ** ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。

データベースの開始後に値が変わります。セッションの開始後に追加した新しい選択を確認するには、[セッション中に選択を最新の状態に更新](#)を行うかデータベースを再起動します。

- フォルダは何に使用するのですか。

フォルダは、名前を付けたタスクグループのことです。フォルダは、フォルダ テンプレートがクエリしたタスクを格納します。

- フォルダはどのように作成しますか。

フォルダは、メイン メニューの**タスク**をクリックし、**新規**をポイントして**フォルダ**を選択して作成できます。あるいは、[フォルダ テンプレートの作成](#)を行うこともできます。どちらの場合も、1 つまたは複数のフォルダを作成するパターンまたはテンプレートを作成します。

- フォルダに内容を確認するには、どうしたらよいですか。

Telelogic Synergy では、いくつかの場所でこの情報を確認できますが、もっとも簡単に探す方法は以下のとおりです。

1. **クエリ** ダイアログボックスを使用して内容を確認したいフォルダを検索します。フォルダを右クリックし、**表示**を選択します。
ワーク ペインにフォルダのプロパティが表示されます。
 2. **タスク** タブをクリックしてフォルダに含まれるタスクを表示します。
 3. 選択肢の中で、任意のタスクの隣のプラス記号をクリックして特定のタスクに関連するオブジェクトを表示します。
- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

プロパティ ダイアログボックスで、フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを管理しているデータベースのリストを確認できます。フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを修正するには (たとえば、更新時にプロジェクト グルーピングに含めるオブジェクトを変更するなど)、それらが管理データベース内になければなりません。

以下の任意のダイアログボックスで、**修正可能 DB** 設定を変更できます。

- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)

-
- [プロセスルールのプロパティの修正](#)
 - [リリースのプロパティの修正](#)
- リリースに[汎用プロセス ルール](#)を追加しました。ベースラインはどこで設定すればよいですか。
詳細については、[プロセスルールのプロパティの修正](#)を参照してください。
 - プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
プロセスルール プロパティ ダイアログボックスでベースライン設定を確認してください。ベースラインが正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されている場合は、[更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。](#)を参照してください。
 - 新しいプロセスのプロセスルールを設定するには、どうすればよいですか。
[プロセスのプロパティの修正](#)を行う必要があります。プロセスルール タブを使用してプロセスルールを設定してください。
 - 新しいプロセスのダイアグラム URL を指定する必要がありますか。
プロセスのダイアグラムへの URL の指定は必須ではありませんが、新しいユーザーがプロセスを理解するために役立ちます。
 - 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
リリースを作成すると、そのリリースはベースとするリリースを指定します。新しいリリースにベースラインが作成されていない場合、標準プロセスはベースライン リリースを使用してベースラインを検索します。
リリース プロパティ ダイアログボックスの **プロパティ** タブを使用してベースライン リリースを確認します。
 - ダイアログボックスに残存する古いリリースは、どう処理したらよいですか。
それらを非アクティブ化できます。これによりダイアログボックスに表示されなくなりますが、データベースからは削除されません。
[リリースのプロパティの修正](#)を参照して古いリリースを非アクティブ化してください。リリース プロパティ ダイアログボックスの **プロパティ** タブで、非アクティブ化したリリースについて **アクティブ** チェックボックスを選択解除します。
あるいは、大量のリリースを非アクティブ化する必要がある場合は、**クエリ** ダイアログボックスでリリースをクエリしてからリリースを右クリックして**非アクティブ化**を選択できます。
 - リリースが使用しているプロセスを移動するには、どうしたらよいですか。
以下の手順を完了する必要があります。

1. 新開発フェーズでチームが使用する内部プロセス、ホットリストについて考えます。開発のこの段階でリリースがサポートする各目的に対してホットリスト プロセスルールを作成します ([プロセスルールの設定](#)を参照してください)。
2. リリースに新しいプロセスルールを追加します ([リリースのプロパティの修正](#)を参照してください)。
3. 最上位プロジェクトを更新します ([プロジェクトの更新](#)を参照してください)。
4. 開発者にプロジェクトを更新するように伝えます。

- すべてを再ビルドせずにプロジェクトにいくつかのタスクを追加して再ビルドするには、どうしたらよいですか。

追加したいタスクがわかったら、[プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)を行います。以下の手順を実行します。

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **プロジェクト グルーピング プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ**タブで、**自動更新**チェックボックスを選択解除してから**適用**をクリックします。
 3. **タスク** タブで、**手動で追加されたタスク** テーブルの下でプラス記号をクリックしてタスクを追加します。**タスク選択**ダイアログボックスを使用して追加するタスクを選択します。
 4. [プロジェクトの更新](#)を行います。
 5. 再ビルドします。
- タスクがビルドを破壊しており、チーム リーダーがそれをビルドに含めないよう要求しています。ビルドのこの段階で更新したくありません。どうしたらよいですか。

[プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)を行う必要があります。以下の手順を実行します。

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
2. **プロジェクト グルーピング プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ**タブで、**自動更新**チェックボックスを選択解除してから**適用**をクリックします。
3. **タスク**タブで、**ベースラインで処理されたタスク** テーブルでタスクを右クリックし、**プロジェクト グルーピングから削除**を選択します。削除するタスクが**手動で追加されたタスク** テーブルにある場合は、タスクを選択してテーブルの右のマイナス記号をクリックします。

タスクは除外するのではなく、必ずプロジェクト グルーピングから削除してください。タスクをプロジェクト グルーピングから削除することで、それがビルドの一部になるのを防ぎます。しかし、修正する必要がある場合、開発者など他の人が使用できるようになります。タスクを除外した場合は、他の人も使用できません。

-
4. [プロジェクトの更新](#)を行います。
 5. 再ビルドします。
- ある時点以降のタスクを取り上げずにタスクのセットをビルドするにはどうしたらよいですか。
以下の手順を実行します。
 1. 適切なプロジェクト グループングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **プロジェクト グループング プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ**タブで、**自動更新**チェックボックスを選択解除してから**適用**をクリックします。
 3. プロジェクト グループング内の他のプロジェクトのビルドと更新を続けます。
 4. ビルドの完了時または再ビルド時に**自動更新**を設定します。
 - タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、**タスク プロパティ** ダイアログボックスに**セキュリティ**タブがありません。なぜですか。
[セキュリティタブを表示するよう設定する必要があります。プロパティダイアログボックスのセキュリティタブの表示](#)を参照してください。
 - ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
修復は、**タスク プロパティ**ダイアログボックスを使用して行います。手順については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。
 - **タスク プロパティ** ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。
タスクに関連付けるべきではない各オブジェクトを選択し、テーブルの右のマイナス記号をクリックします。オブジェクトがタスクから削除されます。
 - オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
オブジェクトを右クリックして**プロパティ**を選択します。
 - オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。
オブジェクトを右クリックして**検索**をポイントし、オブジェクトが使用されているプロジェクトのタイプを、プロジェクト、フォルダ、プロジェクト グループング、ベースラインから選択します。
 - プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
プロジェクトを右クリックし、**エクスプローラ**を選択します。
 - プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
ワーク ペインでオブジェクトを開き、**階層**タブをクリックします。
-

- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。
プロジェクトを右クリックし、**プロジェクト グループینگ プロパティ**を選択します。

用語解説

- [Change](#)
- [Telelogic Change](#)
- [アクティブ リリース](#)
- [インスタンス](#)
- [インライン差分](#)
- [オブジェクト](#)
- [カレント タスク](#)
- [管理製品](#)
- [共通祖先](#)
- [クエリ](#)
- [グルーピング プロジェクト](#)
- 検索、[クエリ](#)を参照
- [更新](#)
- [更新テンプレート](#)
- [更新プロパティ](#)
- [コンフリクト](#)
- [削除 \(delete\)](#)
- [削除 \(remove\)](#)
- [差分](#)
- [修正タスク](#)
- [手動追加タスク](#)
- [正規表現](#)
- [製品](#)
- [タイプ](#)
- [タスク](#)
- [タスクの完了](#)
- [タスクベースの方法論](#)
- [チェックアウト](#)

- [チェックイン](#)
- [データベース](#)
- [ディレクトリ](#)
- [ディレクトリ エントリ](#)
- デフォルトタスク、[カレントタスク](#)を参照
- [同期](#)
- [バージョン](#)
- [パラレル コンフリクト](#)
- [パラレルバージョン](#)
- [汎用プロセス ルール](#)
- [非アクティブリリース](#)
- [比較](#)
- [標準プロセス](#)
- [ビルド](#)
- [ビルド マネージャ](#)
- [ファイル](#)
- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [プロジェクト](#)
- [プロジェクト グルーピング](#)
- [プロジェクトの更新プロパティ](#)
- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロセス](#)
- [プロセス ルール](#)
- [プロパティ](#)
- [分散型プロセス](#)
- [ベースライン](#)
- [ベースラインで処理されたタスク](#)
- [ベースラインプロジェクト](#)
- [ベースラインリリース](#)

-
- [別バージョンの使用](#)
 - [変更依頼](#)
 - [保存クエリ](#)
 - [マージ](#)
 - [マージ コンフリクト](#)
 - [目的](#)
 - [リリース](#)
 - [リリース固有プロセスルール](#)
 - [リリース名](#)
 - [履歴](#)
 - [ワークエリア](#)
 - [ワークエリア コンフリクト](#)

Change

[Telelogic Change](#) を参照してください。

DCM

テレロジックの分散型変更管理（Distributed Change Management）オプションを使用すると、複数のデータベース間でデータを転送でき、マルチサイト開発を可能にします。

Telelogic Change

Telelogic Change は、Telelogic Synergy と統合された、ウェブベースの変更依頼管理システムです。本書では、Telelogic Change を Telelogic Synergy とともに使用する場合の説明をしています。

アクティブ リリース

アクティブ リリースは、進行中の開発に使用します。

インスタンス

インスタンスはオブジェクトのプロパティです。同じ名前、タイプの複数のオブジェクトを区別するために使われます。それぞれのバージョンではありません。

インライン差分

インライン差分は、2つの比較ファイルの個々に修正された行と文字の差分を表示します。

オブジェクト

オブジェクトはテレロジック データベースに格納できる（ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、タスク、変更依頼を含む）データの異なるタイプを示す総称です。

カレント タスク

カレント タスクは、現在作業しているタスクです。

管理製品

管理製品は、製品のプロパティを持つよう設定されていてビルドによって変更されたオブジェクトです。

共通祖先

共通祖先は、マージされている2つのファイルの最新に一番近い祖先です。マージセッションを行うと結果には共通祖先の内容が含まれます。

クエリ

クエリ（検索）操作により、Telelogic Synergy データベースからオブジェクト、プロジェクトグルーピング、タスク、および変更依頼を検索できます。再利用のためにクエリを保存できます（「保存クエリ」を参照）。

グルーピング プロジェクト

ソフトウェア アプリケーションの異なるプラットフォームを含むなどの目的で、複数のプロジェクトをグループ化したプロジェクトのことです。グルーピング プロジェクトは必須ではありません。すべてのプロジェクトが1つの階層に入れられている場合、プロジェクトのセットをチェックインしたり、プロジェクトの新しいセットをチェックアウトするほうが簡単です。

更新

更新操作により、自分のプロジェクトやディレクトリを他のユーザーによってチェックインされた最新のバージョンで更新できます。

更新テンプレート

プロセスルールを参照してください。

更新プロパティ

誰かがプロジェクトを更新するとき、選択するオブジェクトバージョンを決めるためにオブジェクトが使用するプロパティです。

コンフリクト

コンフリクトはワークエリア（たとえば、同期操作をした後）やプロジェクトメンバー（コンフリクト検出を実行した後）に生じることがあります。

削除 (delete)

削除操作は Telelogic Synergy Classic データベースからオブジェクトを取り除きます。

削除 (remove)

削除操作はオブジェクトをディレクトリやプロジェクトから取り除きますがデータベースからは削除しません。

差分

差分は、比較またはマージされた 2 つのファイルの差異です。2 つのファイルには 1 つ以上の差分があることがあります。

修正タスク

修正タスクは、修正する完了タスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。

手動追加タスク

プロジェクト グルーピング プロパティ ダイアログボックス、タスク コンテキストメニューのプロジェクト グルーピングに追加オプションまたはアクション メインメニューを使用して手動で追加するタスクです。

正規表現

正規表現は、一致テキストを検索するために使用するパターンを定義する文字列です。

製品

製品は、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。プロダクトの例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。

タイプ

オブジェクトに含まれるデータのクラスです。タイプはオブジェクトの振る舞いまたは特性を定義します。タイプの例は java、ライブラリ、実行形式ファイル、HTML です。

タスク

タスクはユーザーに割り当てられた **todo** リスト アイテムです。タスクは、完了するために修正されたファイルも追跡します。

タスクの完了

タスク上のすべての作業を完了したときにタスクを完了できます。これでチェックインすべきすべてのオブジェクトがタスクに割り当てられ、ビルド マネージャが製品をビルドできるようになります。

タスクベースの方法論

タスクベース方法論を使用すると、開発組織は作業の基本単位として個々のファイルではなくタスクを使用してソフトウェア アプリケーションへの変更を追跡できます。

チェックアウト

チェックアウト操作は、それをチェックアウトしたユーザーが編集できるオブジェクトの新しいバージョンを作成します。

チェックイン

チェックイン操作は 1 つ以上のオブジェクトを保存し、他のユーザーが使用できるようにします。

データベース

Synergy Classic データベースはソース、データ ファイル、それらのプロパティ、他への関連ファイルを含む使用中の管理データのすべてを格納するデータ レポジトリです。

ディレクトリ

Telelogic Synergy ディレクトリはどのファイルが属するかを維持管理します。

ディレクトリ エントリ

ディレクトリに属する各ファイルについて、ディレクトリはディレクトリ エントリと呼ばれるプレースホルダを持っています。ディレクトリ エントリは属するファイルを識別しますが、ファイルのバージョンは識別しません。

同期

同期操作は使用しているワークエリアファイルとデータベースの情報を比較し、両者間のコンフリクトを解決できます。

バージョン

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

パラレル コンフリクト

パラレル コンフリクトは、1 つ以上のパラレル バージョンがチェックアウトされたときに発生します。

パラレル バージョン

パラレル バージョンは、1 つのファイルから 2 つ以上のバージョンがチェックアウトされたときに発生します。

汎用プロセス ルール

プロセスルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

汎用プロセスルールは、リリースの一部ではないプロセスルールです。

非アクティブリリース

非アクティブリリースは、進行中の開発では使用できません。しかし、再び使用する必要がある場合、それをアクティブ化して使用できます。

比較

比較操作では 2 つのオブジェクトの差分が表示されます。

標準プロセス

Telelogic Synergy 用に定義された標準プロセスです。詳細については、[プロセスの作成](#)を参照してください。

ビルド

ビルドは、`makefile` でターゲット向けのコマンドを実行することです。また、ビルドマネージャが製品の作成に使用するプロセスでもあります。

ビルド マネージャ

ビルド マネージャは開発チームによる変更を集め、ビルドするユーザーです。

ファイル

ファイルは、データや情報の集まりです。

フォルダ

フォルダは、名前を付けたタスク グループのことです。

フォルダ テンプレート

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。

プロジェクト

プロジェクトとは、ファイルやディレクトリの選択バージョンを特定の構造に配列した論理グループです。

プロジェクト グループینگ

Telelogic Synergy では、プロジェクトはその目的とリリースによって、たとえば **My 3.0 Collaborative Projects** のようにグループ化されます。これをプロジェクト グループینگといいます。プロジェクト グループینگは、プロジェクトを更新するときに使用するタスクとベースラインを保持します。

プロジェクトの更新プロパティ

プロジェクトの更新プロパティは、プロジェクトのプロジェクト分類のベースラインおよびタスクです。

プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピー操作により、プロジェクトを個人使用のためにコピーできます。変更するためにはプロジェクトのコピーを作る必要があります。

プロセス

プロセスは、リリースのプロジェクトを更新する方法を定義するプロセス ルールの集まりです。たとえば、リリースは **Integration Testing** (統合テスト) という目的を含むことがあります。**Integration Testing** (統合テスト) 目的内に、ビルドマネージャは **Hotlist Testing**、**Integration Testing**、**Resolved CRs** という 3 つのプロセス ルールを持つことがあります。**Integration Testing** (統合テスト) 目的は柔軟です。これは、目的がどのプロセスルールを持つようビルド マネージャが設定するかによって統合テストエリアのビルドまたはホットリスト モードのテストの実行に使用できます。開発者はプロセスやプロセス ルールを設定しません。プロジェクトの目的だけを設定します。

プロセス ルール

プロセス ルールは、プロジェクトがどのように更新されるかを定義するパターンを含みます。それらは、誰かがプロジェクトを更新するとき使用する、ベースライン およびタスクのセットを決定するルールを指定します (旧リリースでは、「プロセス ルール」は「更新テンプレート」と呼んでいました)。

プロパティ

オブジェクトのプロパティ（属性ともいう）から、さまざまな情報を見つけることができます。プロパティの例は名前、バージョン、リリースです。

分散型プロセス

Telelogic Synergy Distributed 用に定義されたプロセスです。詳細については、[プロセスの作成](#)を参照してください。

ベースライン

ある時点における一連のプロジェクトとタスクのセットのスナップショットです。以降の開発の開始点として使用されることがあり、参照のために他のベースラインと比較されることがあります。

ベースラインで処理されたタスク

プロジェクト グループ内にはあるがベースライン内にはないタスクです。

ベースライン プロジェクト

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクト バージョンを、そのベースラインプロジェクトといいます。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースラインプロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースラインプロジェクトが自動的に設定されます。ベースラインは、ベースラインプロジェクトで構成されています。

ベースライン リリース

ベースライン リリースは、ベースライン選択方法を定義するときに予備リリースとして使用できます。

たとえば、Insulated Development（個別開発）目的のベースラインは、プロジェクトと同じリリースの最新の Integration Testing（統合テスト）ベースラインです。ただし、これがない場合、ベースライン リリースの最新のベースラインが使用されません。

具体的には、CM 6.5 のベースライン リリースは CM 6.4 SP1 です。CM 6.5 の統合テストベースラインがまだない場合、6.5 個別開発プロジェクトは最新の CM 6.4 SP1 ベースラインを採用します。

別バージョンの使用

プロジェクトのファイルまたはディレクトリの別のバージョンを使用できます。別バージョンの使用操作は、単体テスト中に以前のファイルバージョンに戻りたいときなどに実行できます。

変更依頼

変更依頼は、変更のための依頼です。

保存クエリ

使用できるクエリには、自分が作成して保存したクエリと、システムが保存したクエリの2種類があります。たとえば、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク**などがあります。

マージ

マージ機能により、ファイルの2つのパラレルバージョンからの情報を組み合わせることができます。2つのファイルをマージすると、3つ目のファイルが作成されます。3つ目のファイルには両ファイルからの情報が含まれます。

マージ コンフリクト

マージ コンフリクトは、2つの修正されたファイル間で同じ行が違う方法で修正された不整合です。

目的

プロジェクトの目的は、それが何に使用されるかを定義します。たとえば、**Insulated Development**（個別開発）、**Integration Testing**（統合テスト）、**System Testing**（システムテスト）など。プロジェクトの目的を変更すると、**Telelogic Synergy** はプロジェクトの更新時に異なる選択基準を使用します。

リリース

リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。

リリース固有プロセス ルール

プロセス ルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

リリース固有プロセス ルールは、特定のリリースのために作成されたプロセス ルールです。

リリース名

リリース名はコンポーネント名（オプション）とリリース区切り文字、およびコンポーネント リリースで構成されます。コンポーネント名はアプリケーションまたはコンポーネントの名前を示します。たとえば、**Synergy** または **editor** などがありま

す。コンポーネントリリースは、アプリケーションまたはコンポーネントの特定のリリースを識別します。**Synergy/6.4** は、リリース名の一例です。

履歴

履歴操作はファイル、ディレクトリ、プロジェクトの全バージョン、およびそれぞれの関連を表示します。

ワークエリア

ワークエリアは、プロジェクトの個人使用コピーを含むファイルシステムの場所です。

ワークエリア コンフリクト

ワークエリア コンフリクトは、使用しているワークエリアとデータベースの間の不整合です。

付録：特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 106-8711

東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 : IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、製造元に連絡

してください。

Intellectual Property Dept. for Rational Software
IBM Corporation
1 Rogers Street
Cambridge, Massachusetts 02142
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

サンプル・コードの著作権

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

商標

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Rational、Telelogic、Telelogic Synergy、Telelogic Change、および Telelogic DOORS は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (© または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。IBM および関連の商標については、www.ibm.com/legal/copytrade.html をご覧ください。

Informix は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows 2003、Windows XP、Windows Vista、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

C

CLI、Synergy を開始 246
cmsynergy コマンド 246

D

DCM

管理、フォルダ テンプレートの変更
113
管理、プロセスの変更 115
管理、プロセス ルールの変更 117

S

SiberMerge

比較ツール 193
マージツール 184

Synergy

CLI から開始 246
インターフェイス、説明 250
コピーベースモードで開始 248
操作の開始 254

Synergy Classic、ビルド スクリプト 357

T

Telelogic Change

起動 247
タスクの CR の表示 102
変更依頼の解決 103

U

URL、ダイアグラム、説明 115

X

x、赤、説明 84

あ

赤い x、説明 84
暗黙的コンフリクト検出 28

い

色

加線、テーブルのデフォルト 253
加線、変更 231
プロジェクトアイコン、変更 231
文字、変更 231
インターフェイスのカスタマイズ
エクスプローラ 220
加線色の変更 231, 234
カラムからプロパティを削除 237
カラム順序 230
カラムにプロパティを追加 236
カラム幅の変更 230
セキュリティを表示 241
選択色の変更 231
タブの最大数の変更、ワーク ペイン
234
タブの最大文字数の変更、ワーク ペ
イン 234
表示するオブジェクトを変更、ワー
ク ペイン 234
フォント サイズの変更 233
フォント タイプの変更 233
プロジェクトアイコン色の変更 231
プロパティ 136
文字色の変更 231

え

エクスプローラ

1つ、すべて閉じる 219
色、加線の変更 231
色、文字色の変更 231
カスタマイズ 220
クエリを検索メニューに追加 225
タスク、説明 251
ツールバー、説明 251
ドッキング 222
表示順序 367
表示する最大数 367
プロジェクトグルーピング内容の変
更 223
プロジェクト、説明 251
変更依頼、説明 251

保存クエリ、追加 224
リリース、説明 251
リリースを表示 240
エディタ、設定方法 137

お

オブジェクト
移動 71
クエリ 147, 180
クエリの定義 154
検索 147
更新選択時の問題 356
再表示 273
削除 69
作成 (修正可能) 13
推奨バージョン 27
セキュリティ設定の変更 141
タスクとの関係の説明 31
タスクとの関連付け 262
タスクに関連付け、表示 268
タスクの削除 87
タスクの追加 87
追加 72
同一を比較 199
名前変更 73
パラレルコンフリクト 34
パラレル、マージ 186
比較 198
開く 149
ベースライン、リリース 58
編集 67
マージ 185
履歴関係、説明 32
ワークエリアにコピー 42
オブジェクトの管理 185
オプション
クエリ条件 163
更新のため変更 44
コンフリクトの自動検出 44
サブプロジェクトの置換 44
ベースライン作成の変更 104

か

解決

変更依頼 103
メンバーシップ コンフリクト 28

開始

CLI から Synergy を開始 246
加線、デフォルトテーブル色 253
カレントタスク

完了 78
作成 80
ディレクトリの削除 85
ファイルの削除 85
変更依頼の削除 85
割り当て 79

関係、履歴、更新 149
完了、カレントタスク 78
関連オブジェクト、比較 198
関連タスク、表示 89
関連付け
オブジェクトとタスク 262
タスクと変更依頼 262

き

起動

Synergy、コピーベース モード 248
Telelogic Change 247

キーボードショートカット 255

切り取り

オブジェクトとタスクの分離 263
関係の変更 263
ファイルの削除 263

キーワード

クエリの 166
テンプレート変更 54

く

クエリ

エクスプローラ 220
オブジェクト (カスタムクエリ使用)
161
オブジェクトの使用箇所 160
オブジェクトの使用箇所の検索 148
オブジェクトを 161
カスタマイズ 160
カスタム 161
関数 170

関数定義 170

- has_relationship 171
- is_relationship_of 173
- has_attr 171
- has_child 171
- has_cvtype 172
- has_member 171
- has_model 171
- has_predecessor 171
- has_priv 171
- hierarchy_asm_members 172
- is_bound 172
- is_child_of 172
- is_hist_leaf 172
- is_hist_root 172
- is_member_of 173
- is_predecessor_of 173
- recursive_is_member_of 173

関数テスト文節の使用 165

関数引数

- attr_name 170
- object_name 170
- order_spec 170
- privilege_name 170
- project_name 170

キーワードを使用 166

結果を最新の情報に更新 226

検索順序 170

式、組み合わせ 166

条件オプション 163

スタック 155

属性を使用 165

タスクを 162

定義 154, 160

定義済みオブジェクトの 180

定義済みバージョン 180

定義方法 160

定数 177

名前の変更 159

ネストされた 168

比較演算子 175

文節 169

文節、グループ 178

編集 182

保存 156, 157

- 保存クエリをエクスプローラに追加 224

- 保存、検索メニューに追加 225

- 保存、削除 227

- 保存、作成 156, 157

- 保存したものの表示 158

- 保存、実行 181

- 保存、フォルダ 251

- 例 154

- 論理演算子 176

クエリ関数定義

- baseline 170

- build 170

- cr 171

- folder 171

- has_no_relationship 171, 173

- has_purpose 171

- is_cvtype_of 173, 174

- is_model_of 173

- task 170, 174

クエリダイアログボックス

- オブジェクトの検索 161

- タスクの検索 162

グループセキュリティ

- セキュリティタブの表示 241

け

検索

- クエリ内の順序 170

- ベースライン順序、変更 118

- 例 154

- 検索 - クエリを参照

こ

更新

- オプション、変更 44

- コンフリクトの自動検出 44

- サブプロジェクトの置換 44

- 詳細メッセージ表示 44

- 選択時の問題 356

- タスクの自動を停止 371

- 注意 55

- プロジェクト 24

プロジェクトの更新の取り消し 25
プロジェクトのプロパティの変更
47
プロジェクトメンバー 24
ベースラインとタスク 55
ベースラインを維持、タスクを変更
から 56
目的の削除 295
目的の作成 294
目的、編集 296
履歴関係 149
更新時の詳細メッセージ 44
更新のキャンセル 25
更新の取り消し 25
更新を元に戻す 25
コピー
オブジェクトとタスクの関連付け
263
関係の変更 263
クエリ 13
タスク 13, 82
タスクをプロジェクトグループに
271
ディレクトリへの追加 72
貼り付け、オブジェクト、タスク、
CR 262
ファイルの追加 263
フォルダ 13
フォルダ テンプレート 13
プロジェクト 13, 16
プロジェクトをファイルシステムに
19
プロセス 284
ユーザー権限 13
リリース 13, 289
コマンド、cmsynergy 246
コンフリクト
暗黙的、定義済み 28
オブジェクト間でパラレル 34
オブジェクト履歴関係、説明 32
解決 (メンバーシップ) 28
更新後検出 44
式をフィルタとして 270
説明 28, 377
大規模、検出 35

タスクとオブジェクトの関係、説明
31
パターンをフィルタとして 270
パラレルバージョン、表示 196
深い検出の設定 41
変更の欠落、説明 35
明示的、定義済 28
メッセージの定義 28
例の種類 33
ワークエリ 42
コンフリクトのないすべての変更の適用
189

さ

最新の情報に更新
クエリ結果 226
セッション中に選択を 239
再表示
オブジェクト 273
再ビルド
自動更新、停止 371
タスク追加後 370
破損ビルド、概要 355
ビルドマネージャの方法論 206
問題 370
削除
オブジェクトからタスクを 87
カレントタスクからディレクトリを
85
カレントタスクからファイルを 85
カレントタスクから変更依頼を 85
タスク 69, 84
タスクからオブジェクトを 263
タスクからファイルを 101
タスクから変更依頼を 101, 263
タスク、除外 370
タスク、ワークフロー 63
タスクをプロジェクトグルーピング
から 49, 63, 96
ディレクトリ 69
ディレクトリからファイルまたはプ
ロジェクトを 263
表題部からプロパティ 237
ファイル 69

- フォルダ 69
- フォルダ テンプレート 69
- プロジェクト 69
- プロジェクトからファイルを 69
- プロジェクト グルーピング 69
- プロセス 69
- プロセス ルール 69
- ベースライン 69
- 保存クエリ 69, 227
- 目的 295
- ワーク ペインからタブを 235, 238
- 削除 (remove)
 - 「削除」の項を参照してください。
- 削除、説明 377
- 作成
 - クエリ 154
 - クエリ、カスタム 160
 - サブプロジェクト 66
 - 修正タスク 94
 - タスク 80
 - タスクを変更依頼と自動的に関連付け 100
 - ディレクトリ 66
 - テストベースライン 213
 - 同期による (新規ファイル) 42
 - ビルドのスナップショット 213
 - ファイル 66
 - フォルダ テンプレート 277
 - プロジェクト 15
 - プロジェクト グルーピング 366
 - プロジェクト メンバー 18
 - プロセス 282
 - プロセス ルール 286
 - ベースライン 52
 - ベースラインビルド番号 104
 - 保存クエリ 156, 157
 - 目的 294
 - リリース 289
- サブプロジェクト
 - 更新後置換 44
 - ファイル、作成 66
- 参照
 - ファイル 67

し

- 式、コンフリクトのフィルタ 270
- 修正 74
 - タスクのプロパティ 128
 - ファイル 67
 - プロジェクトのオブジェクト 13
- 修正タスク
 - 開発者の方法論 94
 - 作成 94
 - 破損タスク、修正 94
- 手動でクエリを最新の情報に更新 226
- 使用
 - バージョン、説明 381
 - 別のベースライン 60
 - 別ファイルバージョン 26
- 使用箇所の検索
 - オブジェクト 148
 - プロジェクト 180
- ショートカット
 - キーボード 255
 - マウス 258
 - メニュー、表示 266
- 除外
 - 完了タスク 84
 - タスク、削除 370

す

- スタック、クエリ 155
- すべてのマージ変更のクリア 191

せ

- 制限文字 104
- 制約
 - パラレル、設定 125
 - パラレル、リリースのための変更 290
- セキュリティ、オブジェクトの設定を変更 141
- セキュリティタブ、表示 241
- セッション、再起動せずに選択を最新の状態に更新 239
- 選択、セッション中に最新の情報に更新 239

そ

属性

- クエリ内の値 165
- セッション中に最新の状態 239
- 名前 52
- 表題部から削除 237
- 表題部に追加 236
- ビルド 53

た

- ダイアグラム URL、説明 115
- ダイアログボックス
 - 色、加線の変更 231
 - 色の変更 231
 - 色、文字色の変更 231
 - インターフェイスのカスタマイズ表示 230
 - 加線色の変更 234
 - セキュリティを表示 241
 - タブの最大数の変更 234
 - タブの最大文字数の変更 234
 - 表示するオブジェクトを変更 234
 - フォントサイズの変更 233
 - フォントタイプの変更 233
- タイプ、ファイルの変更 74
- タスク
 - 2つの間で関係を作成 92
 - CR の表示 102
 - エクスプローラ、説明 251
 - オブジェクトから削除 87
 - オブジェクトとの関係、説明 31
 - オブジェクトとの関連付け 262
 - オブジェクトに追加 87
 - オブジェクトの削除 101
 - カレント、設定 77
 - カレントタスク、完了 78
 - 関連オブジェクト、表示 268
 - 関連付け、ファイル 85
 - 関連、表示 89
 - クエリの定義 154
 - 検索 147, 160
 - 更新、変更しない 56
 - コピー 13, 82

- 削除 69
- 削除、ワークフロー 63
- 作成 80
- 自動更新を停止 371
- 自動追加、停止 106
- 修正、作成 94
- 除外 84
- 除外、開発者の方法論 94
- 除外と削除 370
- 除外の解除 84
- セキュリティ、設定、プロパティの変更 129
- セキュリティを設定 141
- 説明 378
- 選択 77
- 追加と必須 106
- 特定、ビルド、方法論 211
- 必須、追加停止 106
- ビルドから削除、方法論 208
- ビルドに追加、方法論 207
- フォルダに追加 86
- フォルダの選択の変更 114
- プロジェクトグルーピングから削除 49, 63, 96
- プロジェクトグルーピングに追加 47, 97
- プロジェクトグルーピングヘコピー 271
- プロパティの修正 128
- ベースライン、更新 55
- ベースラインに追加 109
- ベースラインプロジェクトから削除 353
- 変更依頼と自動的に関連付け、作成 100
- 問題、プロジェクトグルーピングから削除 96
- 問題を修正 92
- 割り当て 79
- 割り当てられた、表示 88
- タブ、ワークペインから削除 235, 238

ち

- チェックアウト

ディレクトリ 65
ファイル 65
プロジェクト 13
チェックイン
タスクなしにファイルを 64
ディレクトリ 64
ファイル 64

つ

追加

オブジェクトをディレクトリへ 72
新規プロジェクト 15
新規プロジェクトメンバー 18
タスクからオブジェクトを 263
タスクから変更依頼を 263
タスクをオブジェクトに 87
タスクをフォルダへ 86
タスクをプロジェクトグルーピング
に 47, 97
ディレクトリからファイルまたはプ
ロジェクトを 263
ディレクトリをカレントタスクに 85
同期による (ファイル) 42
保存クエリをエクスプローラ 224
必須タスク、停止 106
ファイルをカレントタスクに 85
変更依頼をカレントタスクに 85
保存クエリを検索メニューに 225
追加タスクと必須タスク 106
ツールバー、エクスプローラ、説明 251

て

ディレクトリ
2つを比較 199
オブジェクトの追加 72
関連、表示 89
更新、取り消し 25
削除 69
作成 66
セキュリティを設定 141
タスクの削除 85
タスクの追加 85
チェックアウト 65
追加 72

テンプレート、修正 20
パラレル、表示 196
パラレルを比較 195
比較 194
プロジェクトメンバーとして作成
18
プロパティの修正 110
プロパティ、表示 133
テキストの回復 272
テストベースライン、作成 213
テーブル
表題部からプロパティを削除 237
表題部にプロパティを追加 236
テーブルのデフォルトの加線色 253
テンプレート
バージョンキーワード、変更 54
プロジェクト固有ディレクトリの変
更 20
テンプレート、フォルダ
作成 277

と

同一オブジェクト、比較 199
同期
データベースへの追加(ファイル) 42
パターン 45
フィルタ 45
ワークエリアとデータベース 42
ワークエリアの変更を破棄 42
ワークエリアの変更を保存 42
閉じる、エクスプローラ 219
ドッキング
エクスプローラ 222
エクスプローラ、閉じる 219
ドラッグアンドドロップ、使用 264

な

名前
属性 52
ベースライン、変更 109

ね

ネストされたクエリ 168

は

バージョン

異なるバージョンの使用、更新 24

最新のバージョンを取得 24

推奨 27

テンプレートキーワード、変更 54

パラレル制約、設定 290

パラレル、表示 149

別のベースラインを使用 26

パス、ワークエリアの設定 21

破損タスク、修正 94

パターン

コンフリクトのフィルタ 270

ファイルの無視 45

パラレル オブジェクト

所有者の検索 362

表示 149

マージ 186

パラレル制約

設定 125

リリースのための変更 290

パラレルバージョン

制約、設定 290

マージ 186

貼り付け

オブジェクト、タスク、CR 262

ディレクトリへの追加 72

汎用プロセスルール

フォルダとフォルダ テンプレート 119

ベースライン プロジェクト 118

ひ

比較

2つのファイル 20, 21, 194

SiberMerge デフォルト ツール 193

オブジェクト 198

コンフリクト、深い検出 41

ツール、変更方法 137

ディレクトリ 194

ディレクトリ、パラレル 195

デフォルト ツールの変更 137

ファイル 194

ファイル、パラレル 195

プロジェクト 194

ベースライン 354

類似オブジェクト 199

ワークエリアのファイルとデータ
ベース 42

比較、説明 379

必須タスクと追加タスク 106

表示

エクスプローラ 222

オブジェクト 149

関連タスク 89

新規プロジェクト 266

ステータス行のメッセージ 268

タスクの CR 102

デフォルト ツールの変更 137

保存クエリ 158

メッセージ 268

履歴 149

履歴ダイアログボックスでオブジェ
クトを 149

ログファイル、表示方法 363

割り当てタスク 88

割り当てられた変更依頼、Telelogic
Changee 151

開く

エクスプローラ 222

新規プロジェクト 266

ビルド

環境変数の値 363

障害の判断 123

スナップショット、作成 213

タスク、自動更新停止 371

タスク追加後再ビルド 370

タスクの削除、方法論 208

タスクの追加、方法論 207

テストベースライン、作成 213

破損、修復、概要 355

破損の修復 203

ビルドマネージャの方法論 204

マクロの値 363

問題 370

ビルド管理

統合テスト プロジェクト 201

プロセス 201

方法論 201
ビルド属性 53
ビルド マネージャ
再ビルド 206
ビルド 204
 ベースラインなしの再ビルド
 215

ふ

ファイル
移動 71
管理されているものとの置き換え 42
関連、表示 89
クライアント ログの出力先を変更
364
クライアントログの名前を変更 364
異なるバージョンの使用、更新 24
削除 69
削除と置換 69
修正可能なバージョンの作成 65
セキュリティ、設定、プロパティの
変更 110
セキュリティを設定 141
タイプの変更 74
タスクの削除 85
タスクの追加 85, 87
チェックアウト 65
ディレクトリへの追加 72
同期によってデータベースに追加 42
名前変更 73
パターンによる無視 45
パターンを使用して無視 45
パラレル、表示 196
パラレルを比較 195
比較 20, 21, 194
表示 268
プロジェクト内で移動 71
プロジェクト メンバーとして作成
18
プロパティの表示 26
プロパティ、表示 133
編集 67
マージ 185
マージ、保存 190

無視するフィルタ 45
ログ、表示方法 363
ワークエリアの更新 (データベース
から) 42
ファイルタイプ 74
ファイルの移動 71
フィルタ、ファイルを無視 45
フォルダ
 2つを比較 199
 一般的プロセス ルール 119
 キーワードの定義 277
 検索 147
 コピー 13
 作成、方法 368
 使用箇所の検索 148
 詳細 277
 セキュリティ、設定、プロパティの
 変更 111
 セキュリティを設定 141
 タスク選択の変更 114
 タスクの追加 86
 内容の表示 368
 名前付け方法 277
 プロパティの修正 111
 プロパティ、表示 133
 保存クエリ、表示される場所 251
 用途 368
 リリース固有プロセス ルール 119
フォルダ テンプレート
 2つを比較 199
 DCM 管理、変更 113
 キーワードの定義 277
 検索 147
 コピー 13
 作成 277
 詳細フィールド 277
 タスク選択の変更 114
汎用プロセス ルール 119
プロパティの修正 113
プロパティ、表示 133
リリース固有プロセス ルール 119
プロジェクト
 2つを比較 199
 エクスプローラ、説明 251
 オブジェクトの追加 72

関連、表示 89
クエリの定義 154
検索 147
更新 24
更新、取り消し 25
更新プロパティの変更 47
コピー 13, 16
削除 69
作成 15
使用箇所の検索 148
新規に開く 266
セキュリティ、設定、プロパティの変更 122
説明 380
タブの削除 235
チーム用に設定 355
ディレクトリへの追加 72
統合テスト、定義 204
統合テスト、ビルドするタイミング 204
内容の表示 268
比較 194
ファイルシステムにコピー 19
ファイルの移動 71
不要な変更の削除 355
プロジェクト グルーピングに追加 143
プロパティの修正 121
ベースラインに含める、変更 53
ベースライン、含めるプロジェクトの決定 351
ベースライン プロジェクトと比較 198
メンバーの更新 24
メンバーの作成 18
目的、削除 295
目的、作成 294
目的、編集 296
ワークエリア外 20
ワーク ペイン、タブの削除 238
セキュリティを設定 141
プロジェクトアイコン、色の変更 231
プロジェクト グルーピング
2 つを比較 199
クエリの定義 154
検索 147
削除 69
作成 366
使用箇所の検索 148
すべてのタスクをコピー 271
タスクの削除 49, 63
タスクの追加 47, 97
タスクを削除 96
内容の変更 223
プロジェクトを追加 143
プロパティの修正 123
ベースラインと比較 198
ベースラインに含める、変更 53
プロセス
DCM 管理、変更 115
検索 147
コピー 284
作成 282
説明 357
プロパティの修正 115
リリースエクスペローラ、表示 240
リリースに追加 290
プロパティ、表示 133
プロセス ルール
2 つを比較 199
DCM 管理、変更 117
一般的、フォルダ、フォルダ テンプレート 119
検索 147
作成 286
説明 126, 282, 290
汎用、およびベースラインプロジェクト 118
標準目的 126, 282, 290
プロセス 282
プロセスと比較 198
プロパティの修正 117
分散型プロセス 126
リリースエクスペローラ、表示 240
リリース固有、フォルダ、フォルダ テンプレート 119
リリース固有、ベースライン プロジェクト 118
リリースに追加 126, 290
リリースのための変更 126, 290

-
- プロパティ、表示 133
 - プロパティ
 - 更新、プロジェクトの変更 47
 - 新規ベースラインの選択 59
 - セッション中に更新 239
 - 説明 381
 - タスク、修正 128
 - タスク、表示 133
 - ディレクトリ、修正 110
 - ディレクトリ、表示 133
 - 表題部に追加 236
 - 表題部の削除 237
 - ファイル、修正 110
 - ファイル、表示 133
 - フォルダ、修正 111
 - フォルダ テンプレート 113
 - フォルダ テンプレート、表示 133
 - フォルダ、表示 133
 - プロジェクトグルーピング、修正 123
 - プロジェクトグルーピング、タスクの削除 49
 - プロジェクトグルーピング、タスクの追加 47
 - プロジェクトグルーピング、表示 133
 - プロジェクト、表示 133
 - プロジェクト、修正 121
 - プロセス、修正 115
 - プロセスルール 117
 - ベースライン、修正 109
 - ベースライン、表示 133
 - リリース、修正 125
 - リリース、表示 133
 - ワークエリア、修正 130
 - ワークエリア設定 130
 - ワーク ペイン、表示 267
 - 分析、深いコンフリクト 41
 - へ
 - ペイン
 - 色、加線の変更 231
 - 色、文字色の変更 231
 - 表示のカスタマイズ 230
 - プロジェクト、加線色の変更 234
 - ワーク、最大文字数の変更 234
 - ワーク色の変更 231
 - ワーク、セキュリティを表示 241
 - ワーク、説明 251
 - ワーク、タブの最大数の変更 234
 - ワーク、タブの削除 235
 - ワーク、表示するオブジェクトを変更 234
 - ワーク、フォント サイズの変更 233
 - ワーク、フォントタイプの変更 233
 - ベースライン
 - 誤った、例 352
 - オブジェクト、リリース 58
 - 開発者に公開 57
 - 完全、例 351
 - クエリの定義 154
 - 検索 147
 - 検索順序、変更 118
 - 更新、変更しない 56
 - 作成 52
 - 作成オプションの変更 104
 - 使用箇所の検索 148
 - 新規を選択 59
 - 説明 52
 - タスク、更新 55
 - 正しい、例 351
 - テストの作成 213
 - なしの再ビルド 215
 - 名前 109
 - バージョンテンプレートキーワードの変更 104
 - バージョン、作成 104
 - 比較 354
 - 日付形式キーワードの変更 104
 - 含めるプロジェクトの決定 351
 - 不正バージョン文字 104
 - プロジェクト、タスクの削除 353
 - プロパティの修正 109
 - プロパティ、表示 133
 - ベースラインに含める、変更 53
 - 別のベースラインを使用 60
 - 用途 52
 - 削除 69
 - ベースラインの公開 57
 - ベースライン リリース、変更 125
-

ヘルプ、使用法 259

変更

クエリ定義 160

タスクに関連付けられたファイル
101

ファイルタイプ 74

プロジェクト固有ディレクトリテン
プレート 20

ベースライン作成オプション 104

変更依頼

Telelogic Change の起動 247

エクスペローラ、説明 251

解決 103

関連、表示 89

クエリ関数 171

クエリの定義 154

検索 147, 160

自動的に関連付けられたタスクの作
成 100

使用箇所の検索 148

タスクから削除 101

タスクとの関連付け 262

タスクの削除 85

タスクの追加 85

追加 85

プロパティ、表示 133

割り当てられたものの表示 151

編集

クエリ 182

デフォルト ツールの変更 137

ファイル 67

目的 296

ほ

方法

エディタの変更 137

比較ツールの変更 137

マージツールの変更 137

方法論

再ビルド 206

ベースラインなし 215

タスクの修正、開発者の 94

特定タスクのビルド 211

ビルド 204

ビルドからタスクを削除 208

ビルドにタスクを追加 207

ビルドのベースライン 213

保存

クエリ 156, 157

マージ済みファイル 190

保存クエリ

削除 69

削除 (remove) 227

作成 156, 157

名前の変更 159

表示 158

フォルダ、表示される場所 251

保存クエリの実行 181

保存クエリの名前変更 159

ま

マウスショートカット 258

マージ

2 つのオブジェクトバージョン 185

SiberMerge デフォルト ツール 184

結果の編集 187

コンフリクトのないすべての変更の
適用 189

説明 382

次の差分の表示 188

ツール、変更方法 137

デフォルト ツールの変更 137

パラレル所有者の検索 362

ファイルの保存 190

変更のクリア 191

マージファイルの保存 190

要件 362

め

明示的コンフリクト検出 28

メッセージ、更新時に詳細表示 44

メッセージ、ステータス行に表示 268

メッセージの表示 268

メニュー、ショートカット、表示 266

も

目的

削除 295
作成 294
プロセスルール、作成 286
ベースライン選択 59
編集 296
文字、制限 104
問題タスク、修正 94

ゆ

ユーザー インターフェイス ログ
出力先を変更 364
名前の変更 364

よ

用語解説 373

り

リリース
アクティブ化 292
エクスプローラ、説明 251
検索 147
コピー 13, 289
作成 289
セキュリティを設定 141
セキュリティ、設定、プロパティの
変更 126
非アクティブ化 292
プロセスの追加 290
プロパティの修正 125
プロパティ、表示 133
ベースラインとオブジェクト 58
ベースライン リリース、変更 125
履歴参照 149
リリース固有プロセス ルール
フォルダとフォルダ テンプレート
119
ベースライン プロジェクト 118
リリースのアクティブ化 292
リリースの非アクティブ化 292
履歴
オブジェクトの表示 149
関係、更新 149
説明 383

比較 194
表示 149

る

ルール、プロセス
説明 126
標準目的 126
分散型プロセス 126
説明 282, 290
標準目的 282, 290

ろ

ログ
出力先を変更 364
名前の変更 364
表示方法 363

わ

ワークエリア
欠落プロジェクト 20
説明 383
データベース、同期 42
データベースと同期 42
データベースにコピー 42
デフォルト パスを設定 21
同期 42
パスを設定 21
プロパティの設定 130
変更を破棄 42
変更を保存 42
ワーク ペイン
説明 251
プロパティ、表示 267
割り当てタスク、表示 88

